



BMW Motorrad



Rider's Manual
S 1000 RR

モーターサイクル / ディーラーのデータ

モーターサイクルデータ

モデル

車両識別番号シャリョウシキベツバンゴウ

カラー

初度登録

ライセンスプレート

ディーラーデータ

アフターサービス担当者

氏名

TEL

ディーラー所在地 / 電話 (スタンプ)

BMWの世界へようこそ

BMW Motorrad をご購入いただき、ありがとうございました。世界中で多くの熱狂的なファンを持つBMW Motorrad のライダーの一員となられたことを、心から歓迎いたします。あらゆる交通状況のなかで、安全にライディングを楽しんでいただくためには、購入された車両をよく理解し、親しんでいただくことが大切です。

本書について

新しいBMW モーターサイクルを使用される前に、まず本書をお読みください。本書には、BMW モーターサイクルを操作し、あらゆる機能を十分に活かすための情報が掲載されています。また、ライダーの安全やモーターサイクルの信頼性を確保し、愛車の価値を末永く維持するための整備と手入れに関する情報が掲載されています。

修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要な前提条件になります。

将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。本書は、本車両にとって重要な構成部品のひとつです。

お問い合わせ

本車両について疑問に思われることが生じたり、アドバイスが必要になられた場合には、BMW Motorrad ディーラーのスタッフにお気軽にお問い合わせください。

BMW と共に、安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad

01 40 9 899 568



目次

1 一般的な情報	5	3 表示	23	グリップヒーター	65
全体図	6	表示灯および警告灯	24	オンボードコンピューター	66
記号と意味	6	TFT ディスプレイ のPure Rideビュー	25	フロントおよびリヤシート	66
装備	7	TFT ディスプレイのメ ニュービュー	27	5 TFT ディスプレイ	69
テクニカルデータ	7	警告表示	28	一般的な情報	70
本書の記述について	7	4 取扱方法	49	原理	71
補足情報	8	イグニッションスイッチ / ステアリングロック	50	Pure Ride ビュー	77
認証および運転許可	8	イグニッションキルスイッ チ	51	一般設定	78
データ保存	8	ライト	52	Bluetooth	80
2 全体図	13	ハザードランプ	53	ご使用の車両	83
左側面	15	ウインカー	54	Navigation	86
右側面	17	ダイナミックトラクション コントロール (DTC)	55	メディア	88
シート下	18	走行モード	56	TEL	88
左コンビネーションスイッ チ	19	クルーズコントロール	57	ソフトウェアバージョンを 表示する	89
右コンビネーションスイッ チ	20	発進アシスタント	60	ライセンス情報を表示す る	89
メーターパネル	21	シフトポイント用フラッ シュ	63	6 調整	91
		盗難警報装置 (DWA)	63	ミラー	92
				ヘッドライト	92
				ブレーキ	92

クラッチレバーを調整する	93	8 レースサーキットで	121	ダイナミックトラクション	
ステアリング	93	サーキット走行用表示	122	コントロール (DTC).....	150
スプリングプリロード	94	LAPTIMER	125	走行モード	151
ショックアブソーバー	98	サーキット走行用車両設定	126	Dynamic Brake Control....	153
車高	101	RACE PRO 走行モード ...	127	シフトアシスト	154
スイングアーム	102	Launch Control.....	128	ヒルスタートアシスト (Hill Start Control)	155
DDC 校正	104	Pit Lane Limiter	130	10 メンテナンス	157
7 走行.....	107	DTC.....	131	一般的な情報	158
安全に関する注意事項	108	レーシング走行用サスペンション調整.....	132	ツールキット	158
チェックリストを確認し、遵守する	109	ミラーを脱着する	133	フロントホイールスタンド	159
走行開始のたびに：	109	ライセンスプレートベースを脱着する	136	リヤホイールスタンド	160
燃料補給 3 回目ごと	110	ABS をレースサーキット走行時にオフにする	141	エンジンオイル	161
始動	110	リバースシフトパターン (逆シフト)	142	ブレーキシステム.....	163
慣らし走行	112	9 技術情報	145	クラッチ	166
ギヤチェンジ	113	一般的な情報	146	クーラント	168
シフトポイント用フラッシュ	114	アンチロックブレーキシテム (ABS)	146	タイヤ	169
ブレーキ	115	ダイナミックダンピングコントロール (DDC)	149	リムとタイヤ	169
駐車する	117			ホイール	170
給油	117			バルブ	177
モーターサイクルを搬送用に固定します	119			フェアリング部	177
				始動補助	181
				バッテリー	182
				ヒューズ	185

診断コネクタ	186	リヤホイールドライブ	214	15 付録	247
チェーン	187	フレーム	214	電子式エンジン始動ロック	
11 アクセサリー	191	シャシー	215	システム用認証	248
一般的な情報	192	ブレーキ	216	TFT メーターパネル用認	
アクセサリー用コネク		ホイールとタイヤ	217	証	250
ター	192	電装システム	219	16 索引	253
M Cover Kit	194	寸法	221		
12 お手入れ	197	重量	221		
ケア用品	198	性能	222		
洗車	198	14 サービス	223		
損傷しやすい車両部品のお		リサイクリング	224		
手入れ	199	BMW Motorrad サービス			
塗装のお手入れ	200	ス	225		
保護コーティング	200	BMW Motorrad サービス履			
長期保管	200	歴	226		
再使用	201	BMW Motorrad モバイル			
13 テクニカルデータ	203	サービス	226		
トラブルシューティン		メンテナンス作業	226		
グ	204	BMW サービス	226		
ネジ止め部	208	メンテナンススケジュール	229		
燃料	211	メンテナンスの確認	230		
エンジンオイル	212	サービスの確認	244		
エンジン	212				
クラッチ	213				
ギヤボックス	213				

一般的な情報


全体図	6
記号と意味	6
装備	7
テクニカルデータ	7
本書の記述について	7
補足情報	8
認証および運転許可	8
データ保存	8


全体図


本書の第2章には、ご使用になられるモーターサイクルの全体図があります。「サービス」の章には、実施されたメンテナンスおよび修理作業がすべて記録されます。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。


Rider's Manual は、モーターサイクルにとって重要な構成部品のひとつです。将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。


記号と意味

 **注意** リスクレベルの低い危険にさらされます。回避しないことにより、軽度または中程度の怪我や損傷に至るおそれがあります。

 **警告** リスクレベルが中程度の危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至るおそれがあります。

 **危険** リスクレベルの高い危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至ります。

 **重要事項** 特別な注意事項および予防処置。回避を怠ると車両や装備品の損傷を招き、保証の対象外になる可能性があります。

 **注意事項** モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手入れについての一般的な情報を示します。


◀ 注意事項の末尾を示します。

• 作業内容の指示を示します。

» 作業の結果を示します。

▶▶▶ 説明のある参照ページを示します。

◁ アクセサリーや装備に関する情報の末尾を示します。

 締付けトルク。

 仕様(諸元)。

LA 国別仕様。

OE オプション装備。
BMW Motorrad オプション装備は、モーターサイクルの製造時に工場
で装着されます。

OA アクセサリー。
BMW Motorrad アクセサリーのご購入および取り付けにつきましては、BMW Motorrad ディーラーにて承ります。

EWS 電子式イモビライザー。

DWA 盗難警報装置。

ABS アンチロックブレーキシステム。

DDC ダイナミックダンピングコントロール。

DTC ダイナミックトラクションコントロール。

装備

BMW モーターサイクルのご購入に際しましては、それぞれお選びいただいたご希望の装備が装着されたモデルとなっております。

この Rider's Manual では、BMW が提供しているオプション(OE) および一部のアクセサリ(OA) について説明されています。そのため、ご使用のモーターサイクルには装着されていない装備についての説明が含まれている場合がございますことをご了承ください。同様に、国別の仕様により、図示されているモーターサイクルと異なる場合があります。

記載されていない装備がご使用のモーターサイクルに装備されている場合は、個別の説明書の記載をご参照ください。

テクニカルデータ

本書に掲載されている寸法、重量、性能に関する情報はすべて、DIN (ドイツ工業規格) およびその許容差規定に基づいて表記されています。

本取扱説明書のテクニカルデータと仕様は基準として参照してください。選択されたオプション

ン装備、国別仕様または各国の測定方法などの理由により、モデル別のデータは本書と異なることがあります。詳細なデータは自動車登録証と車両の注意書をご覧になるか、BMW Motorrad ディーラーまたはその他の認定サービスパートナーあるいは専門の整備工場にお問い合わせください。車検証のデータが常にこの取扱説明書のデータより優先されます。

本書の記述について

BMW Motorrad の高い安全性および品質は、デザイン、装備、アクセサリに関する絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。また、BMW Motorrad はそのような誤りを完全に排除することはできません。したがって、記載内容や図、説明について責任を負いかねる場合がありますことをご

理解くださいますようお願い申し上げます。

補足情報

BMW Motorrad ディーラー

BMW Motorrad ディーラーはいつでもご質問にお答えします。

インターネット

車両の Rider's Manual、アクセサリーの操作および取付説明書、技術などBMW Motorrad に関する一般的な情報は、www.bmw-motorrad.com/serviceから入手することができます。

認証および運転許可

車両の認証およびアクセサリーに対する官庁の使用許可は、www.bmw-motorrad.com/certificationから確認することができます。

データ保存

全般

車両にはコントロールユニットが取り付けられています。コントロールユニットは、データを車両センサーから受信したり、自身で生成または交換するなどの処理を行います。いくつかのコントロールユニットは車両の安全機能に必須であったり、ドライビングアシスタントシステムなどのように走行をサポートしたりします。さらにコントロールユニットはコンフォート機能やインフォテイメント機能を可能にします。

保存または転送されたデータの取り扱いに関する情報は、車両メーカーの個別カタログなどで得ることができます。

個人特定

各車両には一義的な車両識別番号が付けられています。国に応じて、車両識別番号、ライセン

スナンバープレートおよび該当官庁により車両所有者を特定することができます。さらに、使用した ConnectedDrive ユーザーアカウントなどにより車両で集められたデータによってもドライバーや車両所有者を特定することができます。

データ保護法

車両使用者は有効なデータ保護法にしたがい、メーカーや個人データを収集または処理する企業に対して特定の権利を有します。車両使用者は、車両使用者の個人データを保存する機関に対して無償および包括的な情報開示請求権を有します。

この機関とは次のようなものがあります：

- 車両メーカー
- 認定サービスパートナー
- 専門の整備工場

ー サービスプロバイダー

車両使用者はどの個人情報も保存され、どのような目的でそのデータが利用され、どこに由来するのか、についての情報を請求することができます。これらの情報を請求するには、所有または使用証明が必要です。

情報開示請求は他の企業や機関に転送されたデータに関する情報も含まれます。

車両メーカーのウェブページには、有効なデータ保護に関する注意事項が記載されています。このデータ保護に関する注意事項には、データの削除や訂正を行う権利についての情報も含まれます。車両メーカーはインターネットでも、連絡先データやデータ保護委託会社の問い合わせ先を記載しています。

車両所有者はBMW Motorradディーラーまたはその他の認定サービスパートナー、専門の整備工場において車両に保存され

たデータを有償で読み出すことができます。

車両データの読み出しは、法的に定められた車載コンピューター診断装置(OBD)用ソケットから行います。

データ開示請求のための法的要件

車両メーカーは有効な法の範囲内で、保存されているデータを官庁に提供する義務があります。必要範囲のデータ提供は、犯罪証明など個別のケースで行われます。

国の機関は有効な法の範囲内で、個別のケースにおいてその機関でデータを車両から読み出す権利を有します。

車両の作動データ

車両を作動させる際、コントロールユニットがデータを処理します。

例えば以下が含まれます：

- ー ホイール回転数やホイール速度、動作遅延などの車両や個別コンポーネントのステータスメッセージ
- ー 温度などの環境状況

処理データは車内でのみ処理され、通常は揮発性データです。このデータは作動時間外にはメモリーされません。

コントロールユニットなどの電子部品は、技術情報を保存するためのコンポーネントを含みます。これは車両状態や部品への負荷、イベント、エラーに関する情報を一時的または長期的にメモリーすることができます。これらの情報は一般に、以下のようなコンポーネント、モジュール、システム、および環境の状態を示すものです：

- ー システムコンポーネントの作動状態、例えば充填レベル、タイヤ空気圧など。

- 重要なシステムコンポーネントの機能異常、故障、例えばライトおよびブレーキ
- 特別な走行状況での車両の反応、例えばドライビングスタビリティコントロールの作動
- 車両損傷の状況に関する情報

これらのデータはコントロールユニット機能の実行に必要です。さらにこれらのデータは機能不良の検出と解消、車両メーカーによる車両機能の最適化に使用されます。

これらのデータの大部分は揮発性であり、車両自体でのみ処理されます。一部のデータのみ、状況に応じてイベントまたはディフェクトメモリーに保存されます。

例えば修理作業、サービスプロセス、保証、品質保証などでサービス業務が要求される場合、車両からこれらの技術的な情報と車両識別番号を読み出すことができます。

情報の読出しはBMW Motorrad ディーラーまたはその他の認定サービスパートナーあるいは専門の整備工場で行うことができます。読出しには、法律で規定された車載コンピューター診断装置(OBD)用ソケットを使用します。

データはサービスネットワークの各拠点で集計、処理、利用されます。このデータは車両の技術的な状態を記録し、故障の発見や補償義務および品質改善の遵守のために使用されます。

さらにメーカーは製造物責任法により製品監視義務を担っています。この義務を果たすために、車両メーカーは車両からの技術的なデータを必要とします。これに加えて、車両からのデータは顧客からの補償および保証要求の検査にも使用されます。

車両のエラーおよびイベントメモリーは、BMW Motorrad ディーラーまたはその他の認定サービスパートナーあるいは専門の整

備工場において修理またはサービス作業の範囲でリセットすることができます。

データ入力と車両へのデータ転送全般

装備に応じて、コンフォート設定および個人設定を車両にメモリーし、いつでも変更することができます。

例えば以下が含まれます：

- サスペンション設定

例えばスマートフォンを介して、データを車両のエンターテイメントおよび通信システムに送信することができます。

これは装備に応じて異なります：

- 再生用音楽などのマルチメディアデータ
- ナビゲーションシステムまたは内蔵のナビゲーションシステムと接続して利用されるアドレス帳データ
- 入力された目的地

ーインターネットサービスの利用に関するデータ。これらのデータは車両にローカルでメモリーすることができます。あるいはスマートフォン、USBメモリー、MP3プレーヤーなど、車両と接続された機器に入っています。これらのデータを車両にメモリーした場合は、いつでも削除することができます。

これらのデータを第三者へ転送することは、オンラインサービスの利用の枠組みにおいて個人の希望に基づいてのみ行われます。これはサービス利用時の希望設定によって異なります。

モバイル端末機器の接続

装備に応じて、スマートフォンなど、車両と接続されたモバイル端末機器を車両の操作エレメントにより制御することができます。その場合、モバイル端末機器の画像と音声をマルチメディアシステムを介して出力することができます。同時に、モバイル端

末機器に特定の情報が伝送されます。接続方式によって、位置データとその他の一般車両情報などがこれに含まれます。これにより、ナビゲーションや音楽再生など、選択したアプリを最適に利用することができます。その他のデータ処理の方式は、使用される各アプリのプロバイダーによって規定されます。可能な設定の範囲は、各アプリとモバイル端末機器のオペレーティングシステムにより異なります。

サービス全般

車両が無線ネットワークを使用する場合、車両とその他のシステム間でのデータ交換が可能となります。無線ネットワークは、車両固有の送受信ユニットにより、または個人的に使用するスマートフォンなどのモバイル端末機器を介して実現されます。この無線ネットワークを介してい

わゆるオンライン機能を利用することができます。これには、車両メーカーまたは他のプロバイダーによって提供されるオンラインサービスやアプリが含まれます。

自動車メーカーのサービス

自動車メーカーのオンラインサービスの場合、各機能の説明は取扱説明書やメーカーのウェブページなど適切な箇所にあります。そこには、関連するデータ保護法の情報も記載されています。オンラインサービスを利用する際には、個人に関するデータが使用されることがあります。データ交換は、例えば車両メーカーの専用ITシステムとの安全な接続を介して行われます。サービス提供の範囲を超える個人データの収集、処理、利用は、法律による許可、契約による取決め、または同意に基づいてのみ行われます。また、全てのデータ接続をオンまたはオフにするこ

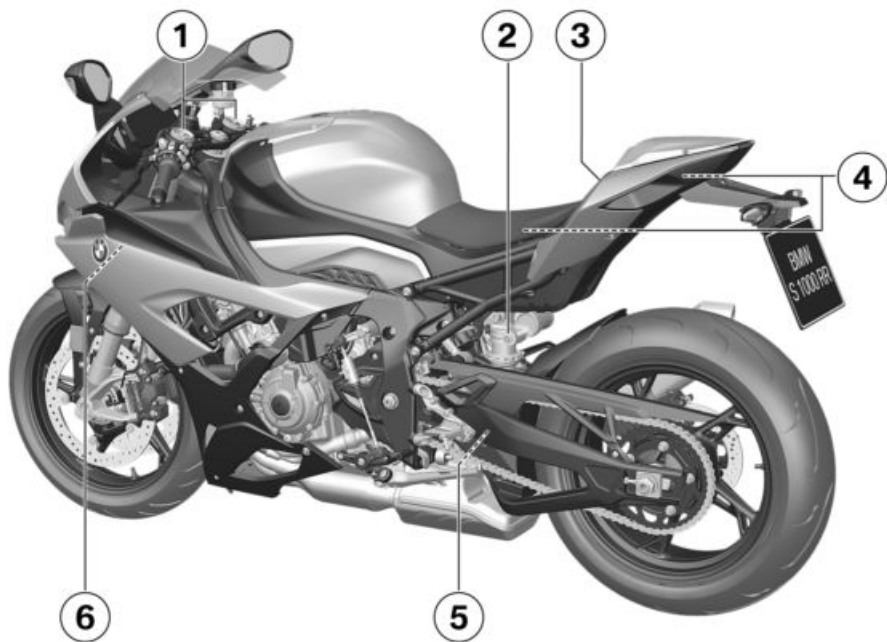
ともできます。法で定められた機能については除外されます。

他のプロバイダーのサービス

他のプロバイダーのオンラインサービスを利用する場合、これらのサービスは該当するプロバイダーの責任ならびにデータ保護および利用条件に従うこととなります。その際に交換される内容に対し、車両メーカーは何ら影響を与えません。第三者のサービス範囲における個人データの収集および処理の方法、範囲、目的についての情報は、該当するサービスプロバイダーにお問い合わせください。

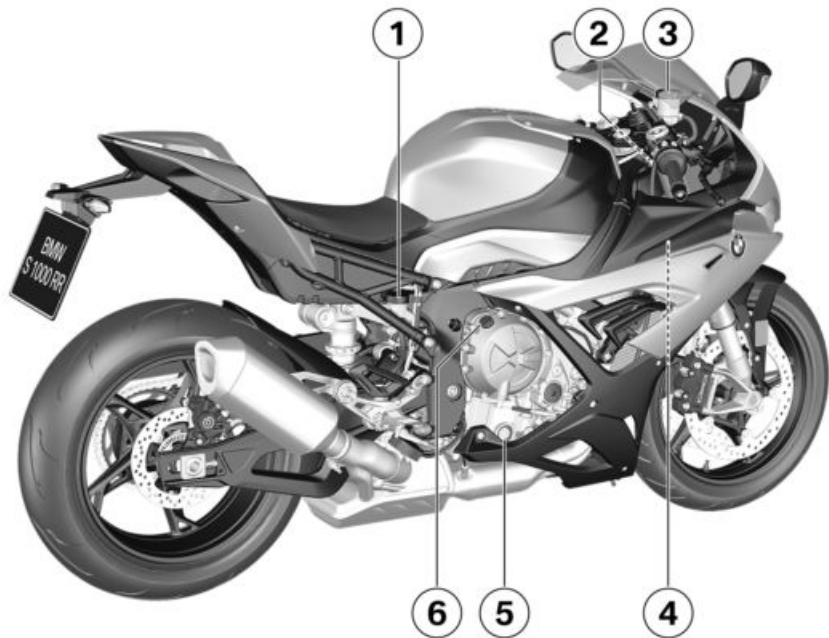
全体図

左側面	15
右側面	17
シート下.....	18
左コンビネーションスイッチ.....	19
右コンビネーションスイッチ.....	20
メーターパネル.....	21



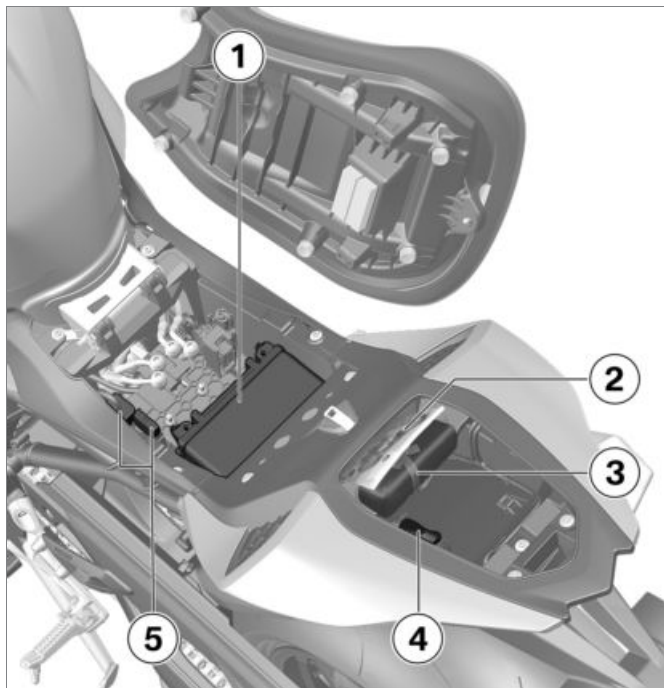
左側面

- 1 - Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備
フロントホイールのリバウンドダンピングを調整する (▶▶▶ 98)。
フロントホイールのスプリングプリロードを調整する (▶▶▶ 94)。
- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備
フロントホイールのコンプレッションダンピングを調整する (▶▶▶ 98)。
- 2 - Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備
リヤホイールのコンプレッションダンピングを調整する (▶▶▶ 99)。
- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備
スプリングプリロードを調整する (リヤホイール) (▶▶▶ 95)。
- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備
スプリングプリロードを調整する (リヤホイール) (▶▶▶ 96)。
- 3 リヤセクションカバーのロック (▶▶▶ 66)
シートロック (▶▶▶ 67)
- 4 タイヤ充填圧表
積載荷重一覧
チェーン調整値
- 5 - Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備
リヤホイールのリバウンドダンピングを調整する (▶▶▶ 100)。
- 6 ステアリングダンパーを調整する (▶▶▶ 93)

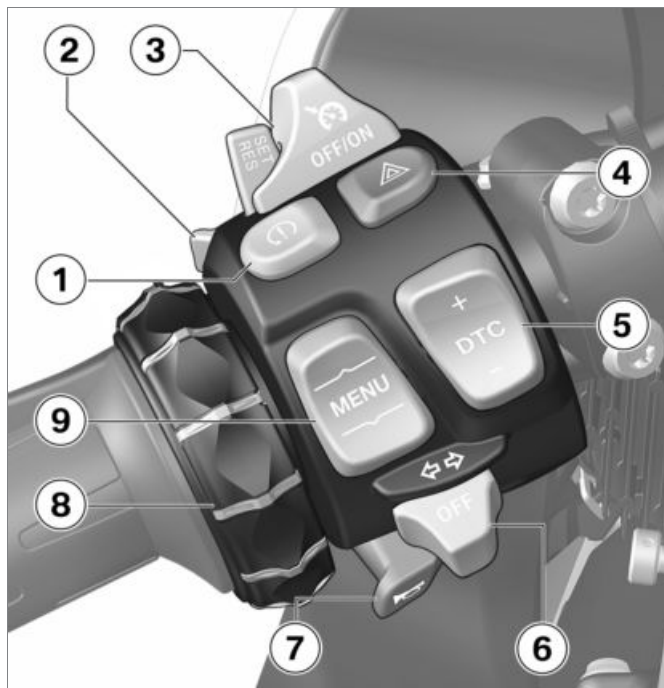


シート下

- 1 バッテリー (⇒ 182)
- 2 Rider's Manual
- 3 ツールキット (⇒ 158)
- 4 診断コネクター (⇒ 186)
- 5 ヒューズ (⇒ 185)



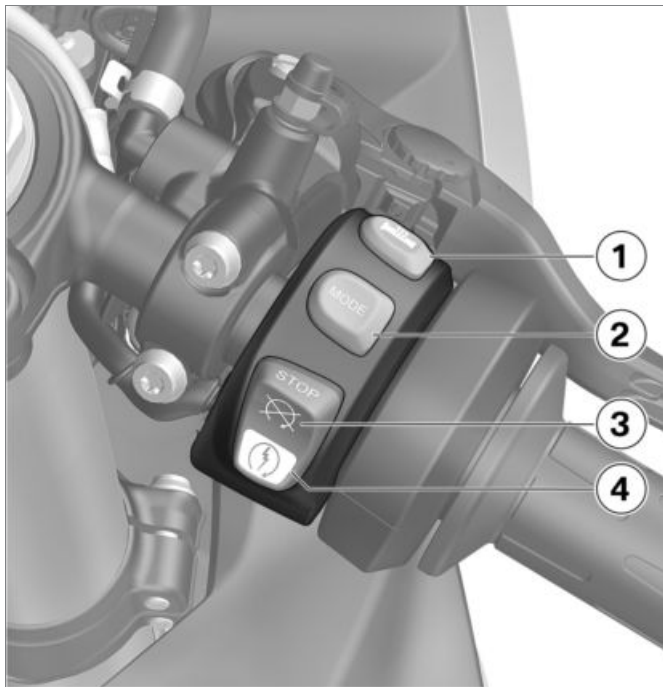
左コンビネーションスイッチ

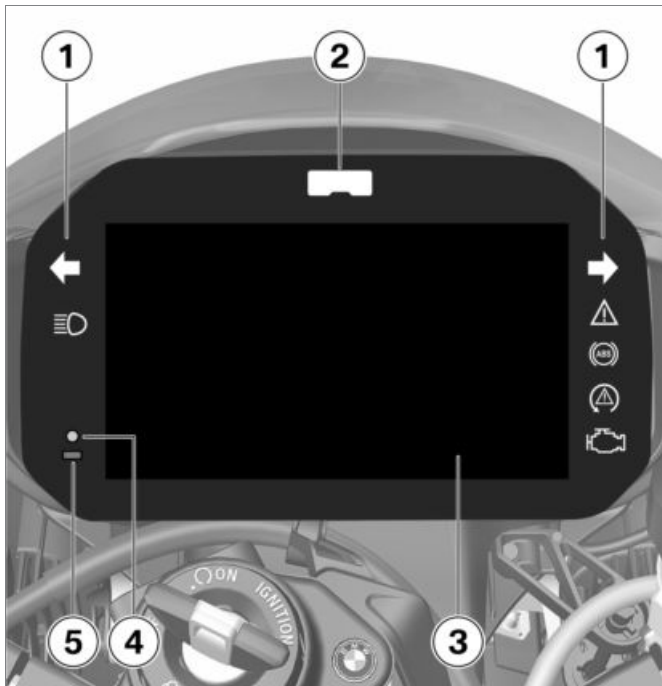


- 1 DTC を OFF にする (➡ 55)
- 2 ハイビームヘッドライトとパッシングライト (➡ 53)
- 3 - クルーズコントロール^{OE} 装備
クルーズコントロールを ON にする (➡ 58)。
- 4 ハザードランプ (➡ 53)
- 5 - 走行モードPro^{OE} 装備
DTC 調整する (➡ 131)。
- 6 ウィンカー (➡ 54)
- 7 ホーン
- 8 Multi-Controller
操作エレメント (➡ 71)
- 9 モメンタリボタンMENU (➡ 71)

右コンビネーションスイッチ

- 1 ーグリップヒーター^{OE} 装備
グリップヒーター (▶▶▶ 65)
- 2 走行モード (▶▶▶ 56)
- 3 イグニッションキルスイッチ (▶▶▶ 51)
- 4 スターターボタン
エンジンを始動する (▶▶▶ 110)。
ローンチコントロールによるレーススタート (▶▶▶ 128)





メーターパネル

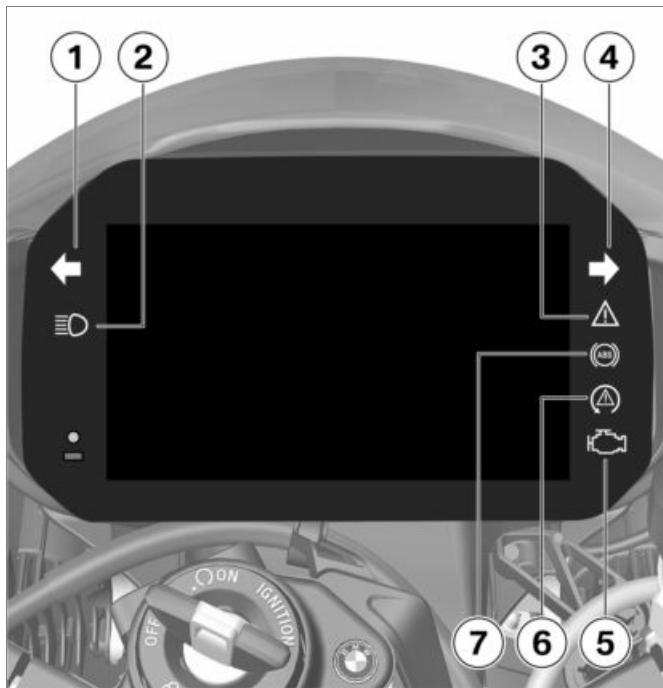
- 1 表示灯および警告灯 (➡ 24)
- 2 シフトポイント用フラッシュ (➡ 114)
- 3 TFT ディスプレイ (➡ 25) (➡ 27)
- 4 DWA LED
- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備
アラーム信号 (➡ 64)
- 5 フォトダイオード (メーターパネルライトの輝度調整用)

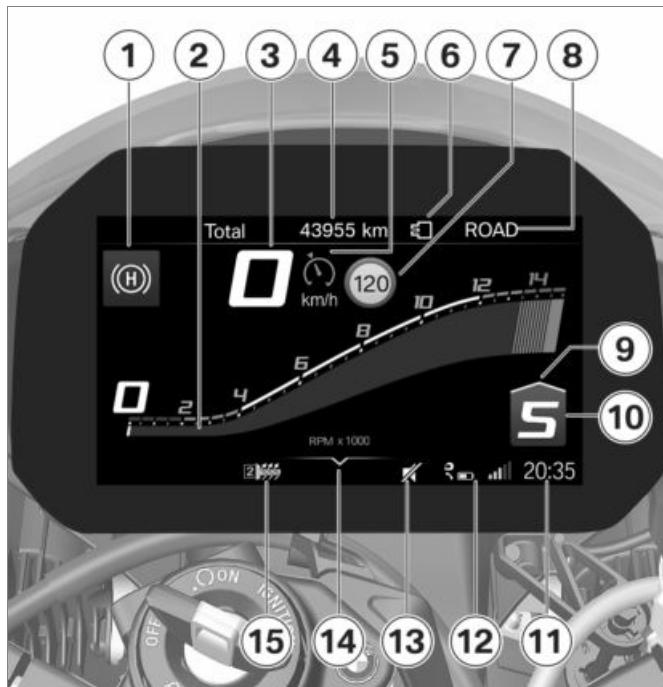
表示

表示灯および警告灯	24
TFT ディスプレイのPure Ride ビュー	25
TFT ディスプレイのメニュー ビュー	27
警告表示	28

表示灯および警告灯

- 1 左側ウインカー
ウインカーを操作する (▶▶ 54)。
- 2 ハイビームヘッドライト
(▶▶ 53)
- 3 ジェネラル警告灯 (▶▶ 28)
- 4 右側ウインカー
- 5 - 欧州輸出品^{LA}
排気ガス警告灯
- 6 DTC (▶▶ 43)
- 7 ABS (▶▶ 141)





TFT ディスプレイ のPure Ride ビュー

- 1 Hill Start Control (▶▶▶ 45)
- 2 エンジン回転数表示 (▶▶▶ 77)
- 3 スピード表示
- 4 ライダー情報ステータスバー (▶▶▶ 75)
- 5 クルーズコントロール^{OE} 装備
クルーズコントロールをONにする (▶▶▶ 58)。
- 6 RACE PRO ドライビングモード
- 走行モードPro^{OE} 装備
レーシングコース用設定 (▶▶▶ 127)
- 7 道路標識認識をオンまたはオフにする (▶▶▶ 77)。
- 走行モードPro^{OE} 装備
DTC 調整する (▶▶▶ 131)。
- 8 走行モード (▶▶▶ 56)
- 9 シフトアップ推奨 (▶▶▶ 78)

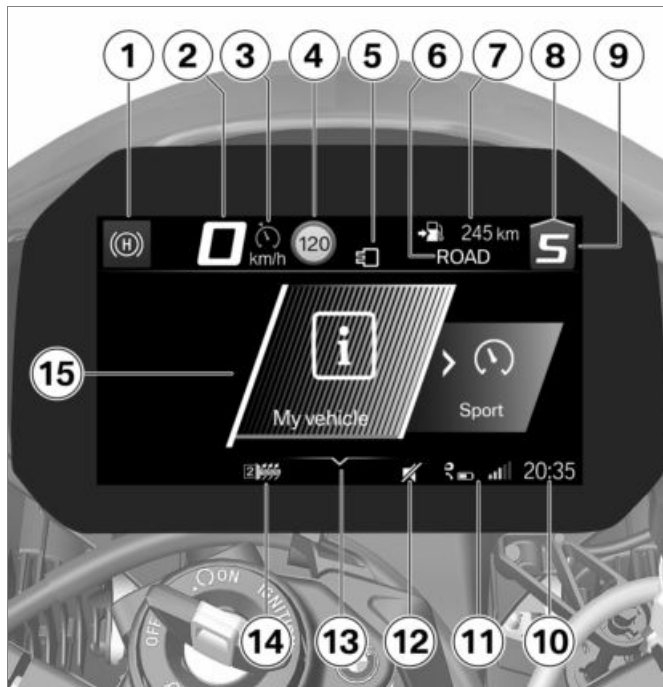
15

14

13

12

11



TFT ディスプレイのメニュービュー

- 1 Hill Start Control (▶▶▶ 45)
- 2 スピード表示
- 3 - クルーズコントロール^{OE} 装備
クルーズコントロールを ON にする (▶▶▶ 58)。
- 4 道路標識認識をオンまたはオフにする (▶▶▶ 77)。
- 走行モードPro^{OE} 装備
DTC 調整する (▶▶▶ 131)。
- 5 RACE PRO ドライビングモード
- 走行モードPro^{OE} 装備
レーシングコース用設定 (▶▶▶ 127)
- 6 走行モード (▶▶▶ 56)
- 7 ライダー情報ステータスバー (▶▶▶ 75)
- 8 シフトアップ推奨 (▶▶▶ 78)
- 9 シフト表示、ニュートラル位置で「N」（アイドルング）が表示されます。

- 10 Time
- 11 接続ステータス
- 12 ミュートスイッチ (▶▶▶ 78)
- 13 操作ヘルプ
- 14 グリップヒーターレベル (▶▶▶ 65)
- 15 メニュー範囲

警告表示

表示

警告は対応する警告灯により表示されます。

警告はジェネラル警告灯と TFT ディスプレイのダイアログ画面の組み合わせで表示されます。警告の緊急性に応じて、ジェネラル警告灯が黄または赤に点灯します。



ジェネラル警告灯が、警告の緊急度に応じて表示されます。

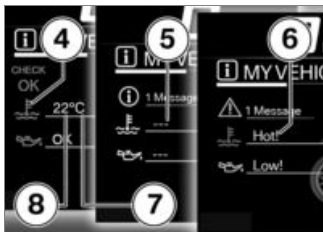
以降のページに警告表示の一覧があります。



チェックコントロール表示

ディスプレイのメッセージには複数の異なる表示方法があります。優先度に応じて異なる色と記号が使用されます：

- 緑色の CHECK OK **1**: メッセージなし、値は最適。
- 白い円と小さな「i」 **2**: 情報。
- 黄色の三角表示 **3**: 警告メッセージ、値が最適範囲から逸脱。
- 赤い三角表示 **3**: 警告メッセージ、値が限界に到達



値の表示

アイコン **4** には複数の異なる表示方法があります。評価に応じて異なる色が使用されます。数値 **8** と単位 **7** の代わりに、テキスト **6** も表示されます：

アイコンの色

- 緑：(OK) 現在の値は最適。
- 青：(Cold!) 現在の温度は低すぎる。
- 黄：(Low! / High!) 現在の値は低すぎるか高すぎる。
- 赤：(Hot! / High!) 現在の温度または値は高すぎる。
- 白：(--) 有効な値なし。値の代わりに線 **5** が表示されます。

注意事項

個々の値の評価の一部は、一定の走行時間または速度を超えて初めて可能になります。測定条件が満たされていないために測定値が表示可能になっていない場合は、値の代わりにプレースホルダーとして線が表示されます。有効な測定値がない間は、色付きアイコンの形式での評価も行われません。◀



チェックコントロールダイアログ画面

メッセージはチェックコントロールダイアログ画面 **1** として通知されます。

- 同じ優先度のチェックコントロールメッセージが複数ある場合、メッセージは発生した順序で切り替わりながら、了承確認するまで表示され続けます。
- アイコン **2** が有効表示されている場合、マルチコントローラーを左に傾けて了承確認することができます。
- チェックコントロールメッセージは状況によって変化しながら、メニューMy vehicle のペー

ジに追加タブとして添付されま
す (▶▶▶▶ 73)。故障が存在してい
る間は、メッセージを再度呼び
出すことができます。














警告表示一覧











インジケーター / 警告灯












ディスプレイテキスト







意味




	ジェネラル警告灯 (黄/橙) が点灯し ます。		が黄色で表示され ます。	車両電装システム電圧不足 (▶▶▶ 37)
			Vehicle voltage low.	
	ジェネラル警告灯 (赤) が点灯しま す。		が赤で表示されま す。	ボードエレクトリック電源電圧が臨界に 達している (▶▶▶ 37)
			Vehicle voltage critical!	
	ジェネラル警告灯 (黄/橙) が点灯し ます。		故障したライトバ ルブが表示されま す。	ライトバルブの故障 (▶▶▶ 38)
			Alarm system battery weak.	DWA バッテリーが弱っている (▶▶▶ 38)
	ジェネラル警告灯 (黄/橙) が点灯し ます。		Alarm system battery empty.	DWA バッテリーが空になっ ている (▶▶▶ 39)

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
 ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。	 Coolant temperature too high!	クーラント温度が高すぎる (▶▶▶▶ 39)
 排気ガス警告灯が点灯します。	 Engine!	排気ガス警告 (▶▶▶▶ 40)
 ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。	 No communication with engine control.	エンジンコントロール機能停止 (▶▶▶▶ 40)
 ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。	 Fault in the engine control.	エンジンがエマージェンシーモードになっている (▶▶▶▶ 40)
 ジェネラル警告灯 (黄) が点滅します。	 Serious fault in the engine control!	エンジン制御の重度の故障 (▶▶▶▶ 41)
 ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。	 Drop sensor faulty.	転倒検知センサーが故障している (▶▶▶▶ 41)
	 Engine start not possible.	車両の転倒 (▶▶▶▶ 41)

インジケータ / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
	 Side stand monitoring faulty.	サイドスタンドモニター故障 (▶▶▶ 41)
 ABS インジケータ / 警告灯が点滅します。		ABS 自己診断が終了していません (▶▶▶ 42)
 ABS インジケータ / 警告灯が点灯します。		ABS が OFF になっている (▶▶▶ 42)
 ABS インジケータ / 警告灯が点灯します。	 Limited ABS availability!	ABS 故障 (▶▶▶ 42)
 ABS インジケータ / 警告灯が点灯します。	 ABS failure!	ABS 機能停止 (▶▶▶ 42)
 ABS インジケータ / 警告灯が点灯します。	 ABS Pro failure!	ABS Pro 機能停止 (▶▶▶ 43)
 DTC インジケータ / 警告灯が高速で点滅します。		DTC 介入 (▶▶▶ 43)

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
 DTC インジケーター / 警告灯が低速で点滅します。		DTC 自己診断が終了していない (▶▶▶ 43)
 DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。	 Off!	DTC が OFF になっている (▶▶▶ 43)
	 Traction control deactivated.	
 DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。	 Traction control failure!	DTC 故障 (▶▶▶ 44)
 DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。	 Traction control limited!	DTC の使用に制限 (▶▶▶ 44)
 ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。	 Spring strut adjustment faulty!	DDC 故障 (▶▶▶ 45)
	 リザーブ容量に達しました。近いうちにガソリンスタンドに向かってください	燃料がリザーブ容量に達している (▶▶▶ 45)

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
	 緑色の停止アイコンが表示され ます。	Hill Start Control オン (▶▶▶ 45)
	 黄色い停止アイコンが点滅 します。	Hill Start Control は自動でオフ (▶▶▶ 46)
	 線で消された停止 アイコンが表示 されます。	Hill Start Control 作動不可 (▶▶▶ 46)
	 シフト表示が点滅 します。	ギア未学習 (▶▶▶ 46)
 左フラッシャー コントロール ライトが緑に点滅 します。		ハザードランプは ON の状態 です (▶▶▶ 46)
 右フラッシャー コントロール ライトが緑に点滅 します。		

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
シフトポイント 用フラッシュが点 灯または点滅しま す。	Launch Control not av. Clutch too hot. が表示されます。	ローンチコントロールが使用できる状態 になっていない (▶▶▶▶ 47)
	が白で表示されま す。	サービス期限 (▶▶▶▶ 47)
Service due!		
	ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯し ます。	
が黄色で表示され ます。		サービス時期を過ぎている (▶▶▶▶ 47)
Service overdue!		

車両電装システム電圧不足



ジェネラル警告灯(黄/橙)が点灯します。



が黄色で表示されます。



Vehicle voltage low. Switch off unnecessary consumers.



警告

車両システムの機能停止

事故の危険

- 走行を続けしないでください。◀

バッテリーを充電できません。走行を続行する際は、車両エレクトロニクスはバッテリーを放電します。



注意事項

12 V バッテリーの取り付け方が不適切であるか、(ジャンプスタートなどで) 端子を取り違えると、ジェネレーターレギュレー

ターのヒューズが溶断する可能性があります。◀

考えられる原因:

ジェネレーターまたはジェネレーター駆動部の故障、バッテリーの故障、またはジェネレーターレギュレーターのヒューズが溶断している。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ボードエレクトリック電源電圧が臨界に達している



ジェネラル警告灯(赤)が点灯します。



が赤で表示されます。



Vehicle voltage critical! Consumers have been switched off. Check battery condition.



警告

車両システムの機能停止

事故の危険

- 走行を続けしないでください。◀

バッテリーを充電できません。走行を続行する際は、車両エレクトロニクスはバッテリーを放電します。



注意事項

12 V バッテリーの取り付け方が不適切であるか、(ジャンプスタートなどで) 端子を取り違えると、ジェネレーターレギュレーターのヒューズが溶断する可能性があります。◀




考えられる原因:

ジェネレーターまたはジェネレーター駆動部の故障、バッテリーの故障、またはジェネレーターレギュレーターのヒューズが溶断している。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ライトバルブの故障

-  ジェネラル警告灯(黄/橙)が点灯します。
-  故障したライトバルブが表示されます:
-  High beam faulty!
-  Front left turn indicator faulty! またはFront right turn indicator faulty!
-  Low-beam headlight faulty!
-  Front side light faulty!
-  Tail light faulty!

-  Brake light faulty!
 -  Rear left turn indicator faulty! またはRear right turn indicator faulty!
 -  Number plate light faulty!
- Have it checked by a specialist workshop.

警告

車両バルブ機能停止による道路交通での車両の見過ごし

安全に関わる危険

- 故障したライトバルブはできるかぎり早く交換してください。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

考えられる原因:
一つ以上の照明手段が故障している。


- 目視点検で故障している照明手段を特定します。
- LED 照明手段を一式交換してください。そのためには専門の整備工場に、できればBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

考えられる原因:

- コネクターを外します。
- 分離されたコネクターを見つけます。
- 分離されたコネクターを接続します。

DWA バッテリーが弱っている

– 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

-  Alarm system battery weak. No restrictions. Make an appointment at a specialist workshop.

**注意事項**

このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:

DWA バッテリーがフル充電されていません。DWA の機能が保証されるのは、バッテリーのターミナルを外している場合、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA バッテリーが空になっている

– 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備



ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。



Alarm system battery empty. No independent alarm. Make an appointment at a specialist workshop.

**注意事項**

このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:

DWA バッテリーが充電されていません。DWA の機能は、バッテリーのターミナルを外している場合、保証されません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

クーラント温度が高すぎる

ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。



Coolant temperature too high! Check coolant level. Continue under part. load to cool down.

**重要事項****オーバーヒートしているエンジンでの走行**

エンジンの損傷

- 必ず下記の処置を順守してください。◀

考えられる原因:

クーラントレベルが低すぎます。

- クーラントレベルを点検する(▶▶▶ 168)。

クーラントレベルが低すぎる場合:

- エンジンを冷まします。
- クーラントを補充します(▶▶▶ 168)。
- 専門の整備工場で冷却システムの点検を受けてください。BMW Motorrad パートナーが最も信頼できます。

考えられる原因:

クーラント温度が高すぎます。

- 可能であれば、エンジンを冷ますためにパーシャルロード域で走行してください。
- クーラント温度が頻繁に高くなりすぎる場合には、できるかぎり早くBMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

排気ガス警告



排気ガス警告灯が点灯します。



Engine! Have it checked by a specialist workshop.

考えられる原因:

エンジンコントロールユニットが、有害物質の排出に作用する故障を診断しました。

- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

» 走行を続行することは可能です。ただし、有害物質の排出規定値を超えています。

エンジンコントロール機能停止



ジェネラル警告灯(黄/橙)が点灯します。



No communication with engine control. Multiple sys. affected. Ride carefully to the next specialist workshop.

エンジンがエマージェンシーモードになっている



ジェネラル警告灯(黄/橙)が点灯します。



Fault in the engine control. Riding at mod. speed pos. Ride carefully to next specialist workshop.



警告

エンジンのエマージェンシーモードにおける特殊な走行特性

事故の危険

- 急激な加速や追い越しは避けてください。◀

考えられる原因:

エンジンコントロールユニットに故障が発生しています。最悪の場合、エンジンが停止し、その後始動できなくなります。その他の場合には、エンジンはエマージェンシーモードで作動します。

- 走行を続けることは可能ですが、通常どおりのエンジン性能の発揮や回転数域に達することはできないおそれがあります。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

エンジンの重大な故障



ジェネラル警告灯(黄)が点滅します。



Serious fault in the engine control! Riding at mod. speed pos. Damage possible. Have checked by workshop.



警告

エマージェンシーモードでのエンジンの損傷

事故の危険

- 低速で走行し、急激な加速や追い越しは避けてください。
- 可能であれば車両の回収を依頼し、専門の整備工場に、出来ればBMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。◀

考えられる原因:

エンジンマネジメントシステムが重大の不具合につながるおそれが不具合を検出しました。エン

ジンはエマージェンシーモードにあります。

- 走行を続行することは可能ですが、推奨されません。
- 高負荷高回転数域での走行は、できるかぎり避けてください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

転倒検知センサーが故障している



ジェネラル警告灯(黄/橙)が点灯します。



Drop sensor faulty. Have it checked by a specialist workshop.

考えられる原因:

転倒検知センサーが機能していません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

車両の転倒



Engine start not possible. Straighten up motorbike. Switch ignition off/on. Start engine.

考えられる原因:

転倒検知センサーが転倒を検出し、エンジンを停止させました。

- 車両をまっすぐに立てます。
- イグニッションを OFF にした後、再度 ON にするか、イグニッションキルスイッチを ON にし、再度 OFF にします。

サイドスタンドモニター故障



Side stand monitoring faulty. Onward journey possible. Engine stop. when stationary! Have checked by workshop.

考えられる原因:

サイドスタンドスイッチまたはその配線が損傷しています。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ABS 自己診断が終了していません



ABS インジケーター / 警告灯が点滅します。

考えられる原因:



ABS 自己診断が終了していません

自己診断が終了していないため、ABS 機能を使用できません。(ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります: min 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまで ABS 機能が使用できないことに注意してください。

ABS が OFF になっている



ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。

考えられる原因:

ABS システムは、ライダーにより OFF にされました。

- ABS 機能を ON にする(▶▶ 142)。

ABS 故障



ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。



Limited ABS availability!
Riding at mod. speed pos.
Ride carefully to next specialist workshop.

考えられる原因:

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。パーシャリーインテグラルブレーキングおよびDynamic Brake Control 機能が機能停止しています。ABS 機能は制限付きで使用可能です。

- 走行を続行することは可能です。ABS のエラーメッセージを引き起こす可能性のある特別な状況については、詳細情報をご確認ください(▶▶ 147)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS 機能停止



ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。



ABS failure! Riding at mod. speed pos. Ride carefully to next specialist workshop.

考えられる原因:


ABS コントロールユニットが故障を検知しました。ABS 機能は使用できません。

- 走行を続行することは可能です。ABS のエラーメッセージを引き起こす可能性のある特別な状況については、詳細情報をご確認ください(▶▶ 147)。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS Pro 機能停止

 ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。

 ABS Pro failure! Riding at mod. speed pos. Ride carefully to next specialist workshop.

考えられる原因:


ABS Pro コントロールユニットが故障を検知しました。ABS Pro 機能は使用できません。ABS 機能は引き続き使用できます。ABS は直進走行でのブレーキでのみサポートを行います。

- 走行を続行することは可能です。ABS Pro のエラーメッセージを引き起こす可能性のある特別な状況について

は、詳細情報をご確認ください (▶▶ 147)。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

DTC 介入

 DTC インジケーター / 警告灯が高速で点滅します。

DTC がリアホイールの不安定な状態が迫っていることを検知し、トルクを制限します。インジケーター / 警告灯は、DTC の介入よりも長く点滅し続けます。これにより、厳しい走行状態の後でも、ライダーは制御が正常に行われた旨のフィードバック表示を目にすることができます。

DTC 自己診断が終了していない

 DTC インジケーター / 警告灯が低速で点滅します。


考えられる原因:

 DTC 自己診断が終了していません

自己診断が終了していないため、DTC 機能を使用できません。(ホイール回転数センサーの点検を行うには、モーターサイクルがエンジン作動状態で最低速度に達していなければなりません: min 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまでDTC 機能が使用できないことに注意してください。

DTC が OFF になっている

 DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。

 Off!

 Traction control deactivated.

考えられる原因:

DTC システムは、ライダーによって OFF にされました。

- DTC を ON にする(▶▶▶ 55)。

DTC 故障



DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。



Traction control failure!
Riding at mod. speed pos.
Ride carefully to next specialist workshop.

考えられる原因:

DTC コントロールユニットが故障を検知しました。



重要事項

コンポーネントの損傷

センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。

- ツールキットをロックします。◀
- 角速度センサーを損傷しないようにします。
- DTC 機能が使用できない、または機能の使用に制限があることに注意してください。
- 走行を続行することは可能です。DTC のエラーを引き起こす可能性のある状況については、詳細情報をご確認ください(▶▶▶ 150)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

DTC の使用に制限



DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。



Traction control limited!
Riding at mod. speed pos.
Ride carefully to next specialist workshop.

考えられる原因:

DTC コントロールユニットが故障を検知しました。



重要事項

コンポーネントの損傷

センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。◀
- 角速度センサーを損傷しないようにします。
- DTC 機能の使用に制限があることに注意してください。
- 走行を続行することは可能です。DTC のエラーを引き起こす可能性のある状況については、詳細情報をご確認ください(▶▶▶ 150)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに

故障の修理を依頼してください。

DDC 故障

- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備



ジェネラル警告灯(黄/橙)が点灯します。



Spring strut adjustment faulty! Riding at mod. speed pos. Ride carefully to next specialist workshop.

考えられる原因:

DDC コントロールユニットが故障を検知しました。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。
- » この状態にあるモーターサイクルでは、ショックアブソーバーが極めて硬くなっている可能性があり、特に悪路では乗り心地が不快になります。

考えられる原因:

DDC センサーエラーが検知された。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。
- » セミアクティブ機能がオフになっている。

燃料がリザーブ容量に達している



リザーブ容量に達しました。近いうちにガソリンスタンドに向かってください。




警告

燃料不足による不規則なエンジン回転またはエンジン停止
触媒コンバーターの損傷、事故を起こす危険

- フューエルタンクを空にしないでください。◀

考えられる原因:

フューエルタンクには、リザーブ用フューエルがまだ最大容量入っています。

 フューエルリザーブ容量
約 4 l

- 給油(▶▶▶ 118)。

Hill Start Control オン



緑色の停止アイコンが表示されます。

考えられる原因:

ドライバーがHill Start Control (▶▶▶ 155) を作動させました。

- Hill Start Control を OFF にします。
- Hill Start Control の操作(▶▶▶ 60)。

Hill Start Control は自動でオフ



黄色い停止アイコンが点滅します。

考えられる原因:

Hill Start Control は自動的にオフになりました。

- サイドスタンドが出されました。
- » サイドスタンドが出されると、Hill Start Control はオフになります。
- エンジンが停止されました。
- » エンジンを停止すると、Hill Start Control はオフになります。
- Hill Start Control の操作(▶▶▶ 60)。

Hill Start Control 作動不可



線で消された停止アイコンが表示されます。

考えられる原因:

Hill Start Control を作動することができません。

- サイドスタンドをたたみませす。
- » Hill Start Control はサイドスタンドが折りたたまれた状態でのみ機能します。
- エンジンを始動させませす。
- » Hill Start Control はエンジンが作動した状態でのみ機能ませす。

ギア未学習



ギア表示が点滅します。
ギアシフトアシストPro は機能していません。

考えられる原因:

トランスミッションセンサーの学習が完全ではありません。

- ニュートラル N に入れて、停止状態でエンジンを 10 秒以上作動させて、ニュートラルの学習を行います。

- クラッチ操作ですべてのギアに入れて、入れたギアでそれぞれ 10 秒以上走行します。
- » トランスミッションセンサーの学習が正常に行われると、ギア表示の点滅が停止します。
- トランスミッションセンサーの学習が完全に行われると、ギアシフトアシスタント Pro が記載通りに機能します (▶▶▶ 154)。
- 学習に失敗した場合は、専門の整備工場か、可能な限り BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ハザードランプは ON の状態です



左フラッシャーコントロールライトが緑に点滅ませす。



右フラッシャーコントロールライトが緑に点滅ませす。

考えられる原因:

ハザードフラッシャーはライダーによって ON にされました。

- ハザードランプを操作する(▶▶ 53)。

ローンチコントロールが使用できる状態になっていない

– 走行モードPro^{OE} 装備

シフトポイント用フラッシュが点灯または点滅します。

Launch Control not av. Clutch too hot. が表示されます。

考えられる原因:

Launch Control で可能な走行開始数を上回りました。

- クラッチを冷却します。
- Launch Control の操作(▶▶ 129)。

サービス表示



サービス時期を過ぎた場合には、期日または走行距離に関する指示を示すため、さら

にジェネラル警告灯(黄) が点灯します。

サービス期日を超過すると、黄色で CC メッセージが表示されます。さらに、サービス、サービス期日および残り距離の表示がメニューパネルMY VEHICLE およびSERVICE REQUIREMENTS で感嘆符付きで強調表示されません。



注意事項

サービス期日まで 1 カ月以上あるのにサービス表示が表示されている場合、実際に即した日付に再度調整する必要があります。この症状は、バッテリーの接続が切られた場合に発生することがあります。◀

サービス期限



が白で表示されます。

Service due! Have service performed by a specialist workshop.

考えられる原因:

走行能力または日付のため、サービスの期限が来ています。

- BMW Motorrad ディーラーにサービスの実施を依頼してください。
- » 車両の運転および交通の安全性が保たれます。
- » 車両を最善の状態で保持することが確保されます。

サービス時期を過ぎている



ジェネラル警告灯(黄/橙) が点灯します。



が黄色で表示されます。

Service overdue! Have service performed by a specialist workshop.

考えられる原因:

走行距離または日付が原因で、サービスの期限が切れています。

- BMW Motorrad ディーラーにサービスの実施を依頼してください。
- » 車両の運転および交通の安全性が保たれます。
- » 車両を最善の状態で保持することが確保されます。

取扱方法

イグニッションスイッチ / ステアリングロック	50
イグニッションキルスイッチ.....	51
ライト	52
ハザードランプ.....	53
ウインカー	54
ダイナミックトラクションコントロール (DTC)	55
走行モード	56
クルーズコントロール.....	57
発進アシスタント	60
シフトポイント用フラッシュ.....	63
盗難警報装置 (DWA)	63
グリップヒーター	65
オンボードコンピューター	66
フロントおよびリヤシート	66

イグニッションスイッチ / ステアリングロック

キー

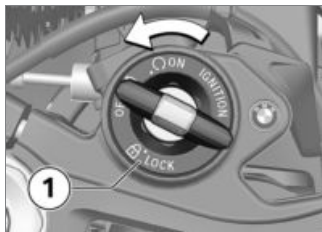
イグニッションキーは 2 本あります。

キーを紛失した場合は、電子式エンジン始動ロックシステム (EWS) (▶▶ 51) に関する注意事項に従ってください。

イグニッションスイッチ / ステアリングロック、タンクキャップ、シートロックは、1 本の同じキーで操作できます。

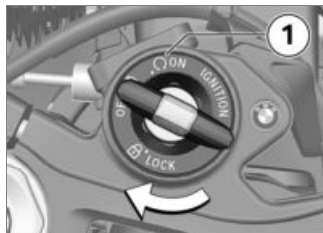
ステアリングロックをロックする

- ハンドルを左に回します。



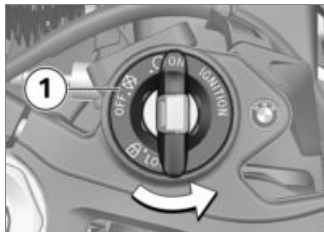
- ハンドルバーを少し動かしながら、イグニッションキーを位置 **1** に回します。
 - » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
 - » ハンドルロックは固定されています。
 - » 車両キーを抜き取ることができません。

イグニッションを ON にする



- 車両キーをポジション **1** に回します。
 - » パーキングライトとすべての電気回路が ON になります。
 - » エンジンを始動することができません。
 - » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶ 111)
 - » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶ 111)
 - » DTC 自己診断が実施されます。(▶▶ 112)

イグニッションスイッチをOFFにする



- 車両キーをポジション **1** に回します。
- » ライト OFF。
- » ステアリングロックが解除されます。
- » 車両キーを抜き取ることができます。

電子式イモビライザー (EWS)

モーターサイクルの電子制御システムは、イグニッションロックのリングアンテナを介して、車両キーに内蔵されているデータを

確認します。このキーが「権限あり」と認識されて初めて、エンジンマネジメントシステムがエンジンの始動を許可します。

注意事項

その他の車両キー(スペアキーなど)が始動用イグニッションキーと一緒に取り付けられていると、電子機器が「認識されない」ことがあります。エンジンの始動が許可されない場合があります。スペアキーは必ず車両キーと別に保管してください。◀

車両キーを紛失した場合は、BMW Motorrad ディーラーでこのキーを停止させることができます。

そのためには必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。使用停止となったキーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となっ

たキーを再度登録し直すことは可能です。

非常用および追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

イグニッションキルスイッチ



- 1** イグニッションキルスイッチ

**警告**

走行中のイグニッションキルスイッチの操作

リヤホイールのロックによる転倒の危険

- 走行中はイグニッションキルスイッチを操作しないでください。◀

イグニッションキルスイッチにより、エンジンをすばやく簡単に停止することができます。

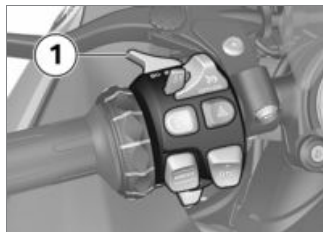


- A** エンジン停止
B 通常の操作ポジション

ライト

ロービームを ON にする

- イグニッションを ON にします。
- エンジンを始動させます。



- その代わりに：イグニッションオンの状態でスイッチ **1** を引きます。

ポジション / パーキングライト

イグニッションを ON にすると、パーキングライトは自動的に ON になります。

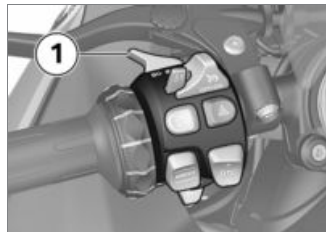


注意事項

ポジション / パーキングライトはバッテリーを消耗させます。必要な場合にのみ、イグニッションを ON にしてください。◀

ハイビームヘッドライトと パッシングライト

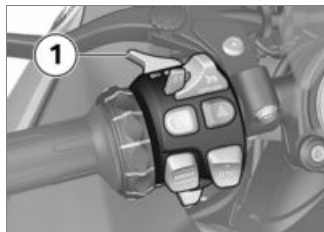
- イグニッションを ON にする(▶▶ 50)。



- スイッチ **1** を前方へ押し、ハイビームヘッドライトを ON にします。
- スイッチ **1** を後方へ引き、パッシングライトを操作します。

フォロミーホームライト

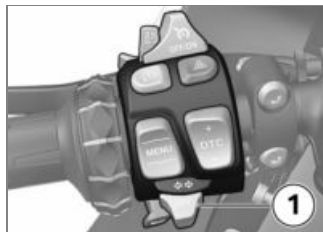
- イグニッションを OFF にします。



- イグニッションをオフにした直後、スイッチ **1** を後方へ引き、ホームライトが点灯するまで引いたまま維持します。
▶▶ 車両照明は1分間点灯し、自動的に再び消灯します。
- これは、車両を停止した後などに玄関までの道を照らすことができます。

パーキングライト

- イグニッションスイッチを OFF にする(▶▶ 51)。



- イグニッションを OFF にした直後、パーキングライトが ON になるまで、ボタン **1** を左方向へ押した状態で保ちます。
- パーキングライトを OFF にするため、イグニッションを ON にしてから再び OFF にします。

ハザードランプ

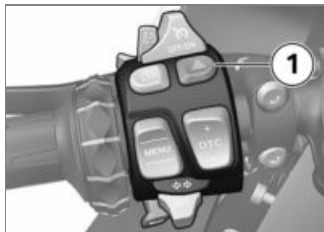
ハザードランプを操作する

- イグニッションを ON にする(▶▶ 50)。



注意事項

ハザードランプはバッテリーを消耗させます。ハザードランプは必要な場合にだけ使用するようによしてください。◀

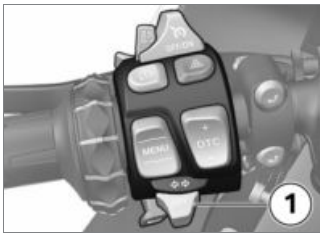


- ハザードフラッシャーを ON にするには、ボタン **1** を操作します。
- ▶ イグニッションを OFF にすることができます。
- ハザードフラッシャーをオフにするには、必要に応じてイグニッションをオンにし、ボタン **1** を再度操作します。

ウインカー

ウインカーを操作する

- イグニッションを ON にする(▶▶ 50)。



- 左側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を左方向へ押しします。
- 右側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を右方向へ押しします。
- ウインカーを OFF にするには、ボタン **1** を中間の位置にします。

コンフォートターンインジケータ



ボタン**1**を右または左に押すと、以下の条件ではターンインジケータが自動的にオフになります：

- 速度 30 km/h 未満：50 m 走行後。
- 速度 30 km/h ~ 100 km/h：速度に応じた走行距離後または加速時。
- 速度 100 km/h 以上：5 回の点滅後。

ボタン**1**を少し長く右または左に押ししても、速度に応じた走行距離

到達後にターンインジケータ－は自動的にオフになります。

ダイナミックトラクションコントロール (DTC)

DTC を OFF にする

- イグニッションを ON にします。



注意事項

ダイナミックトラクションコントロール (DTC) は走行中も OFF にすることができます。◀



- DTC インジケータ－の表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。
ボタン **1** を操作すると直ちにDTC システムステータス ON が表示されます。



DTC インジケータ－ / 警告灯が点灯します。

可能な DTC システムステータス OFF! が表示されます。

- ステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。
新しいDTC システムステータス OFF! が短時間表示されます。



DTC インジケータ－ / 警告灯が引き続き点灯します。

» DTC 機能が OFF になります。

DTC を ON にする



- DTC インジケータ－の表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。
ボタン **1** を操作すると直ちにDTC システムステータス OFF! が表示されます。



DTC インジケータ－ / 警告灯が消灯し、自己診断が終了していない場合は点滅し始めます。

可能な DTC システムステータス ON が表示されます。

- ステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。



DTC インジケーター / 警告灯は消灯したままか、点滅を続けます。

新しい DTC システムステータス ON が短時間表示されます。

- » DTC 機能が ON になります。
- 代わりに、イグニッションを OFF にしてから再び ON にすることも可能です。



イグニッション OFF / ON にして、さらに以下の最低速度で走行した後、DTC インジケーター / 警告灯が点灯する場合には、DTC が故障しています。

min 5 km/h

- ダイナミックトラクションコントロールに関する詳細情報につ

いては、「技術情報」の章を参照してください：

- » ダイナミックトラクションコントロールはどのように作動するのでしょうか？ (▶ 150)

走行モード

走行モードの使用

BMW Motorrad は、お客様がご自身の状況に合わせて選択できるように、モーターサイクルにシナリオを開発しました：

- RAIN: 雨でぬれた路面でのライディング。
- ROAD: 乾いた路面でのライディング。
- DYNAMIC: 乾いた路面でのダイナミックな走行。
- RACE: スポーツタイヤまたは SLICK でレーシングコースを走行。

- 走行モード Pro^{OE} 装備
- RACE PRO 1/2/3: ドライバーによる調整を考慮してレーシングコースを走行。

これらのシナリオでは、それぞれにエンジン特性曲線、ABS コントロール、DTC コントロールの最適な相互作用が用意されています。

- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備
- 同時に工場設定も選択したシナリオに合わせて調整されます。

走行モードを選択する



- ボタン **1** を押します。



有効な走行モード **2** はバックグラウンドに移動し、選択可能な最初の走行モード **3** が表示されます。ガイド表示 **4** は、いくつ

の走行モードが使用可能かを表示します。



- 希望する走行モードが表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し操作します。走行中に切り替えるには、以下のステップを踏む必要があります：
 - スロットルグリップを回し戻す。
 - ブレーキレバーを操作しない。
 - クルーズコントロールを作動解除します。

クルーズコントロール

- クルーズコントロール^{OE} 装備

設定時の表示(制限速度情報が無効)



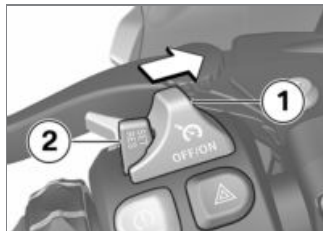
クルーズコントロールのアイコン **1** は、Pure Ride 画面と上側のステータス欄に表示されます。

設定時の表示(制限速度情報が有効)



クルーズコントロールのアイコン **1** は、Pure Ride 画面と上側のステータス欄に表示されます。

クルーズコントロールを ON にする




- スイッチ **1** を右にずらします。
- » ボタン**2**の操作がロック解除されています。


車速をセットする



- ボタン **1** を前方向へ短押しします。

 クルーズコントロールの調整範囲

20...210 km/h

 クルーズコントロールインジケーターが点灯します。

- » その時の車速を維持し、記憶します。

加速する



- ボタン **1** を前方向へ短押しします。
- » 押すたびに速度が約 1 km/h ずつ加速します。
- ボタン **1** を前方へ押し続けます。
- » 車速が無段階に加速します。
- » ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

減速する



- ボタン **1** を後方へ短押しします。
- » 操作ごとに速度が約 1 km/h ずつ減速します。
- ボタン **1** を後方へ押し続けます。
- » 車速が無段階に減速します。
- » ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

クルーズコントロールの作動解除

- クルーズコントロールを作動解除するには、ブレーキ、クラッ

ちまたはスロットルグリップ（スロットルグリップを基本位置より先まで戻す）を操作します。



注意事項

ギヤシフトアシストPro を使用してギヤシフトを行う場合には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的に OFF になります。◀



注意事項

DTC の介入時には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的にオフになります。◀

- » クルーズコントロールインジケーターが消灯します。

前回の速度を再設定する



- ボタン **1** を後方へ短押しして、保存されている車速に再び設定します。

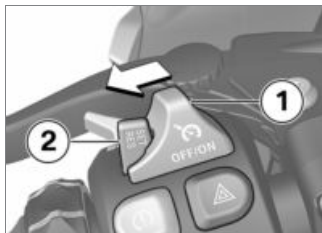
注意事項

スロットルを操作することでは、クルーズコントロールは作動解除されません。たとえ登録速度以下に減速するつもりでも、スロットルグリップから手を放した後、速度は登録速度までしか下がりにません。◀



クルーズコントロールインジケータが点灯します。

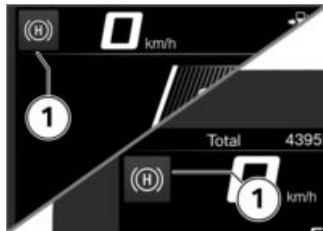
クルーズコントロールのオフ



- スイッチ **1** を左方向へずらしません。
 - » システムが OFF になります。
 - » ボタン **2** がブロックされています。

発進アシスタント

表示



発進アシストのアイコン **1** は、Pure Ride 画面と上側のステータスバーに表示されます。

Hill Start Control の操作

前提条件

車両が立っていること。



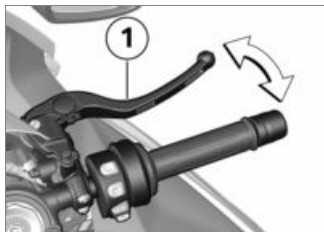
重要事項

発進アシストの機能停止
事故の危険


- 手動のブレーキ動作で車両を停止させます。◀


注意事項

発進アシストHill Start Controlは登り坂での発進をより容易にするための単なるコンフォートシステムであり、パーキングブレーキと混同してはなりません。◀




- ハンドブレーキレバー**1**またはブレーキペダルを強く操作し、すばやく再び放します。

 緑色の停止アイコンが表示されます。

- ▶ Hill Start Control は作動しています。
- Hill Start Control をオフにするには、ハンドブレーキレバー**1**またはブレーキペダルを再度操作します。
-  停止アイコンが非表示になります。
- その代わりに、1速または2速で発進します。

注意事項

発進時、Hill Start Control は自動的にオフになります。◀

 ブレーキを完全に放すと、停止アイコンが非表示になります。

- ▶ Hill Start Control はオフの状態です。
- Hill Start Control に関する詳細なインフォメーションは「技術情報」の章を参照してください。
- ▶ 発進アシストの機能 (▶▶▶ 155)

Hill Start Control をオンおよびオフにする

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 50)。
- メニュー Settings、Vehicle settings を呼び出します。
- Hill Start Control をオンまたはオフにします。

Hill Start Control Pro を操作する

– 走行モードPro^{OE} 装備

重要事項

発進アシストの機能停止
事故の危険

- 手動のブレーキ動作で車両を停止させます。◀

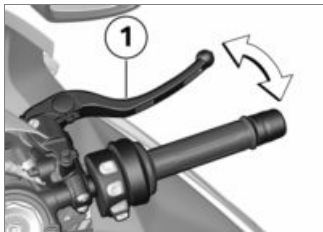
注意事項

発進アシストHill Start Control Pro は傾斜での発進を容易にするための一種のコンフォートシス


テムであり、パーキングブレーキに代わるものではありません。◀

注意事項

傾斜が 40 % 以上の場合には、発進アシスト Hill Start Control Pro を使用してはいけません。◀




- ハンドブレーキレバー**1** またはブレーキペダルを強く操作し、すばやく再び放します。
- 別の方法として、車両停止状態から傾斜 3 % 以上の場所で発進する場合に、約 1 秒ブレーキ操作をします。

 緑色の停止アイコンが表示されます。

- » Hill Start Control Pro がオンになっています。
- Hill Start Control Pro をオフにするには、ハンドブレーキレバー **1** またはブレーキペダルを再度操作します。


注意事項

Hill Start Control Pro がハンドブレーキレバーでオフになると、自動 Hill Start Control はその後 4 m の間オフになります。◀

-  停止アイコンが非表示になります。
- その代わりに、1 速または 2 速で発進します。

注意事項

発進時、Hill Start Control Pro は自動的にオフになります。◀

 ブレーキを完全に放すと、停止アイコンが非表示になります。

- » Hill Start Control Pro はオフの状態です。
- Hill Start Control Pro に関する詳細なインフォメーションは「技術情報」の章を参照してください。
- » 発進アシストの機能 (▶▶ 155)

Hill Start Control Pro を調整する

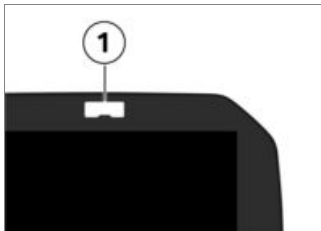
– 走行モード Pro^{OE} 装備

- イグニッションを ON にする (▶▶ 50)。
- メニュー Settings、Vehicle settings を呼び出します。
- HSC Pro を選択します。
- Hill Start Control Pro をオフにするには、Off を選択します。
- » Hill Start Control Pro はオフの状態です。

- 手動Hill Start Control Pro をオンにするには、Manual を選択します。
- » Hill Start Control Pro はハンドブレーキレバーまたはブレーキペダルを強く押すことにより作動させることができます。
- 自動Hill Start Control Pro をオンにするには、Auto を選択します。
- » Hill Start Control Pro はハンドブレーキレバーまたはブレーキペダルを強く押すことにより作動させることができます。
- » 車両停止状態から傾斜 3 % 以上の場所で発進する場合に約 1 秒ブレーキ操作をすると、Hill Start Control Pro が自動的にオンになります。
- » 選択した設定は、イグニッションオフ後も維持されます。

シフトポイント用フラッシュ

シフトポイント用フラッシュをオンおよびオフにする



- メニュー Settings、Vehicle settings を呼び出します。
- Shift light をオンまたはオフにします。

シフト表示を調整する

- 機能 Shift light をオンにします。
- メニュー Settings、Vehicle settings、Configuration (Shift light 内) を呼び出します。

- » 以下の設定が可能です：
 - Start speed
 - End speed
 - Brightness
 - Frequency。点滅周波数 0 Hz は常時点灯です。
- » 明るさと点滅周波数の変化は、シフトインジケーターが短時間転倒するか点滅するのでわかります。

盗難警報装置(DWA)

- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

作動

- イグニッションを ON にする(▶▶▶▶ 50)。
- DWA の調整(▶▶▶▶ 64)。
- イグニッションを OFF にします。
- » DWA をオンにすると、イグニッションオフ後に DWA が自動的に作動します。
- » 作動状態にするには約 30 秒かかります。

- » ウィンカーが 2 回点灯します。
- » 操作音が 2 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
- » DWA はオンの状態です。

アラーム信号

DWA アラームの発報は、以下によっても引き起こされることがあります：

- モーションセンサー
- 不正な車両キーによる始動の試み。
- 車両バッテリーからDWA を分離する (DWA バッテリーが電源供給。アラーム音のみ、ターニンジケーターの点灯なし)

DWA バッテリーが放電している場合、車両バッテリーからの取り外し時のアラームの発報が行われなくなる以外は、全機能が保持されたままになります。

アラームの発報時間は約 26 秒です。発報中は、アラーム音が鳴り、ウィンカーが点滅します。アラーム音の種類はBMW Motorrad ディーラーで調整することができます。

ライダー不在時にアラームが発報していた場合には、イグニッションを ON にした時にアラーム音が 1 回鳴ってそれを知らせます。引き続き、DWA LED がアラームの原因について 1 分間、信号を発信します。

DWA LED のライト信号：

- 1 回点滅：モーションセンサー 1
- 2 回点滅：モーションセンサー 2
- 3 回点滅：不正なキーを使用して、イグニッションが ON にされた
- 4 回点滅：車両バッテリーから DWA が取り外されている
- 5 回点滅：モーションセンサー 3

DWA 作動解除するサドウカイジョスル

- イグニッションを ON にします。
- » ウィンカーが 1 回点灯します。
- » 操作音が 1 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
- » DWA は OFF の状態です。

DWA の調整

- イグニッションを ON にする (→ 50)。
- メニュー Settings、Vehicle settings、Alarm system を呼び出します。
- » 以下の設定が可能です：
- Warning signal を調整する
- Tilt alarm sensor をオンおよびオフにする
- Arming tone をオンおよびオフにする
- Arm automatically をオンおよびオフにする

調整

Warning signal: 立ち上がりおよび立ち下がりまたは断続的なアラーム音を設定します。

Tilt alarm sensor: 傾斜センサーを作動させ、車両の傾きをモニターします。DWA はホイールの盗難やけん引きの場合などに反応します。

注意事項

車両の輸送時には傾斜センサーを作動解除し、DWA の発動を回避します。◀

Arming tone: DWA オン/オフ後のターンインジケータの点灯に確認アラーム音を加えます。

Arm automatically: イグニッションオフ時にアラーム機能を自動的にオンにします。

グリップヒーター

– グリップヒーター^{OE} 装備

グリップヒーターの操作

注意事項

グリップヒーターは、エンジン作動時にのみ作動させることができます。◀

注意事項


低回転域では、グリップヒーターによって電力消費が増すことによりバッテリーの放電に至ることがあります。バッテリーの充電が十分でない場合、始動性能を保持するために、グリップヒーターが OFF になります。◀


- エンジンを始動する(▶▶▶ 110)。



- ボタン **1** を繰り返し押して、希望の暖房レベル **2** をグリップヒーターアイコン **3** の前に表示させます。

ハンドルグリップは 2 段階で暖めることができます。

 ヒーター出力 50%

 ヒーター出力 100%

» 2 段階目ではグリップを急速に温めることができます。その後、1 段階目に切り替えてください。

- » それ以上変更が行われないと、選択した暖房レベルが設定されます。
- グリップヒーターを OFF にするには、ボタン **1** を繰り返し押し、グリップヒーターアイコン **3** を非表示にします。

オンボードコンピューター ボードコンピューターを呼び出す

- メニュー My vehicle を呼び出します。
- メニュー パネル ON-BOARD COMPUTER が表示されるまで、右にめくります。

ボードコンピューターをリセットする

- ボードコンピューターを呼び出す(▶▶▶ 66)。
- モメンタリボタン MENU 下を押します。

- Reset all values または Reset individual val. を選択し、確定します。

以下の値を個別にリセットすることができます：

- Break
- Journey
- Current (TRIP 1)
- Av. speed.
- Av. consumption.

トリップボードコンピューターを呼び出す

- ボードコンピューターを呼び出す(▶▶▶ 66)。
- メニュー パネル TRIP COMPUT. が表示されるまで、右にめくります。

トリップボードコンピューターをリセットする

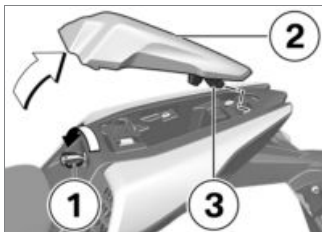
- トリップボードコンピューターを呼び出す(▶▶▶ 66)。
- モメンタリボタン MENU 下を押します。

- Reset automatically または Reset all を選択し、確定します。

» Reset automatically が選択されている場合、イグニッションオフから少なくとも 6 時間以上が経って日付が変わると、トラベルボードコンピューターが自動でリセットされます。

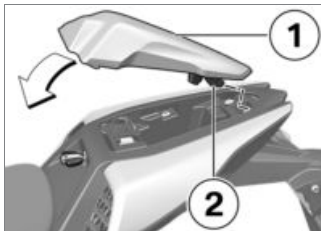
フロントおよびリヤシート リアセクションカバーの取外し

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。



- イグニッションキー **1** でリヤセクションカバー **2** 用ロックを解除します。
- リヤセクションカバー **2** を取り外します。そのために固定部 **3** を外します。

リヤセクションカバーを取り付ける

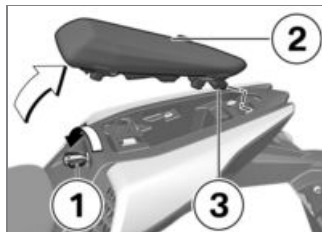


- リヤセクションカバー **1** を置きます。その際固定部 **2** を留めます。
- リヤセクションカバー **1** を後方へ押し、ロックします。

リヤシートを取り外す

－ パッセンジャーパッケージ^{OE} 装備

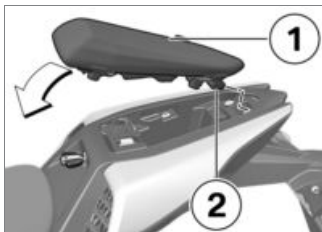
- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。



- イグニッションキー **1** でリヤシート **2** 用ロックを解除します。
- リヤシート **2** を取り外します。そのために固定部 **3** を外します。
- 車両キーを抜き取り、リアシートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

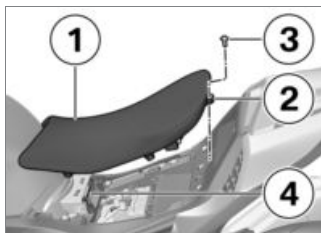
リヤシートを取り付ける

－ パッセンジャーパッケージ^{OE} 装備



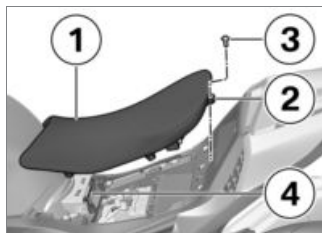
- リヤシート **1** を置きます。その際固定部 **2** を留めます。
- リヤシート **1** を後方へ押し、ロックします。

フロントシートを取り外す



- ライダーシート **1** のカバーを座面で少し前方へ押し、シャックル **2** を露出させます。
- ボルト **3** を取り外します。
- ライダーシート **1** のリア側を持ち上げ、固定部 **4** を外します。
- フロントシートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

フロントシートを取り付ける



- フロント運転席 **1** を固定部 **4** に差し込み、位置決めします。
- ライダーシート **1** のカバーを座面で少し前方へ押し、シャックル **2** を露出させます。
- ボルト **3** を当てて取り付けます。

TFT ディスプレイ

一般的な情報	70
原理	71
Pure Ride ビュー	77
一般設定	78
Bluetooth	80
ご使用の車両	83
Navigation	86
メディア	88
TEL	88
ソフトウェアバージョンを表示する	89
ライセンス情報を表示する	89

一般的な情報

警告



警告

走行時もしくはエンジン作動時のスマートフォン操作

事故の危険

- それぞれ適用されている道路交通規則を遵守してください。
- 走行時には使用しないでください(ハンズフリーユニットを介する通話など操作を必要としない使用は除く)。◀



警告

交通状態から注意が逸れ、制御不能になる危険

統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険

- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。

- 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。◀

Connectivity 機能

Connectivity 機能にはメディア、電話とナビゲーション領域が含まれます。Connectivity 機能は、TFT ディスプレイが携帯端末機器およびヘルメットと接続されている場合に利用することができます(▶▶ 80)。Connectivity 機能に関する詳細情報はこちらを参照してください：bmw-motorrad.com/connectivity



注意事項

燃料タンクが携帯端末機器と TFT ディスプレイの間にあると、Bluetooth 接続が制限される可能性があります。BMW Motorrad は、携帯端末機器を燃料タンクの上(ジャケット

ポケットの中など)に収納することをお勧めします。◀



注意事項

携帯端末機器によっては、Connectivity 機能の範囲が制限される可能性があります。◀

BMW Motorrad Connected App

BMW Motorrad Connected App で、利用情報および車両情報を呼び出すことができます。ナビゲーションなどの一部の機能を利用するには、App を携帯端末機器にインストールして、TFT ディスプレイと接続しておく必要があります。App を使用して目的地ガイドをスタートさせて、ナビゲーションを調整します。



注意事項

iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機

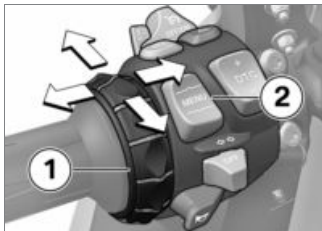
器では、使用前にBMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。◀

本書の記述について

編集終了後に TFT ディスプレイが更新されることがあります。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。更新情報はこちらを参照してください：

bmw-motorrad.com

原理 操作エレメント



ディスプレイの全内容の操作は、マルチコントローラー **1** および MENU ロッカーボタン **2** で行います。状況に応じて以下の機能が可能です。

マルチコントローラーの機能

マルチコントローラーを上に戻す：

- リストのカーソルを上に移動させます。
- 設定を行います。

- 音量を上げます。

マルチコントローラーを下に戻す：

- リストのカーソルを下に移動させます。
- 設定を行います。
- 音量を下げます。

マルチコントローラーを左に傾ける：

- 機能を操作フィードバックに従って作動させます。
- 機能を左に、または前に戻るように作動させます。
- 設定後、メニュー画面に戻ります。
- メニュー画面で：一階層上に切り替えます。
- 私の車両メニューで：メニュー画面を先にめくります。

マルチコントローラーを右に傾ける：

- 機能を操作フィードバックに従って作動させます。

- 選択を確定します。
- 設定を確定します。
- メニューステップを先にめくり
ます。
- リストで右にスクロールしま
す。
- 私の車両メニューで：メニュー
画面を先にめくります。

MENU ロッカーボタンの機能

注意事項

メニューNavigationが呼び出され
ていない場合、ナビゲーション指
示はダイアログ形式で表示されま
す。モメンタリボタン MENU の
操作は一時的に制限されます。◀

MENU の上を短押しする：

- メニュー画面で：一階層上に
切り替えます。
- Pure Ride 画面で：ライダー情
報ステータス欄の表示を切り替
えます。

MENU の上を長押しする：

- メニュー画面で：Pure Ride 画
面を開きます。
- Pure Ride 画面で：操作焦点を
Navigator に切り替えます。

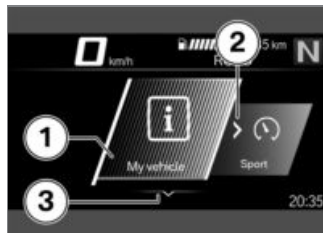
MENU の下を短押しする：

- 一階層下に切り替えます。
- 最下層に達した場合は機能しま
せん。

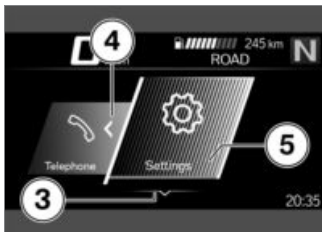
MENU の下を長押しする：

- MENU ロッカーボタンの上を
長押ししてメニューを切り替
えた後に、前回呼び出したメ
ニューに戻ります。

スタートメニューでの操作情 報



操作情報は、どのような操作が
可能 / 不可能であることを示しま
す。

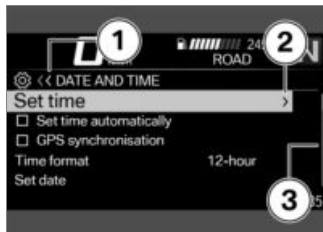


操作情報の意味：

- 操作情報 1: 左端に達していません。
- 操作情報 2: 右にめくることができます。
- 操作情報 3: 下にめくることができます。
- 操作情報 4: 左にめくることができます。
- 操作情報 5: 右端に達していません。

サブメニューの操作情報

スタートメニューの操作情報に加えて、サブメニューにもそれ以外の操作情報があります。



操作情報の意味：

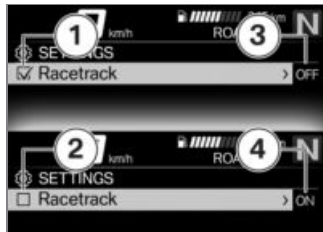
- 操作情報 1: 現在の表示は階層メニューの中にあります。アイコンはサブメニュー階層を示します。2つのアイコンはサブメニュー階層が2つ以上あることを示します。上の階層に戻るかどうかに応じて、アイコンの色は変化します。

- 操作情報 2: さらにサブメニュー階層を呼び出すことができます。
- 操作情報 3: 項目の数が表示できる数を超えています。

Pure Ride 画面を表示する

- モメンタリボタンMENUの上部を長押しします。

機能を ON または OFF にする



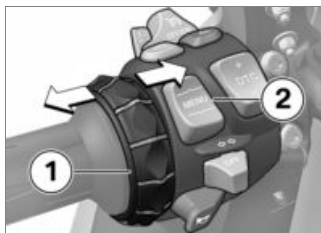
メニュー項目の一部の前にはボックスが表示されています。このボックスは、機能がONまたはOFFであることを示しています。メニュー項目の後ろにあるアク

ションアイコンは、マルチコントローラーを右に短く傾けると何がどのように切り替わるのかを具体的に示しています。

ON と OFF の例：

- アイコン **1** は、機能が ON であることを示しています。
- アイコン **2** は、機能が OFF であることを示しています。
- アイコン **3** は、機能を OFF にできることを示しています。
- アイコン **4** は、機能を ON にできることを示しています。

メニューの呼出し



- Pure Ride 画面を表示する(☞ 73)。
- ボタン **2** を下方向へ短く押します。

以下のメニューを呼び出すことができます：

- My vehicle
- Sport
- Navigation
- Media
- Telephone
- Settings

- マルチコントローラー **1** を右に繰り返し短押しして、希望

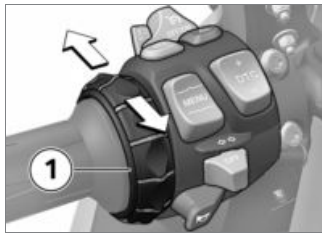
のメニュー項目をマークします。

- ボタン **2** を下方向へ短く押します。

注意事項

メニュー-Settingsは停車時のみ呼び出すことができます。◀

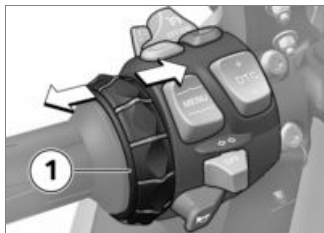
リストのカーソルを移動させる



- メニューの呼出し(☞ 74)。
- リストのカーソルを下に移動させるには、希望の項目がマークされるまで、マルチコントローラー **1** を下に回します。

- リストのカーソルを上に移動させるには、希望の項目がマークされるまで、マルチコントローラー **1** を上に回します。

選択を確定する



- 希望の項目を選択します。
- マルチコントローラー **1** を右に短押しします。

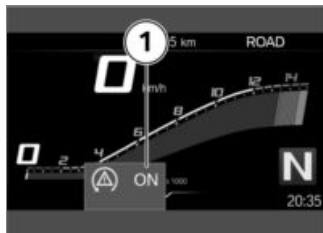
前回使用したメニューを呼び出す

- Pure Ride 画面で：MENU ロocker ボタンの下を長押しします。

» 前回使用したメニューが呼び出されます。前回マークした項目が選択されています。

システムステータスの表示

機能が ON または OFF になると、システムステータスは下側のメニュー領域に表示されます。



システムステータスの意味の例：

– システムステータス **1**：DTC 機能がスイッチオン状態です。

ライダー情報ステータス欄の表示を切り替える

前提条件

車両が立っていること。
Pure Ride 画面が表示されていること。

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 50)。
- » TFT ディスプレイではボードコンピューター (例TRIP **1**) およびトラベルボードコンピューター (例TRIP **2**) からの公道の運転に必要な全ての情報が提供されます。この情報は上側のステータス欄に表示することができます。
- ライダー情報ステータスバーの内容を選択する(▶▶▶ 76)。



- ボタン **1** を長押しして、Pure Ride 画面を表示させます。
- ボタン **1** を繰り返し短押しして、上側のステータス欄 **2** の値を選択します。

次の値が表示可能です：

- 積算距離計 Total
- トリップメーター距離 1 TRIP 1
- トリップメーター距離 2 TRIP 2



平均燃費 1



平均燃費 2



走行時間 1



走行時間 2



休止時間 1



休止時間 2



平均車速 1



平均車速 2



タイヤ充填圧



燃料残量メーター

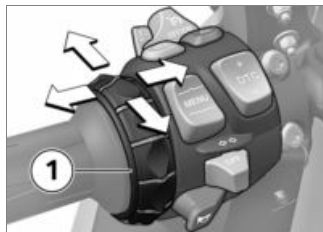


Range

ライダー情報ステータスバーの内容を選択する

- メニュー Settings、Display、Status line content を呼び出します。
- 希望の表示をオンにします。
- » ライダー情報ステータスバーで、選択した表示を切り替えることができます。表示が選択されていない場合は、航続距離のみが表示されます。

設定を行う



- 希望の設定メニューを選択して確定します。

- マルチコントローラー **1** を下に回して、希望の設定をマークします。
 - 操作情報がある場合は、マルチコントローラー **1** を右に傾けます。
 - 操作情報がない場合は、マルチコントローラー **1** を左に傾けます。
- » 設定が保存されました。

道路標識認識をオンまたはオフにする

前提条件

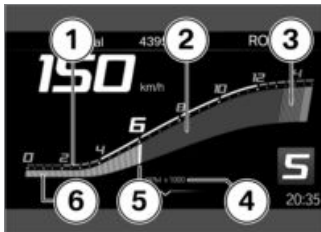
車両は互換性のある携帯端末機器と接続されています。モバイル端末機器にBMW Motorrad Connected アプリがインストールされています。

- メニューSettings、Display を呼び出します。
- Speed Limit Info をオンまたはオフにします。

注意事項

Speed Limit Info は、Settings、Racetrack が作動している場合は使用できません。◀

Pure Ride ビュー エンジン回転数表示



- 1 目盛り
- 2 低い回転数範囲
- 3 高い / 赤い回転数範囲
- 4 回転数表示の単位：
1000 rpm
- 5 指針
- 6 トレーリングポインター

注意事項

クーラント温度に応じて赤色の回転数範囲は変化します：
エンジンが冷たくなればなるほど、赤色の回転数範囲が始まる回転数は低くなります。
エンジンが暖かくなればなるほど、赤色の回転数範囲が始まる回転数は高くなります。
作動温度に到達すると、赤色の回転数範囲の表示は変化しなくなります。
シフトアップ推奨もまたダイナミックに適合されます。◀

Range

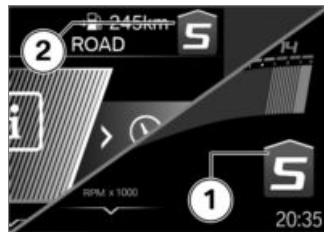


走行可能距離 **1** は、残りの燃料であとどのくらいの距離を走行できるかを示します。算出は、平均燃費およびフューエルレベルに基づいて行われます。

— モーターサイクルがサイドスタンドで立てられている場合、その傾きのために、フューエルレベルが正確に測れないおそれがあります。そのため、走行可能距離の再算出はサイドスタンドを格納した状態でのみ正しく実施できます。

- 走行可能距離は、リザーブ容量到達後に警告とともに表示されます。
- 給油後に、燃料の量がリザーブ容量を超えている場合には、走行可能距離を新たに算出します。
- 算出された走行可能距離は、概算数値です。

シフトアップ推奨



図Pure Ride **1** またはステータスバー **2**にあるシフトアップ推奨は、最も節約できるシフトアップタイミングを知らせてくれます。

一般設定

音量を調整する

- ライダーヘルメットとタンデム同乗者用ヘルメットを接続する(▶▶ 81)。
- 音量を上げる：マルチコントロールローラーを上に戻します。
- 音量を下げる：マルチコントロールローラーを下に戻します。
- ミュートにする：マルチコントロールローラーを一番下まで回します。

日付を調整する

- イグニッションを ON にする(▶▶ 50)。
- メニュー-Settings、System settings、Date and time、Set date を呼び出します。
- Day、Month およびYear を調整します。
- 設定を確定します。

日付の表示形式を設定する

- メニューSettings、System settings、Date and time、Date format を呼び出します。
- 希望の設定を選択します。
- 設定を確定します。

時計を調整する

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 50)。
- メニューSettings、System settings、Date and time、Set time を呼び出します。
- Hour およびMinute を調整します。

表示時刻形式を設定する

- メニューSettings、System settings、Date and time、Time format を呼び出します。
- 希望の設定を選択します。
- 設定を確定します。

表示単位を設定する

- メニューSettings、System settings、Units を呼び出します。

設定可能な単位は以下の通りです：

- 走行距離
- 圧力
- 温度
- 車速
- 燃費

言語を設定する

- メニューSettings、System settings、Language を呼び出します。

設定可能な言語は以下の通りです：

- 中国語
- ドイツ語
- 英語
- スペイン語
- フランス語
- イタリア語
- オランダ語

- ポルトガル語
- ロシア語
- ウクライナ語
- ポーランド語
- トルコ語

明るさを調整する

- メニューSettings、Display、Brightness を呼び出します。
- 明るさを調整します。

すべての設定をリセットする

- メニューSettings のすべての設定を初期設定にリセットすることができます。
- メニューSettings を呼び出します。
- Reset all を選択し、確定します。

以下のメニューの設定がリセットされます：

- Vehicle settings
- System settings
- Connections
- Display

– Information

» 接続中の Bluetooth 接続は削除されません。

Bluetooth

近距離無線技術

Bluetooth 機能は、国別の仕様や状況により、提供されない場合があります。

Bluetooth では、周辺の無線技術が問題となります。Bluetooth 機器はショートレンジデバイス（限定された受信可能距離で伝送）として、使用料のかからない 2.402 GHz～ 2.480 GHz の ISM 帯（産業、科学および医療帯）で通信します。このデバイスは世界中で自由に使用することができます。

Bluetooth は、接続を短距離でできるかぎり確実に確立するように設計されてはいるものの、各種の無線技術により障害が発生するおそれがあります。接続が阻

害されたり、短時間中断されたり、まったく機能しなくなることもありえます。特に、複数の機器を 1 つの Bluetooth ネットワークで利用している場合、あらゆる状況で操作がスムーズに行われるという保証はありません。

考えられるノイズ源：

- 電波塔などによる妨害磁界。
- 実装されている Bluetooth 標準規格が不十分な機器
- 周辺に他の Bluetooth 対応機器がある

Pairing

2 つの Bluetooth 機器を相互接続する前に、相互認識を行う必要があります。この相互認識の手順を「ペアリング」と言います。一度認識したデバイスはメモリーされるので、ペアリングの作業は最初に行うだけですみます。



注意事項

iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機器では、使用前に BMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。◀

ペアリングの際、TFT ディスプレイは自分の受信範囲内にある他の Bluetooth 対応機器をサーチします。ユニットが認識されるためには、以下の条件が満たされなくてはなりません。

- 機器の Bluetooth 機能がオンになっていること
- 機器が他の機器から「検知可能」になっていること
- ユニットはレシーバーとして A2DP プロファイルをサポートしていなければなりません。
- その他の Bluetooth 対応機器が OFF になっていなければなりません（携帯電話やナビゲーションシステムなど）。

そのために必要な手順については、お客様コミュニケーションシステムの取扱説明書を確認してください。


Pairing を実行する

- メニュー-Settings、Connections を呼び出します。
 - » メニュー-CONNECTIONS では、Bluetooth 接続を設定、管理、削除することができます。以下の Bluetooth 接続が表示されます：
 - Mobile device
 - Rider's helmet
 - Passenger helm.
- 携帯端末機器の接続ステータスが表示されます。

モバイル端末機器を接続する

- Pairing を実行する(▶▶▶ 81)。
- モバイル端末機器の Bluetooth 機能をオンにします (モバイル端末機器の取扱説明書を参照)。

- Mobile device を選択し、確定します。
 - Pair new mobile device を選択し、確定します。
- 携帯端末機器をサーチします。

 ペアリング中、Bluetooth アイコンが下側のステータス欄で点滅します。

認識可能な携帯端末機器が表示されます。

- モバイル端末機器を選択し、確定します。
- モバイル端末機器の指示に注意してください。
- コードが一致しているか確認します。
 - » 接続が確立され、接続ステータスが更新されます。
 - » 接続が確立されない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶▶ 205)

- » モバイル端末機器によっては、電話データが車両へ自動的に伝送されます。
- » 電話データ (▶▶▶ 89)
- » 電話帳が表示されない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶▶ 206)
- » Bluetooth 接続が想定された通りに機能しない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶▶ 206)

ライダーヘルメットとタンデム同乗者用ヘルメットを接続する

- Pairing を実行する(▶▶▶ 81)。
- Rider's helmet または Passenger helm. を選択し、確定します。
- ヘルメットの通信システムを見えるようにします。

- PAIRING NEW HELMETS または PAIRING NEW PASS. HELM. を選択し、確定します。ヘルメットをサーチします。



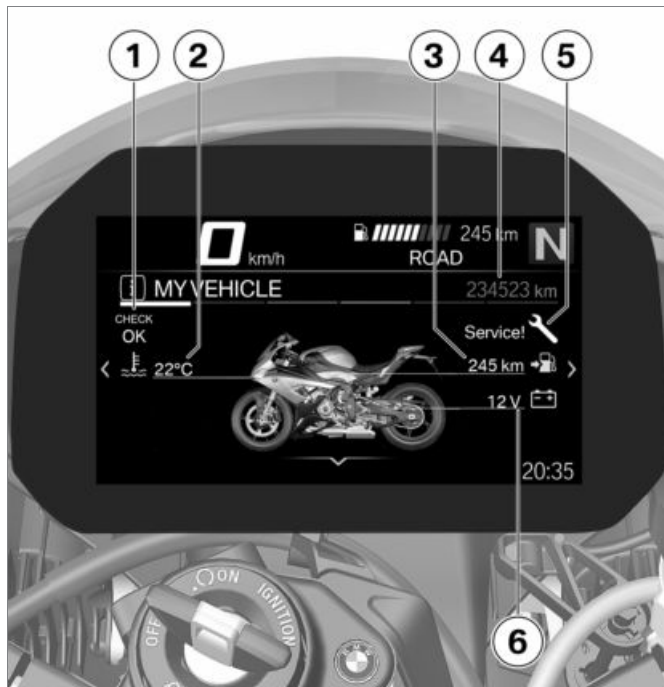
ペアリング中、Bluetooth アイコンが下側のステータス欄で点滅します。

認識可能なヘルメットが表示されます。

- ヘルメットを選択し、確定します。
 - » 接続が確立され、接続ステータスが更新されます。
 - » 接続が確立されない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶▶ 205)
 - » Bluetooth 接続が想定された通りに機能しない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶▶ 206)

接続を削除する

- メニュー Settings、Connections を呼び出します。
- Delete connections を選択します。
- 接続を個別に削除するには、接続を選択してから確定します。
- すべての接続を削除するには、Delete all connections を選択し、確定します。

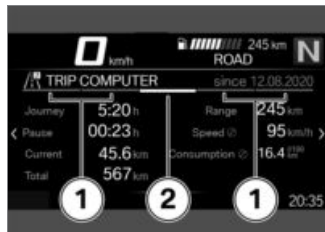


ご使用の車両

スタート画面

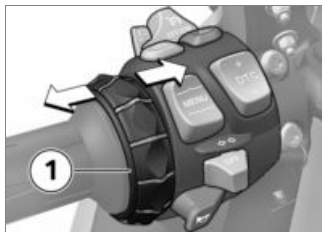
- 1 チェックコントロール表示
表示 (▶▶ 28)
- 2 冷却水温警告灯 (▶▶ 39)
- 3 Range (▶▶ 78)
- 4 総キロメートル
- 5 サービス表示 (▶▶ 47)
- 6 車両電装システム電
圧 (▶▶ 182)

操作情報



- 操作情報 1: 左または右にどの程度めくることができるかを示すタブ。
- 操作情報 2: 現在のメニュー画面の位置を示すタブ。

メニューパネルのページをめくる



- メニュー-My vehicle を呼び出します。
- 右にめくるには、Multi-Controller 1 を右に短く押します。
- 左にめくるには、Multi-Controller 1 を左に短く押します。

メニューの私の車両には以下のパネルがあります：

- MY VEHICLE
- CC メッセージ (存在している場合)
- ON-BOARD COMPUTER

- TRIP COMPUT.
- SERVICE REQUIREMENTS
- タイヤ空気圧および CC メッセージに関する詳細なインフォメーションは次の章「表示」にあります。



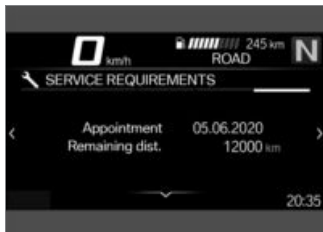
注意事項

チェックコントロールメッセージは状況によって変化しながら、私の車両メニューのメニュー画面に追加タブとして添付されます。 ◀

ボードコンピューターおよびトリップボードコンピューター

メニューパネルON-BOARD COMPUTER および TRIP COMPUT. は、平均値などの車両データおよび走行データを表示します。

サービスの必要性



次のサービス実施までの期間が1カ月以内になるか、次のサービス実施までの距離が1000 km以内になると、白でCCメッセージが表示されます。

Navigation

警告



警告

走行時もしくはエンジン作動時のスマートフォン操作

事故の危険

- それぞれ適用されている道路交通規則を遵守してください。
- 走行時には使用しないでください(ハンズフリーユニットを介する通話など操作を必要としない使用は除く)。◀



警告

交通状態から注意が逸れ、制御不能になる危険

統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険

- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。

- 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。◀

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器と接続されていること。

前提条件

接続されている携帯端末機器にBMW Motorrad Connected App がインストールされていること。



注意事項

iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機器では、使用前にBMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。◀

目的地アドレスを入力する

- モバイル端末機器を接続する(▶▶ 81)。

- BMW Motorrad Connected アプリを呼び出し、目的地ガイドをスタートさせます。
- TFT ディスプレイでメニュー-Navigation を呼び出します。
 - » オンになっている目的地ガイドが表示されます。
 - » アクティブ目的地ガイドが表示されない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶ 207)

目的地を過去の目的地から選択する

- メニュー-Navigation、Recent destinations を呼び出します。
- 目的地を選択し、確定します。
- Start route guidance を選択します。

目的地をお気に入りから選択する

- メニュー-FAVOURITES は、BMW Motorrad Connected アプリでお気に入り登録されて

いるすべての目的地を表示します。TFT ディスプレイで、新しくお気に入り登録することはできません。

- メニューNavigation、Favourites を呼び出します。
- 目的地を選択し、確定します。
- Start guidance を選択します。

特別目的地を入力する

- 観光名所などの特別目的地をマップに表示させることができます。
- メニューNavigation、POIs を呼び出します。

以下の場所を選択することができます：

- At current location
- At destination
- Along the route

- どの場所の特別目的地を検索するか選択します。

例えば以下の特別目的地を選択することができます：

- Filling station

- 特別目的地を選択し、確定します。
- Start route guidance を選択し、確定します。

ルートの詳細条件を決める

- メニューNavigation、Route criteria を呼び出します。
- 以下の詳細条件を選択することができます：

- Route type
- Avoid
- 希望のRoute type を選択します。
- 希望のAvoid をオンまたはオフにします。

有効にした回避の数がカッコ内に表示されます。

目的地ガイドを終了する

- メニューNavigation、Active route guidance を呼び出します。
- End route guidance を選択し、確定します。

音声指示をオンまたはオフにする

- ライダーヘルメットとタンデム同乗者用ヘルメットを接続する(▶▶▶ 81)。
- ナビゲーションを機械音声で出力することができます。そのためにはSpoken instructions がオンになっている必要があります。
- メニューNavigation、Active route guidance を呼び出します。
- Spoken instructions をオンまたはオフにします。

直前の音声指示を繰り返す

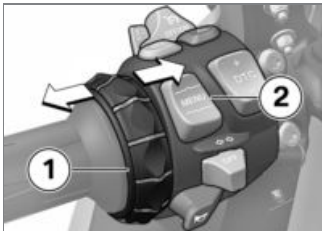
- メニューNavigation、Active route guidance を呼び出します。
- Current instruction を選択し、確定します。

メディア

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器および互換性のあるヘルメットと接続されていること。

音楽再生を制御する



- メニューMedia を呼び出します。

注意事項

BMW Motorrad は、走行前にモバイル端末機器のメディアおよび通話の音量を最大に設定することを推奨します。 ◀

- 音量を調整する(🔊➡ 78)。
- 次のタイトル： Multi-Controller **1** を右に短く押しします。
- 前回のタイトルまたは現在のタイトルの最初： Multi-Controller **1** を左に短く押しします。
- 早送り： Multi-Controller **1** を右に長押しします。
- 巻き戻し： Multi-Controller **1** を左に長押しします。
- コンテキストメニューを呼び出す： ボタン **2** を下に押しします。

注意事項

携帯端末機器によっては、Connectivity 機能の範囲が制限される可能性があります。 ◀

- » コンテキストメニューでは以下の機能が使用できます：
 - Start playback またはPause playback。

- 検索および再生には、カテゴリ Now playing、All artists、All albums またはAll tracks を選択します。
- Playlists を選択します。

サブメニューAudio options では以下の設定を行うことができます：

- Shuffle をオンまたはオフにします。
- Repeat: Off、One (現在のタイトル) またはAll を選択します。

TEL

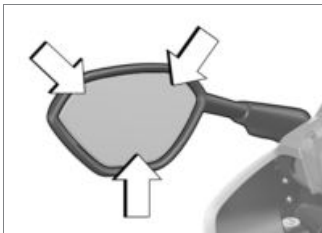
前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器および互換性のあるヘルメットと接続されていること。

調整

ミラー	92
ヘッドライト	92
ブレーキ.....	92
クラッチレバーを調整する	93
ステアリング	93
スプリングプリロード.....	94
ショックアブソーバー.....	98
車高	101
スイングアーム.....	102
DDC 校正.....	104

ミラー ミラーを調整する



- ミラーのガラスの縁部分を軽く押して、ご希望の位置にくるようにします。

ヘッドライト

右側 / 左側走行のヘッドライト光軸調節

このモーターサイクルには対称ロービームが装備されています。モーターサイクルの登録国とは異なる側を走行する国で運転する場合に、特別な措置は必要ありません。

光軸およびスプリングプリロード

通常、積載条件に応じてスプリングプリロードを調整することにより、光軸は常に一定になります。

注意事項

光軸が正しく調整されているか疑わしい場合には、できればBMW Motorrad、もしくは専門の整備工場に調整状態を確認するよう依頼してください。◀

ブレーキ

ブレーキレバーを調整する

警告

走行中のブレーキレバーの調整事故の危険

- ブレーキレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- アジャストホイール1をご希望の位置に回します。

注意事項

その際、ブレーキレバーを前へ押しとアジャストホイールを簡単に回すことができます。◀

» 選択できる設定:

- ポジション 1 から: ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最小
- ポジション 6 まで: ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最大

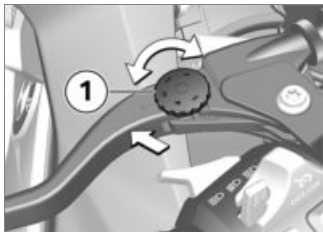
クラッチレバーを調整する クラッチレバーを調整する



警告

走行中のクラッチレバーの調整 事故の危険

- クラッチレバーの調整はモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- アジャストホイール**1**をご希望の位置に回します。



注意事項

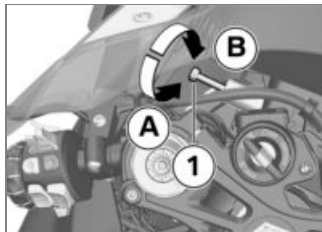
その際、クラッチレバーを前へ押すとアジャストホイールを簡単に回すことができます。◀

» 選択できる設定：

- ポジション 1: ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最小
- ポジション 5: ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最大

ステアリング

ステアリングダンパーを調整する




警告

走行中にステアリングダンパーを調整する。

事故の危険

- ステアリングダンパーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀
- ダンパーをハードにするには：調整ボルト **1** を**A**方向に回します。

- ダンパーをソフトにするには：調整ボルト **1** を**B**方向に回します。

 ステアリングダンパーの基本設定

調整ボルトをロックするまで**A**の方向に回し、次に8回**B**の方向にクリックします。(オンロード走行)

調整ボルトをロックするまで**A**の方向に回し、次に4回**B**の方向にクリックします。(レーシング走行)

スプリングプリロード

調整

フロントホイールのスプリングプリロードを、ライダーの体重に合わせて調整してください。重量が重ければスプリングプリロードをより高く、軽ければスプリングプリロードをより低くする必要があります。

リヤホイールのスプリングプリロードを、モーターサイクルの積載荷重に合わせて調整してください。積載荷重が重くなれば、スプリングプリロードを高く調整し、重量が軽くなれば、それに合わせてスプリングプリロードも低く調整する必要があります。

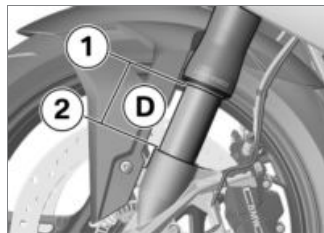
モーターサイクルを持ち上げる

スプリングプリロードを調整するためにはエンジンジャッキが必要ですが、その使い方については詳しく説明されません。この作業ができるかどうか確かでない場合は、専門の整備工場、できれば BMW Motorrad ディーラーまでお問い合わせください。


フロントホイールのスプリングプリロードを調整する

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- モーターサイクルをエンジンジャッキで持ち上げて、フロン

トホイールにかかる荷重を完全に解除します。

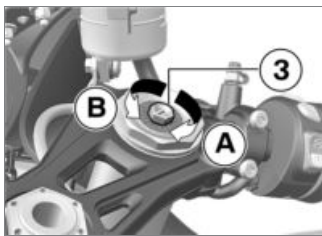


- 間隔 **D** (アウターチューブの下端 **1** とフロントアクスル **2** の間) を測定します。
- エンジンジャッキを取り外します。
- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- モーターサイクルにライダーが乗車して負荷をかけます。
- もう 1 人に協力してもらいながら、間隔 **D** (ポイント **1** と **2** の間) を再度測定し、測定値同士の差 (沈み込み量) を算出します。

 負荷に応じたスプリング
プリロードの設定

フロントホイールの沈み込み

40±2 mm (ライダー乗車時
85 kg)



警告

スプリングプリロードとスプリングストラットダンピングの調整が適合していない。

走行特性の低下。

- スプリングストラットダンピングをスプリングプリロードに合わせて調整します。◀

- 沈み込み量を減らす(スプリングプリロードを高める)には、車載ツールキットを使用して調整ボルト **3** を **A** の方向に回します。ぴったりと合い、スクリューを擦り傷から保護するアダプターが車載ツールキットに添えられています。
- 沈み込み量を増やす(スプリングプリロードを低める)には、車載ツールキットを使用して調整ボルト **3** を **B** の方向に回します。ぴったりと合い、スクリューを擦り傷から保護するアダプターが車載ツールキットに添えられています。

スプリングプリロードを調整する(リヤホイール)


- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- モーターサイクルをエンジンジャッキで持ち上げて、リヤホ

イールにかかる荷重を完全に解除します。



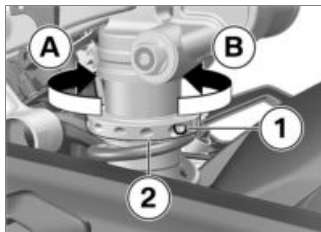
- 間隔 **D** (シート **1** と軸 **2** の間) を測定します。
- エンジンジャッキを取り外します。
- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- ライダーと状況に応じて荷物で、モーターサイクルに荷重をかけます。
- もう 1 人に協力してもらいながら、間隔 **D** (ポイント **1** と **2** の間) を再度測定し、測定値同士の差(沈み込み量)を算出します。

 スプリングプリロードの積載量に依存するアジャストメント

リアホイールのスプリングデフレクション

35±2 mm (ドライバーによる道路走行 85 kg)

30±2 mm (ドライバーによるレーシング走行 85 kg)



警告

スプリングプリロードとスプリングストラットダンピングの調整が適合していない。

走行特性の低下。

- スプリングストラットダンピングをスプリングプリロードに合わせて調整します。◀
- ボルト **1** を車載ツールキットを使用して外します。
- 沈み込み量を減らす(スプリングプリロードを高める) には、車載ツールキットを使用してアジャストリング **2** を **A** の方向に回します。

- 沈み込み量を増やす(スプリングプリロードを低める) には、車載ツールキットを使用してアジャストリング **2** を **B** の方向に回します。
- ボルト **1** をトルクで締め付けます。



調整リングのボルト

6 Nm

スプリングプリロードを調整する(リヤホイール)

– Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- モーターサイクルをエンジンジャッキで持ち上げて、リヤホイールにかかる荷重を完全に解除します。
- イグニッションを ON にします。

- エンジンをスタートさせて、バッテリーの放電を防止します。

注意事項

DDC システムの設定は、イグニッションがオンの場合にのみ可能であり、その場合のみ電氣的バルブが有効になるからです。◀



- 間隔 **D** (シート **1** と軸 **2** の間) を測定します。
- エンジンジャッキを取り外します。
- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。

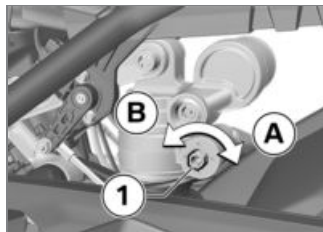
- ライダーと状況に応じて荷物で、モーターサイクルに荷重をかけます。
- もう 1 人に協力してもらいながら、間隔 **D** (ポイント **1** と **2** の間) を再度測定し、測定値同士の差 (沈み込み量) を算出します。

	<p>スプリングプリロード の積載量に依存するアド ジャストメント</p>
--	---

<p>リアホイールのスプリングデ フレクション</p>

<p>35±2 mm (ドライバーによる道 路走行 85 kg)</p>
--

<p>30±2 mm (ドライバーによる レーシング走行 85 kg)</p>



- 沈み込み量を減らす (スプリングプリロードを高める) には、車載ツールキットを使用してボルト **1** を **A** の方向に回します。
- 沈み込み量を増やす (スプリングプリロードを低める) には、車載ツールキットを使用してボルト **1** を **B** の方向に回します。

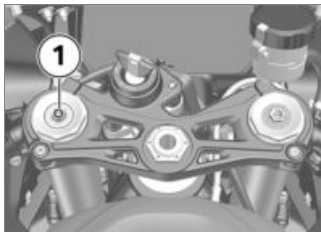
ショックアブソーバー調整

ショックアブソーバーは、必ず路面状態およびスプリングプリロードに合わせて、調整してください。

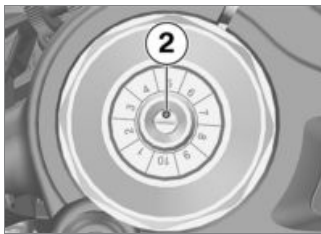
- 凸凹のある路面では、平坦な路面の場合よりも、ショックアブソーバーはソフトに設定されている方が効果的です。
- スプリングプリロードが高い場合は、ショックアブソーバーもハードに調整し、スプリングプリロードが低い場合は、ショックアブソーバーもソフトに調整する必要があります。

フロントホイールのコンプレッションダンピングを調整する

- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備



- コンプレッションステージダンピングを左フォークストラットの調整ボルト**1**と黄色い目盛りで調整します。



- ダンパーをハードにするには：車載ツールキットを使用して調整ボルトをマーク**2**がより大

きい目盛り値を示すように回します。

- ダンパーをソフトにするには：車載ツールキットを使用して調整ボルトをマーク**2**がより小さい目盛り値を示すように回します。

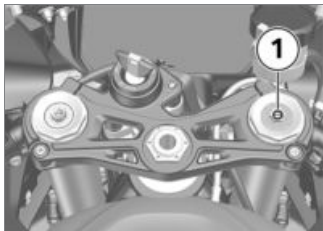
	コンプレッションステージの基本設定(フロント)
--	-------------------------

ポジション 5 (ドライバーによる道路走行 85 kg)

ポジション 7 (ドライバーによるレーシング走行 85 kg)

フロントホイールのリバウンドダンピングを調整する

- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備



- リバウンドダンピングを右フォークストラットの調整ボルト **1** と赤色の目盛りで調整します。



- ダンパーをハードにするには：車載ツールキットを使用して調整ボルトをマーク **2** がより大

きい目盛り値を示すように回します。

- ダンパーをソフトにするには：車載ツールキットを使用して調整ボルトをマーク **2** がより小さい目盛り値を示すように回します。



リバウンドステージの基本設定(フロント)

ポジション 5 (ドライバーによる道路走行 85 kg)

ポジション 5 (ドライバーによるレーシング走行 85 kg)

リヤホイールのコンプレッションダンピングを調整する

— Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。




- コンプレッションステージダンピングを調整ボルト **1** で調整します。



- ダンパーをハードにするには：車載ツールキットを使用して調

調整ボルトを右へ+ 方向に回します。

- ダンパーをソフトにするには：車載ツールキットを使用して調整ボルトを左へ- 方向に回します。

 コンプレッションステージの基本設定(リヤ)

調整ボルト **1** をロックするまで+ の方向に回し、次に5 回- の方向にクリックします。(ドライバーによる道路走行 85 kg)

調整ボルト **1** をロックするまで+ の方向に回し、次に3 回- の方向にクリックします。(ドライバーによるレーシング走行 85 kg)

リヤホイールのリバウンドダンピングを調整する

- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備



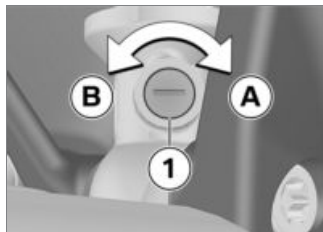
高温のエキゾーストシステム

火傷の危険


- 高温のエキゾーストシステムには触れないこと。◀
- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。



- 調整ボルト **1** を回してリバウンドダンピングを調整します。



- ダンパーをハードにするには：車載ツールキットを使用して調整ボルト **1** をA方向に回します。
- ダンパーをソフトにするには：車載ツールキットを使用して調整ボルト **1** をB方向に回します。

 リバウンドステージの基本設定(リヤ)

調整ボルトをロックするまでAの方向に回し、次に5 回Bの方向にクリックします。(ドライバーによる道路走行 85 kg)

リバウンドステージの基本設定(リヤ)

アジャストノブをロックするまで**A**の方向に回し、次に3回**B**の方向にクリックします。(ドライバーによるレーシング走行 85 kg)

車高

- Race パッケージ^{OE} 装備
- または
- M パッケージ^{OE} 装備

車高を調整する

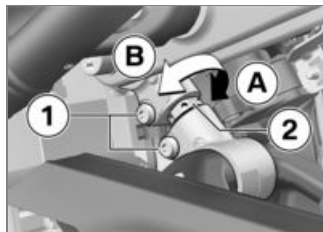
リアホイールガイド型式での車高は、プッシュストラット長で調整されます。

車高の調整では、特定の設定組み合わせにおいて、さまざまなコンポーネントのクリアランスを保証できない点に注意してください。そのため、変更後はリヤスイングアームおよびリアホ

イールのクリアランスを常に点検する必要があります。車高の調整には、フットレストの架台やエンジンジャッキ等の、ここではそれらの取扱いについて詳しく説明されていない追加補助工具が必要です。この作業ができるかどうか確かでない場合は、専門の整備工場、できればBMW Motorrad ディーラーまでお問い合わせください。

車高をプッシュストラットで調整する

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- モーターサイクルをエンジンジャッキで持ち上げて、リヤスイングアームにかかる荷重を解除します。
- モーターサイクルが倒れないように固定します。



- 固定ボルト **1** を外します。
- 車高を上げるには、調整ボルト **2** を **A** の方向へ回します。
- 車高を下げるには、調整ボルト **2** を **B** の方向へ回します。

プッシュストラットの長さ

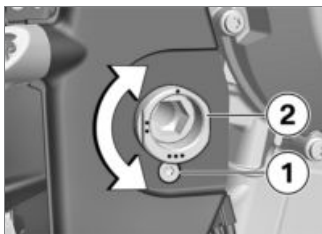
87.5 mm (基本調整)

86...91 mm (調整範囲)

- 車高をスイングアームピボット調整で合わせます：




- ナット **1** を取り外します。

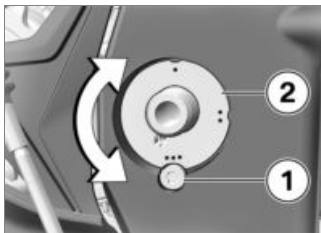


- 固定ボルト **1** を取り外します。
- 右ブッシュ**2**を左ブッシュと交互にそれぞれ最大 90° 回し、希望の位置に調整します。


- 固定ボルト **1** を取り付けます。

 右メインフレーム内でのSDP ブッシュの位置決め

5 Nm




- 左ブッシュ**2** を右ブッシュと交互にそれぞれ最大 90° 回し、希望の位置に調整します。
- 左ブッシュ**2** と右ブッシュが同じ位置(マーク)に固定されるよう注意してください。
- 固定ボルト **1** を取り付けます。

 左メインフレーム内でのSDP ブッシュの位置決め

8 Nm

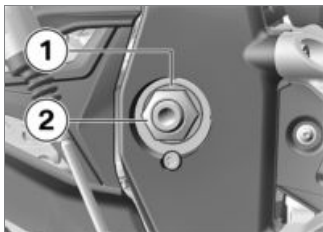


- ナット **1** を取り付け、トルクで締め付けます。

 ブッシュ SDP 用ナットとフレーム

ボルト固定剤: Loctite 270、高粘度

50 Nm



- ナット **2** をワッシャー **1** と共に取り付け、トルクで締め付けます。その際スイングアームアクスルで支持します。



ナットをスイングアームアクスルへ

ボルト固定剤: メカニズム部分

100 Nm

- エンジンジャッキを取り外します。
- スイングアームピボットポイントの変更後は、車高をプッシュストラットで修正します。

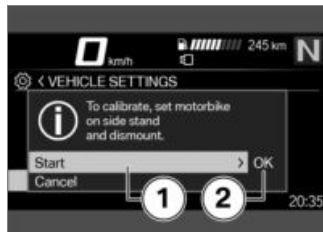
- 車高をプッシュストラットで調整する(▶▶▶ 101)。
- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備
- DDC を校正する(▶▶▶ 104)。
- チェーンのたるみ量を点検する(▶▶▶ 187)。

DDC 校正

- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備

DDC を校正する

- モーターサイクルをサイドスタンドまたは適切な補助スタンドに載せます。校正中はモーターサイクルに乗車してはなりません。荷物を取り除きます。



- メニュー Settings、Vehicle settings、DDC calibration を呼び出します。
- Start **1** を選択し、OK **2** で確定します。
 - ▶▶▶ 校正が実行されます。
 - ▶▶▶ 校正が完了すると、Calibration successful. が表示されず Calibration failure! Remove all loads and set vehicle on side stand.が表示された場合は、キャリブレーションを繰り返して行う必要があります。
- Repeat を選択します。
 - ▶▶▶ 何度校正を行ってもうまくいかない場合は、専門の整備工

場、できればBMW Motorrad
Partner にご依頼ください。

走行

安全に関する注意事項.....	108
チェックリストを確認し、遵守する.....	109
走行開始のたびに：	109
燃料補給 3 回目ごと.....	110
始動	110
慣らし走行	112
ギヤチェンジ.....	113
シフトポイント用フラッシュ.....	114
ブレーキ.....	115
駐車する.....	117
給油	117
モーターサイクルを搬送用に固定 します	119

安全に関する注意事項

ライダーエクイップメント

正しい装備品を装着 / 着用しない
でモーターサイクルに乗ることは、
極めて危険です。次のアイテムを、
必ず装着 / 着用してください。

- ヘルメット
- ライディングスーツ
- グローブ
- ブーツ

走行距離の長短や天候にかかわらず、
これらのアイテムは必ず装着 / 着用しな
ければなりません。BMW Motorrad ディー
ラーは喜んでご相談に応じます。また、
それぞれの目的に合わせた、適切な
アイテムをご用意しています。

荷物の積み込み



警告

**積載超過や不均等な積載により、
走行安定性が損なわれる**

転倒の危険

- 許容総重量を超えないようにし、
積載に関する注意をお守りください。◀
- スプリングプリロードおよび
ショックアブソーバーの設定を
車両重量に合わせて調整しま
す。

車速

高速走行時には、さまざまな周
辺状況が、モーターサイクルの
走行特性に悪影響を及ぼす可
能性があります：

- スプリングプリロードおよび
ショックアブソーバーの調整
- 荷物のアンバランス
- 不適切な服装
- タイヤ充填圧が低すぎる

- タイヤの摩耗
- その他

有毒物質

排気ガスは無色無臭ですが、たい
へん有毒な一酸化炭素を含有し
ています。



警告

**健康を害するおそれのある排ガス
窒息の危険**

- 排ガスを吸い込まないようにし
てください。
- 閉め切った場所で、エンジンを
作動させないでください。◀

火傷の危険



注意

走行中のエンジンおよびエキゾーストシステムの過熱

火傷の危険

- 車両を駐車した後、誰も、何も、エンジンやエキゾーストシステムに触れないように注意してください。◀

触媒コンバーター

ミスファイアーにより触媒コンバーターに未燃焼のガソリンが流入した場合、オーバーヒートや損傷が生じるおそれがあります。

以下の規定を遵守してください：

- フューエルタンクが空の状態では走行しない。
- スパークプラグコネクターを外したままエンジンを作動させない。
- ミスファイアが発生した場合には、ただちにエンジンを停止させる。

- 無鉛ガソリンのみを使用する。
- 指定されているメンテナンススケジュールを遵守する。



重要事項

触媒コンバーター内の未燃焼燃料触媒コンバーターの損傷

- 触媒コンバーターの保護のため、作動ポイントに注意してください。◀

オーバーヒート



重要事項

長時間のアイドルング

冷却不足によるオーバーヒート、極端な場合には車両の燃焼

- エンジンを不必要にアイドルングしたままにしないでください。
- エンジンを始動したら、ただちに発進してください。◀

改造



重要事項

モーターサイクルの改造(例：エンジンマネジメントシステム、スロットルバタフライ、クラッチ)関連するコンポーネントの損傷、安全に関わる機能の故障、保証の失効

- いかなる改造も行わないでください。◀

チェックリストを確認し、遵守する

- モーターサイクルを定期的に点検するため、以下のチェックリストを使用してください。

走行開始のたびに：

- ブレーキシステムの機能を点検します。
- 照明および信号装置の機能を点検します。

- クラッチの機能を点検する(▶▶▶ 166)。
- タイヤのトレッド溝の深さを点検する(▶▶▶ 169)。
- バッグおよび荷物が確実に固定されているか点検します。

燃料補給 3 回目ごと

- エンジンオイルレベルを点検する(▶▶▶ 161)。
- フロントブレーキパッド厚を点検します(▶▶▶ 163)。
- リヤブレーキパッド厚を点検します(▶▶▶ 164)。
- フロントブレーキフルードレベルを点検する(▶▶▶ 165)。
- リヤブレーキフルードレベルを点検する(▶▶▶ 165)。
- クーラントレベルを点検する(▶▶▶ 168)。

始動

エンジンを始動する

- イグニッションを ON にします。
 - ▶▶ Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶▶ 111)
 - ▶▶ ABS 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 111)
 - ▶▶ DTC 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 112)
- ニュートラルに設定するか、ギヤを入れた状態でクラッチを切ります。

注意事項

サイドスタンドを立てている状態でもギヤを入れることはできませんが、モーターサイクルを発進させることはできません。モーターサイクルをニュートラルで始動させ、サイドスタンドを出した状態で 1 速に入れると、エンジンは停止します。◀

- コールドスタートおよび温度が低い場合：クラッチを引きません。
- M バッテリー^{OE} 装備
 - ▶▶ 低温度ではスタート状態に影響を与える可能性があります。◀



- スターターボタン **1** を操作します。

注意事項

バッテリー電圧が十分でない場合、始動動作は自動的に中断されます。始動操作を続ける前に、バッテリーを充電するか、ジャンプスタートを行ってください。

詳細については、「メンテナンス」の章の「ジャンプスタート」を参照してください。◀

- » エンジンが始動します。
- » エンジンが始動しない場合は、次のトラブルシューティングをご覧ください。(▶▶ 204)

Pre-Ride-Check (走行前点検)

イグニッションをオンにすると、メーターパネルはインジケータ / 警告灯のテスト「Pre-Ride-Check」(走行前点検)を行います。その終了前にエンジンを始動すると、テストは中断されます。

ステップ 1

すべてのインジケータ / 警告灯がオンになります。

車両が比較的長い間停止状態にあった後にシステムをスタートされると、アニメーションが表示されます。

ステップ 2

ジェネラル警告灯が赤から黄に変わります。

ステップ 3

すべての作動しているインジケータ / 警告灯が逆の順序で消灯します。

インジケータ / 警告灯がオンにならなかった場合：

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS 自己診断

BMW Motorrad Integral ABS の作動可能状態が自己診断によって点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

- » 停止状態で診断可能なシステムコンポーネントの点検。



ABS インジケータ / 警告灯が点滅します。

ステップ 2

- » 発進時のホイール回転数センサーの点検。



ABS インジケータ / 警告灯が点滅します。

ABS 自己診断が終了

- » ABS 表示灯 / 警告灯が消灯します。



ABS 自己診断が終了していません

自己診断が終了していないため、ABS 機能を使用できません。(ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります：min 5 km/h)

ABS 自己診断の終了後に、ABS の故障が表示される場合：

- 走行を続けることは可能です。ABS 機能もインテグラル

機能も使用できないことに注意してください。


- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

DTC 自己診断

BMW Motorrad DTC の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

- » 停止状態で診断可能なシステムコンポーネントの点検。

 DTC インジケーター / 警告灯が低速で点滅します。

ステップ 2

- » 発進時に診断可能なシステムコンポーネントの点検。

 DTC インジケーター / 警告灯が低速で点滅します。

DTC 自己診断が終了しました

» DTC アイコンが表示されなくなります。

- すべてのインジケーター / 警告灯の表示に注意してください。



DTC 自己診断が終了していません

自己診断が終了していないため、DTC 機能を使用できません。(ホイール回転数センサーの点検を行うには、モーターサイクルがエンジン作動状態で最低速度に達していなければなりません: min 5 km/h)

DTC 自己診断の終了後に、DTC の故障が表示される場合:

- 走行を続けることは可能です。DTC 機能が使用できない、または機能の使用に制限があることに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに

故障の修理を依頼してください。

慣らし走行

エンジン

- 最初の慣らし運転までは、負荷範囲とエンジン回転数域を頻繁に変化させてください。一定の回転数での長時間の走行は避けてください。
- カーブが多く、なだらかな坂のある道を選び、十分に慎重な走行をするようにしてください。
- 慣らし走行中のエンジン回転数を遵守してください。



慣らし走行中のエンジン回転数

<7000 min⁻¹ (走行距離 0...300 km)

<9000 min⁻¹ (走行距離 300...1000 km)



慣らし走行中のエンジン
回転数

フルロードなし (走行距離
0...1000 km)

- 慣らし運転を行う際に従うべき
走行距離を守ってください。



初回点検までの走行距離

500...1200 km

ブレーキパッド

新品のブレーキパッドは、最適な摩擦力に達するまで、慣らし走行が必要です。この段階のブレーキの効きの弱さは、ブレーキレバーを強く握ることで補うことができます。



警告

新しいブレーキパッド

制動距離の延長、事故を起こす危険

- 早めにブレーキングしてください。◀

タイヤ

新しいタイヤの表面はきわめてなめらかな状態です。したがって、表面が適度に荒れるまで、慎重に慣らし走行を行う必要があります。タイヤの持つ最大のグリップ力を引き出すためには、この慣らし手順を必ず実行してください。



警告

路面が濡れている場合や著しく傾斜している場所で新しいタイヤのグリップが失われる

事故の危険

- よく前方に注意して走行し、急な傾斜のある場所は回避してください。◀

ギヤチェンジ

ギヤシフトアシストPro



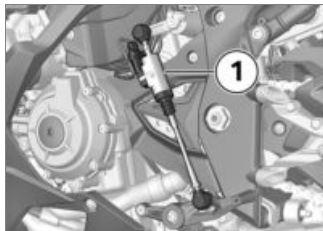
注意事項

ギヤシフトアシストPro に関する詳しい情報については、「技術情報」の章を参照してください。◀



注意事項

ギヤシフトアシストPro を使用してギヤシフトを行う場合には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的に OFF になります。◀

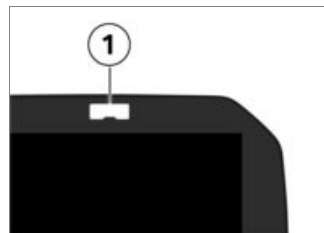


- ギヤ入力は従来どおりシフトレバーを踏み込んで行います。
- ≫ シフトロッドのセンサー**1**が希望のシフトを検知し、シフトサポートを行います。
- ≫ 定速走行時にローギヤのまま高回転域に達している場合、クラッチ操作なしでのギヤシフトは過度な荷重移動による反応を招くおそれがあります。BMW Motorrad は、このような走行条件においてはクラッチ操作を伴うシフト切替のみをお勧めします。限度回転数域におけるシフトアシストの使用は避けてください。

- ≫ 以下の状況では、シフトアシストは作動しません：
 - クラッチが操作されている場合。
 - シフトレバーが初期位置にない場合
 - スロットルバタフライを閉じた状態 (惰性走行) または減速時のシフトアップ
 - スロットルバタフライを開いた状態でシフトダウンする時、またはアクセル開時。
- シフトアシストを使用してさらにギヤチェンジを行うには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除しなければなりません。

シフトポイント用フラッシュ

シフトポイント用フラッシュ



シフトポイント用フラッシュ **1** は、高速へのシフトチェンジのタイミングに近づいていることを知らせます。

- 設定されている周波数でシフトポイント用フラッシュが点滅：シフト回転数に間もなく到達します
- シフトポイント用フラッシュが消灯：シフト回転数に達しています

回転数限界値およびシフトインジケータの点灯方法については、メニュー-Settings、Vehicle settings で調整することができます（「操作」のチャプターも参照）。

ブレーキ

制動距離を最短にするには？

フロント/リアホイール間の力学的な負荷配分は、ブレーキングによって変わります。ブレーキングが強くなるほど、フロントホイールにはより大きな負荷がかかります。ホイールにかかる負荷が大きくなるほど、より大きな制動力が伝達されます。制動距離を最短にするには、徐々に強くなるようフロントブレーキをかけることが必要です。それにより、フロントホイールにかかる負荷の力学的な増加が、最も効果的に利用されます。同時に、クラッチは切っておく必要があります。

フロントホイールのロックは、BMW Motorrad Race ABS によって回避されます。

しばしばトレーニングされる「緊急ブレーキ」では、ブレーキ圧ができるかぎり早急に最大の力で生成されます。力学的な負荷配分が減速に追いつけなくなり、制動力が完全には路面に伝達できなくなります。さらにホイールにかかる負荷の不足により、ABS はわずかなブレーキ作用でフロントホイールのロックを回避しなければなりません。これによりブレーキの効きが悪くなります。

下り坂



警告

山道や狭い通路などを抜けるときにリアブレーキのみをかける
オーバーヒートによるブレーキの破損、制動作用の喪失

- フロントおよびリアブレーキを 작동させて、エンジンプレーキを使用してください。◀

濡れて汚れたブレーキ

ブレーキディスクやブレーキパッドが濡れていたり汚れていたりすると、ブレーキの効きが悪くなります。

以下の状況では、ブレーキの効きが遅れたり悪くなったりすることを、必ず考慮してください：

- 雨天走行時や、水たまりの中を走行した場合。
- 洗車の後。
- 塩が撒かれた路面を走行したとき。
- ブレーキ関連作業の後で、オイルやグリースの残留物による。
- 汚れている路面や、オフロードの走行時。

**警告****濡れや汚れが原因でブレーキの効きが悪くなる****事故の危険**

- ブレーキを乾燥させて汚れをとり、必要に応じて清掃します。
- 再び制動力を完全に発揮できるようになるまでは、ブレーキを早めに操作してください。◀

ABS Pro**走行における物理的境界****警告****コーナーにおけるブレーキング****ABS Pro 装備でもある転倒の危険性**

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクキーな走行により制限しないでください。◀

**注意事項**

ABS Pro は、ドライビングモード RAIN、ROAD および DYNAMIC で作動します。これはドライビングモード Race で作動解除されます。ドライビングモード Race Pro では ABS Pro が個別に調節できます。◀

転倒をなくすことはできない

たとえば ABS Pro および Dynamic Brake Control がライダーのために、バンク時のブレーキングの際に万全のサポートを行い、安全性において著しいプラス効果を発揮しても、走行における物理法則の限界を超えられるものではありません。従来と同様に、誤った判断や運転ミスなどにより、この限界を超えることがあります。極端なケースでは、それが転倒につながることもあります。

公道での使用**ABS Pro およ**

び Dynamic Brake Control は、公道においてモーターサイクルをより安全に使用するためのものです。コーナーにおける思いがけない危険な状況が原因のブレーキング時に、ABS Pro は走行における物理的境界の範囲内で、ホイールのロックやスリップを回避します。エマージェンシーブレーキング時には、ブレーキ動作中に誤ってスロットルグリップが操作された場合に、Dynamic Brake Control によってブレーキ作用を高めて介入します。

**注意事項**

ABS Pro はバンク時の個々のブレーキ性能の向上のために開発されたものではありません。◀

駐車する

サイドスタンド

- エンジンを停止させます。
- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1速に入れます。

重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い

転倒によるコンポーネントの損傷

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀
- サイドスタンドを出し、モーターサイクルを立てます。

重要事項

追加重量によるサイドスタンドの負荷

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両がサイドスタンドで立てられている状態のときには、着座しないでください。◀

- 路面の傾斜に無理がなければ、ハンドルバーを左へ回しておきます。

給油

燃料品質

前提条件


最適な燃費となるよう、硫黄フリーの、またはできる限り硫黄が少ない燃料を使用してください。

重要事項

有鉛ガソリンを給油する

触媒コンバーターの損傷


- 有鉛ガソリンや金属添加物(マンガン/鉄など)を含む燃料は決して給油しないでください。◀
- 燃料に含まれるエタノールの最大比率に注意してください。

 推奨フューエルグレード

無鉛プレミアムガソリン(ハイオク) (最大 5%エタノール、E5)

98 ROZ/RON

93 AKI

 燃料品質の選択肢

無鉛スーパー、(出力および燃費の制約。)(エタノール 10%以下、E10)

95 ROZ/RON

90 AKI

給油



警告

フューエルは簡単に引火します
火災や爆発の危険

- フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。◀



警告

燃料タンクの充填量が多すぎると、熱の影響で燃料が膨張した場合に漏れる

転倒の危険

- フューエルタンクを充填しすぎないでください。◀



重要事項

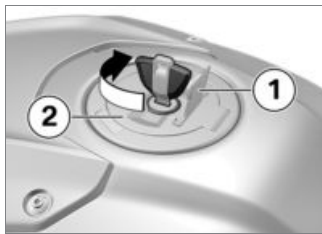
プラスチック表面に燃料が付着
表面の損傷(見苦しくなる、またはつやのない状態になる)

- プラスチック表面が燃料に触れた場合には、ただちに清掃します。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをサイドスタンドで立てます。



注意事項

サイドスタンドに立つだけで、利用可能な燃料タンク容積を最適に使用できます。◀



- 保護キャップ **1** を開きます。
- 燃料タンクのロック **2** をイグニッションキーを使用して時計

回りにロック解除し、開きます。



- 前述のグレードのフューエルをフィルターネックの下端(MAX位置)まで補給します。




注意事項


燃料残量を下回った後に給油を行う場合、給油後の充填量が燃料残量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯がOFFになります。◀

注意事項

テクニカルデータ(仕様諸元)に記載されている「フューエル容量」は、フューエルタンクが空に近づき、燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。◀

 フューエル容量

約 16.5 l

 フューエルリザーブ容量

約 4 l

- フューエルタンクキャップを強く押して閉めます。
- イグニッションキーを抜き取り、保護キャップを閉めます。

モーターサイクルを搬送用に固定します

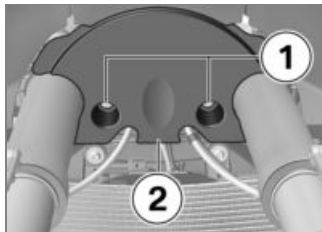
- テンションストラップが取り回されているすべてのコンポーネントを、損傷ないように保護します。接着テープや柔軟なウェスなどを使用してください。



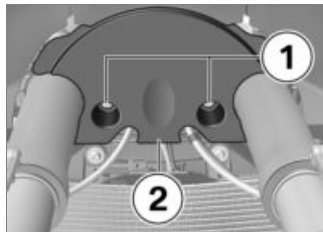
重要事項

リフトアップのときに車両が左右に傾く
転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両が倒れないよう、サポートする方と一緒に作業するようにしてください。◀
- モーターサイクルを搬送用プレートの上に移動させます。サイドスタンドで立てないこと。



- ボルト **1** を取り外し、フォークシールド **2** を外します。



重要事項

コンポーネントの挟み込み

コンポーネントの損傷

- コンポーネント（ブレーキラインやケーブルなど）が挟み込まれないようにしてください。◀
- フロント側テンションストラップをロワフォークブリッジ左右に取り付けます。
- テンションストラップを下方向にピンと張ります。

- リア固定ベルトの両側をリアフレームに取り付けてピンと張ります。
- すべてのテンションストラップを均等に張り、車両ができるかぎりしっかりと固定されるようにします。

- 搬送後にフォークシールド **2** を当て、ボルト **1** で取り付けます。

レースサーキットで

サーキット走行用表示.....	122
LAPTIMER	125
サーキット走行用車両設定	126
RACE PRO 走行モード	127
Launch Control	128
Pit Lane Limiter	130
DTC	131
レーシング走行用サスペンション 調整	132
ミラーを脱着する	133
ライセンスプレートベースを脱着 する	136
ABS をレースサーキット走行時に オフにする	141
リバースシフトパターン(逆シフ ト)	142

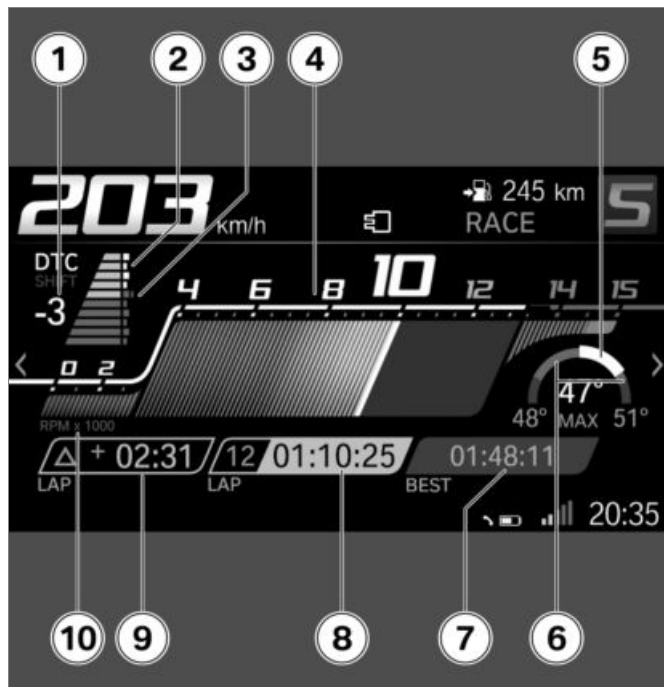


表示Sport 2

- 1 - 走行モードPro^{OE} 装備
DTC 調整する (▶▶▶ 131)。
- 2 最大DTC トルク減少
- 3 現在のDTC トルク減少
- 4 エンジン回転数表示
- 5 直近のラップタイムと基準
時間との差、または現在の
ラップタイムと基準時間と
の差
- 6 基準時間：現在保存さ
れている最速ラップタイ
ム、または保存されてい
るラップタイムの最速時
間 (▶▶▶ 125)
- 7 現在のラップタイム
- 8 エンジン回転数表示の単
位：1000 rpm

表示Sport 3

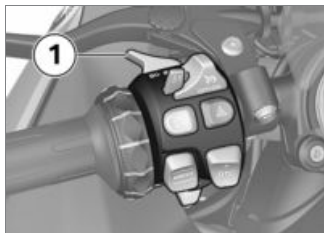
- 1 - 走行モードPro^{OE} 装備
DTC 調整する (▶▶▶ 131)。
- 2 最大DTC トルク減少
- 3 現在のDTC トルク減少
- 4 エンジン回転数表示
- 5 現在の傾斜角
- 6 最大傾斜角
- 7 基準時間：現在保存されている最速ラップタイム、または保存されているラップタイムの最速時間 (▶▶▶ 125)
- 8 現在のラップタイム
- 9 直近のラップタイムと基準時間との差、または現在のラップタイムと基準時間との差
- 10 エンジン回転数表示の単位：1000 rpm



LAPTIMER

時間計算を開始する

- メニューSport を呼び出し、表示Sport 2 またはSport 3 に切り替えます。
- エンジンを始動させます。



- ボタン **1** を押します。
- » 時間計算が進行します。
- 次の走行ラップの記録を開始するため、スタートライン/ゴールラインを越えるごとに、ボタン **1** を再度押します。
- » 前の走行ラップのデータが保存されます。

- » 現在のラップのタイムは00:00:00で再度スタートします。
- » レースラップで止まった時間は、調節可能なDisplayed for のために、現在のレースラップの進行中のタイムに切り替わる前に表示されます。
- » 記録中に表示モードが閉じられても、記録はそのまま続けて行われます。

時間計算を終了し、時間を管理する

前提条件

表示Sport 2 またはSport 3 が表示されます。

- モメンタリボタンMENU 下を押します。
- » メニューLAPTIMER が表示されます。
- End recording で進行中の記録が終了できます。
- Lapsで現在のラップタイムと走行データ呼び出せます。

99 回までラップが保存できません。それ以上になってもラップが削除されない場合、次のラップで最初のラップが上書きされます。

- Delete all laps ですべてのラップを消去できます。
- Delete best ever でそれまでで最高のレースラップ (Best ever) をリセットできます。

Laptimer を調整する

- メニューSettings、Vehicle settings、Laptimer を呼び出します。
- » 以下の設定が可能です：
- Debounce time: パッシングライトが操作されると、ラップタイム測定に影響することなくその時間内にパッシングライトを再度操作できます。
- Displayed for: 現在のラップタイムが表示される前に、この時間内でラップタイムの止まった時間が表示されます。

- Reference: どのベストタイムが基準として表示されるかを選択します。Best: 現在の記録のベストタイムまたはBest ever: 以前測定したタイムのベスト。
- Best lap in progress: この機能が作動されると、直近のラップタイムと基準タイムとの差が表示されず、現在のラップタイムと基準タイムとの差が表示されます。

過去最高のレースラップ

過去最高レースラップ (Best ever) は記録されているすべてのレースラップで最速のものであり、さらに速いラップが記録されるとただちに更新されます。過去最高レースラップは、記録されているレースラップが消去されるときにも、登録されたまま残ります。これにより、他の時点において新しい走行を記録し、以前の走行のベスト走行ラップと比較することができます。

過去最高のレースラップは、メニュー-LAPTIMER で消去できません。

過去最高のレースラップが保存されている記録ものである場合、対応するラップ番号と一緒に表示されます。過去最高のレースラップにラップ番号がない場合、これはすでに消去されている記録からのものです。

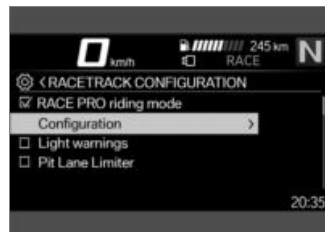
サーキット走行用車両設定 レーシングコース用設定を有効にする

- メニュー-Settings を呼び出し、Racetrack を作動させます。
- Configuration を選択します。

注意事項

レーシングコース機能をオンにすると、Connectivity 機能Media、TelephoneおよびNavigationが作動解除されます。◀

設定メニュー



レースサーキットでの走行用に、ライト故障に関する警告を抑制することができます。

- 走行モードPro^{OE} 装備 Pit Lane Limiter の回転数を調整することができます (▶▶ 130)。

RACE PRO CONFIGURATION で、車両パラメーターを細部にわたって調整することができます (▶▶ 127)。

Light warnings: レースサーキット走行用にウインカーやライセンスプレートベースを取り外すと、車両エレクトロニクスがこれをライトの故障として検出し、そのことを示す警告メッセージがディスプレイに表示されます。Light warnings を無効にすると、警告メッセージは抑制されます。

RACE PRO 走行モード

– 走行モードPro^{OE} 装備

レーシングコース用設定

RACE PRO ドライビングモードでは、シャシーコントロール、ブレーキコントロールおよびエンジンコントロールをプロフェッショナルに細かく適合できますこれによってドライバー要求、コースの状態および天候を個別に考慮できます。

以下のパラメーターを調整できます：

- Engine
- Engine Brake
- Traction (DTC)
- Wheelie (DTC)
- ABS
- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備
- DDC

パラメーターに関する詳しい情報は (▶▶▶ 151)を参照してください。

3 つのRACE PRO ドライビングモードを設定できます。

RACE PRO ドライビングモードは、同じくボタンMODE で選択します (▶▶▶ 56)。

RACE PRO riding mode が作動すると、ドライビングモードRAIN、ROAD およびDYNAMIC がなくなります。その代わりに、ドライビングモードRACE、RACE PRO 1、RACE PRO 2 およびRACE PRO 3 で切り替えられます。

RACE PRO riding mode が作動解除されると、あらかじめ定義されたすべてのドライビングモードが再び使用できるようになり、ドライビングモードROAD が選択されます。

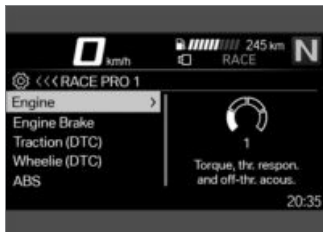
RACE PRO ドライビングモードを設定する

- メニューSettings を呼び出し、Racetrack を作動させます。
- Configuration を選択し、RACE PRO riding mode を作動させます。
- Configuration を選択します。

» 現在の設定が一覧で表示されます。



- 1つの設定を選択します。



- 1つのパラメーターを選択します。

» 現在の設定が図と数字で表示されます。さらに各設定の説明文が表示されます。

– 設定が標準ドライビングモードにも保存されている場合、そのドライビングモードが挙げられます。

- 設定を希望通りに変更します。

初期設定へのリセット

- 設定を選択します。
- パラメーターリスト内で下に向かってスクロールして、最後の登録項目Resetを選択します。

Launch Control

レーススタートとLaunch Control

– 走行モードPro^{OE} 装備

Launch Control は、ライダーがレーススタートで理想的なトルク状態を保つのをサポートします。



Launch Control の作動後にフルスロットルでのエンジン回転数

9000 min⁻¹

Launch Control が作動 ON の状態では、フロントホイールが軽く浮き上がる程度に最大駆動力が調整されるように、エンジントルクが低減されます。フロントホイールの浮き上がりが検知されると、トルクは一時的に少し戻されます。決められた速度から、スピードリミッターは非作動になります。



Launch Control 用の回転数制限が無効になる速度

約 70 km/h

Launch Control は以下の条件下で OFF になります：

- 3速に入っています。
- 傾きが 30° 以上になります。
- エンジンまたはイグニッションが OFF になります。

クラッチ保護のために、Launch Control で続けてスタートできる回数は制限されています。更に可能なスタート回数がディスプレイに表示されます。例：Launch Control: 3 starts still avail.

Launch Control の操作



注意


Launch Control により最大限の加速が可能になりますが、それにより通常とは異なる走行状態になることがあります。
加速による事故の危険があります。

- Launch Control はサーキットでのみ使用します。◀
- 車両をスタートポジションにします。

» 車両は停止し、エンジンは作動します。



- スターターボタン **1** を、ディスプレイがLaunch Control でまだ許容されるスタート数を表示するまで、押したまま保ちます。
- » スタートがもうできない場合は、Launch Control not av. Clutch too hot.が表示されます。
- クラッチを冷却します。

 クラッチの冷却

約 3 min (エンジン作動状態)

約 20 min (エンジン停止状態)

- 始動は通常通り行い、少なくとも回転数制限に達するまで、スロットルグリップを開けます。
- クラッチを入れると、スロットルグリップを全開します。
- » シフトポイント用フラッシュが点灯または点滅します。
- » Launch Control はリアホイールの理想的なトルクを制御し、下記の速度までエンジン回転数を一定に保ちます。
- スロットルグリップを完全に開いたままにすること。

 Launch Control 用の回転数制限が無効になる速度

約 70 km/h

- » スロットルグリップがフルロード位置のため、回転数リミット

が OFF になるとすぐ、エンジン回転数が上昇します。

- » スロットルグリップは再び通常通りに反応します。
- サーキットに応じてシフトアップし、車体を傾けてカーブを走行します。
- » 3 速に入っているか、傾斜角が 30° を超えている場合、シフトインジケーターが消えます。
- » Launch Control によるレーススタートが完了しました。

Pit Lane Limiter

– 走行モード Pro^{OE} 装備

車速を Pit Lane Limiter で制限

Pit Lane Limiter は、ピットレーンなどで制限速度を守るためのサポート機能です。そのために、エンジンの最高回転数は 1 速走行に固定されます。



注意事項

最大回転数から生じる速度は、レシオとタイヤサイズに応じて異なります。◀

値フィールド

– 3500～8000 rpm/100 ステップ

Pit Lane Limiter を調整する

- メニュー Settings を呼び出し、Racetrack を作動させます。
- Configuration を選択します。
- Pit Lane Limiter を作動させます。
- Configuration を選択します。
- Speed を調整します。

Pit Lane Limiter の操作



- 1 速で走行します。
- スターターボタン **1** を押したまま保ちます。
- 設定された最高回転数に達するまでスロットルグリップを開きます。
- » エンジン回転数は点火遮断により制限されます。

警告

スターボタンから手を放すと、スロットルグリップ位置に対応した加速が行われます。

スロットルグリップを急激にフルロード位置にすると、転倒の危険性があります。

- スロットルグリップは全開にせず、制限回転数に達するところまでにします。◀
- スターボタン **1** から手を放します。
» 車両を最大限に加速させます。

DTC

DTC 設定

選択した走行モードに合わせて、DTC により、リヤホイールの許容スリップが制御されます。

- 走行モードPro^{OE} 装備
ドライビングモード RACE PRO の設定の範囲内でコントロールを細かく調整できます。
- RACE PRO ドライビングモードを設定する (▶▶▶ 127)



走行中、左ハンドルバー操作ユニットのDTC モメンタリボタン**1**でDTC 調整を変更できます。

DTC 調整する

- 走行モードPro^{OE} 装備

- RACE PRO ドライビングモードを設定する (▶▶▶ 127)。
- 希望のRACE PRO-ドライビングモードを選択します。

注意事項

DTC は走行中も適合可能です。◀



- モメンタリボタン **1** を短く上方へ押し出すと、DTC コントロールが高められます



警告

DTC 制御の低下によりリヤホイールが空転し、安定性が失われる。

転倒の危険

- DTC 制御はレースサーキット上でのみ弱めます。
- DTC コントロールは一度に 1 段階だけ変更し、走行特性への影響をい慎重にテストしてください。◀
- DTC モメンタリボタン **1** を短く下方へ押すと、DTC コントロールが低減されます。
 - » 設定された値はディスプレイに表示され、-7 と7の間になります。
 - » 1 ... 7: リアホイールのスリップを最大 7 段階低下。値7 はDTC の介入が最も早いことを意味します。
 - » -1 ... -7: リアホイールのスリップを最大 7 段階上昇。値-

7 はDTC の介入が最も遅いことを意味します。

- » 0: 工場設定
- » DTC表示が非表示になります：DTC がオフにされました。

DTC を OFF にする

ぬかるみや荒れた路面（サーキットの砂利層など）では、DTC の介入によりリヤホイールにかかる駆動力が小さくなり、リヤホイールが回転しなくなる恐れがあります。このような場合、BMW Motorrad は事前にDTC を OFF にしておくことをお勧めします。

ぬかるみや荒れた路面でのリヤホイールの空転に注意し、しっかりとした固い路面に到達する前に、適時にスロットルグリップを閉じてください。

DTC をオフにすると、同様にトラクションコントロールとウィーリー抑制機能がオフになります

その後、DTC を再び ON にしてください。

DTC をオフにする (▶▶ 55)

レーシング走行用サスペンション調整

レーシング走行のための推奨事項を守ってください：

ステアリングダンパーを調整します (▶▶ 93)。

- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備
リアホイールのスプリングプリロードを調整します (▶▶ 95)。
- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備
リアホイールのスプリングプリロードを調整します (▶▶ 96)。

– Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備

フロントホイールのコンプレッションステージダンピングを調整します (▶▶▶ 98)。

フロントホイールのリバウンドダンピングを調整します (▶▶▶ 98)。

リアホイールのリバウンドダンピングを調整します (▶▶▶ 99)。

リアホイールのコンプレッションステージダンピングを調整します (▶▶▶ 100)。

– Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備

Dynamic Damping Control (DDC) は適切なダンパーを自動的に選択します (▶▶▶ 149)。

– Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備

– 走行モードPro^{OE} 装備
Dynamic Damping Control (DDC) は、フロントおよびリアホイールで個別に調整できます (▶▶▶ 127)。

– Race パッケージ^{OE} 装備
または

– M パッケージ^{OE} 装備
車高を調整します (▶▶▶ 101)。
スイングアームを調整します (▶▶▶ 102)。

ミラーを脱着する ミラーを取り外す

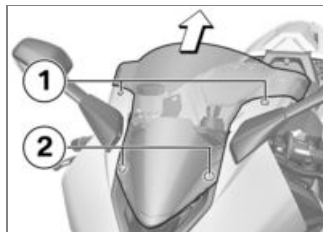
重要事項

ミラーの取り外し

公道用運転許可の失効

- ミラーなしで公道を走行しないでください。◀

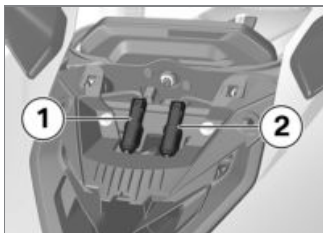
- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。



- ボルト**1**および**2**を取り外す。
- ウィンドシールドを**矢印方向**に取り外します。



- エア吸気フラップ上部を**で矢印方向**クリップから外し、下方へ取り出します。

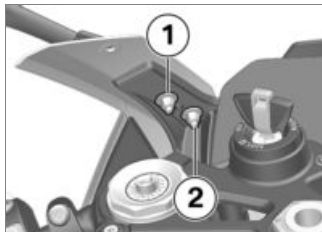


- 右ターンインジケーター**1**と左ターンインジケーター**2**用コネクターを分離します。



注意事項

レーシングコース走行用にターンインジケーター内蔵型ミラーが取り外されると、車両エレクトロニクスがこれをランプ故障として検出し、該当する警告メッセージをディスプレイに表示します。機能Light warningsをメニューRACETRACK CONFIGURATIONで非作動にすることで、この警告メッセージを止められます。◀



- 左右のナット**1**および**2**を外し、ミラーを取り外します。

- ケーブルを慎重に取り外します。



- トリムパネル**1**を左右フェアリングブラケット**2**に取り付けます。ケーブルストラップを使用する場合は、擦れる可能性がある箇所を接着テープで保護します。



注意事項

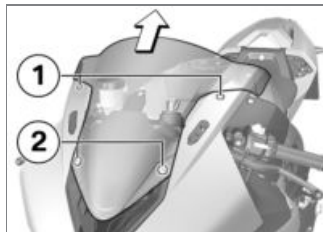
M Cover Kit (BMW Motorrad 用) を使用して、生じたボルト穴をカバーし、再固定してください。◀

ミラーを取り付ける

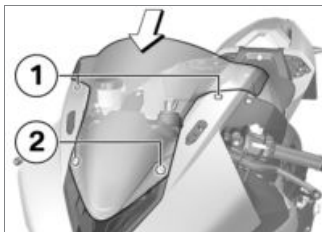
- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- フェアリングの固定具を取り除きます。



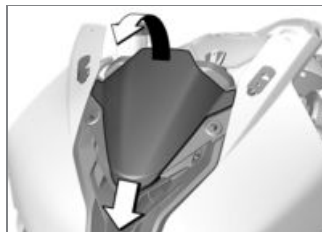
- エア吸気フラップを取り付け **1** 上部をクリップ留めします **2**。



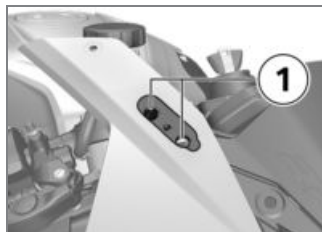
- ボルト **1** および **2** を取り外す。
- ウィンドシールドを **矢印** 方向に取り外します。



- ウィンドシールドを **矢印** 方向に取り付けます。
- ボルト **1** および **2** を取り付けます。

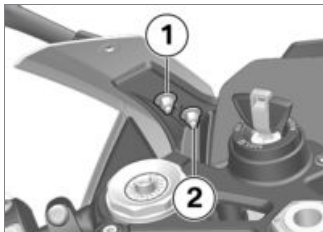


- エア吸気フラップ上部を **で矢印** 方向クリップから外し、下方へ取り出します。




- ターンインジケーター用ケーブルを慎重に通します。

- 左右のミラーをホルダー **1** に取り付けます。

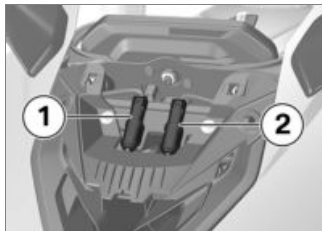


- フェアリング裏面のナット **1** および **2** を規定の締付けトルクで取り付けます。

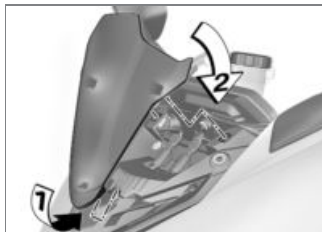
 フロントキャリアのミラー

ボルト固定剤: メカニズム部分

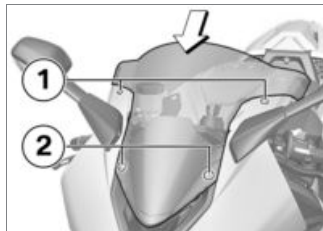
8 Nm



- 右ターンインジケータ**1**と左ターンインジケータ**2**用コネクタを接続します。



- エア吸気フラップ下部を取り付け **1** 上部をクリップ留めします **2**。



- ウィンドシールドを 矢印方向に取り付けます。
- ボルト **1** および **2** を取り付けます。

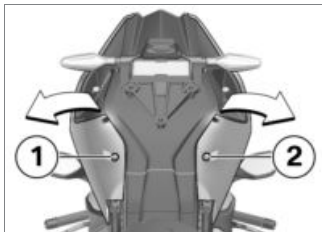
ライセンスプレートベースを脱着する

ライセンスプレートベースの取外し

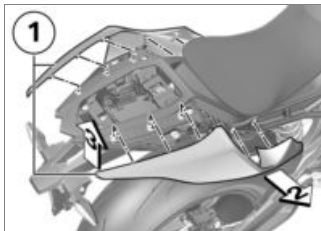
重要事項

ライセンスプレートベースを取り外す
公道用運転許可の失効

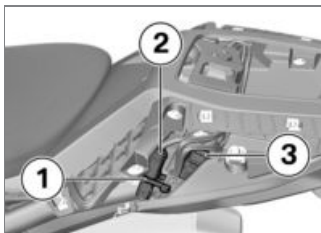
- ライセンスプレートベースなしで公道を走行しないでください。◀
- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- パッセンジャーパッケージOE装備
- リヤシートを取り外す(▶▶ 67)。
- リアセクションカバーの取外し(▶▶ 66)。



- ボルト**1**および**2**を取り外す。
- 左右テールパネルを注意深くの**矢印方向**にクリップから外します。



- 左右テールパネル**1**を注意深くまず水平に**2**、さらに垂直に**3**クリップから外します。



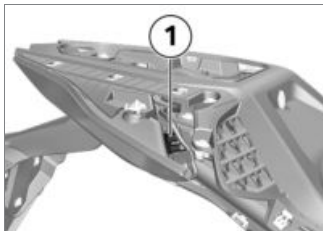
- ケーブルストラップ**1**を取り外します。
- ライセンスプレートライト**2**および左ターンインジケー

ター**3**用コネクタを分離します。

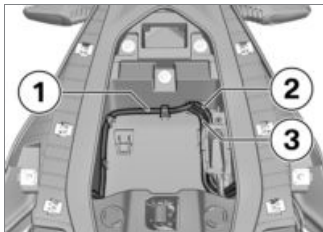


注意事項

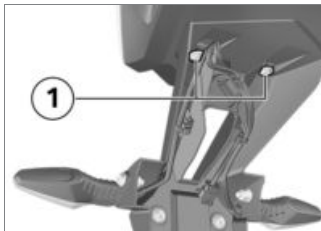
レースサーキット走行用にライセンスプレートベースが取り外されると、車両エレクトロニクスがこれをライトバルブ故障として検出し、該当する警告メッセージをディスプレイに表示します。機能Light warningsをメニュー-RACETRACK CONFIGURATIONで非作動にすることで、この警告メッセージを止められます。◀



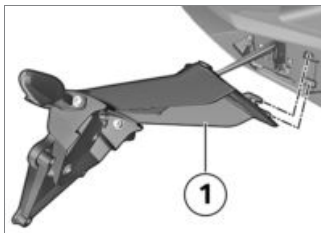
- 右ターンインジケーター用コネクタ **1** を分離します。



- 右ターンインジケーター**1**、左ターンインジケーター**2**およびライセンスプレートライト **3**用ケーブルを取り外します。



- ボルト**1**を取り外す。

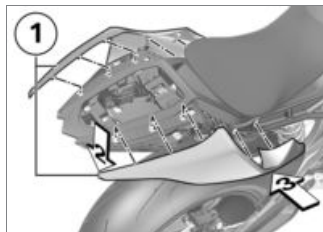


- ライセンスプレートベース **1**を外し、下方へ取り出します。
- ケーブルを慎重に取り外します。

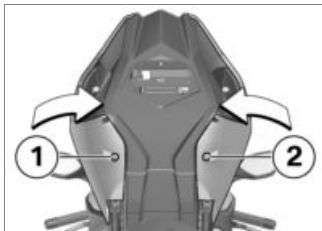


注意事項

M Cover Kit (BMW Motorrad 用) を使用して生じた開口部をカバーしてください。◀



- 左右テールパネル **1** を注意深くまず垂直に**2**、さらに水平に**3**クリップ留めします。



- リアパネルを慎重に**矢印方向**にクリップ留めします。
- ボルト **1** および **2** を取り付けます。

ー パッセンジャーパッケージOE 装備

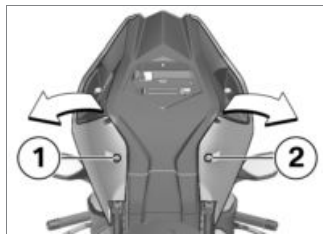
- リヤシートを取り付ける(▶▶▶ 67)。
- リヤセクションカバーを取り付ける(▶▶▶ 67)。

ライセンスプレートベースの取付け

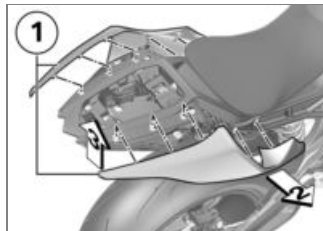
- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。

ー パッセンジャーパッケージOE 装備

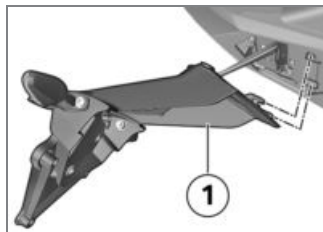
- リヤシートを取り外す(▶▶▶ 67)。
- リアセクションカバーの取外し(▶▶▶ 66)。



- ボルト**1**および**2**を取り外す。
- 左右リアパネルを慎重に**矢印方向**にクリップから外します。

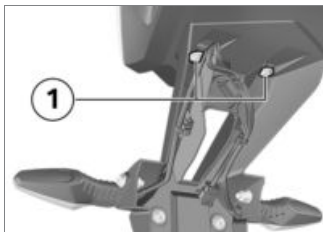


- 左右テールパネル **1** を注意深くまず水平に**2**、次に垂直に**3** クリップから外します。



- ライセンスプレートベース **1** をあてがい、ケーブルを慎重に通します。

- ライセンスプレートベース **1** を取り付けます。

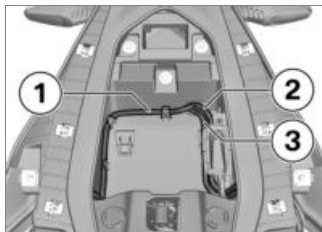


- ボルト **1** を取り付けます。

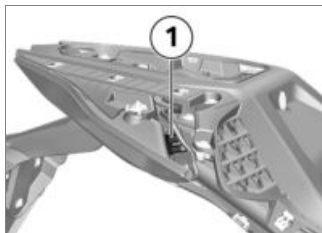


ライセンスプレートベースとリヤフレーム

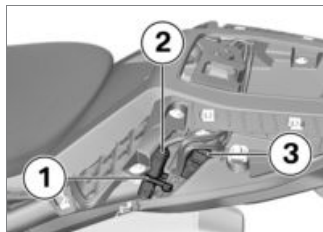
2 Nm



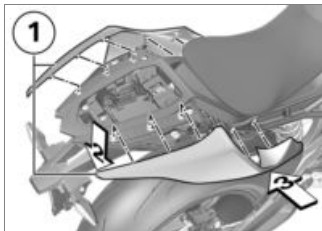
- 右ターンインジケータ**1**、左ターンインジケータ**2**およびライセンスプレートライト**3**用ケーブルを通します。



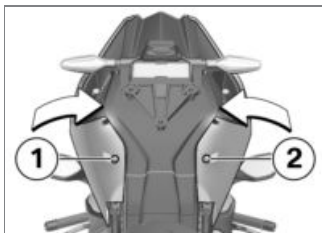
- 右ターンインジケータ用コネクタ**1**を接続します。



- ライセンスプレートライト**2**および左ターンインジケータ**3**用コネクタを接続します。
- ケーブルバインダー **1** を取り付けます。



- **3 2**左右テールパネル **1** を注意深くまず垂直に、次に水平にクリップ留めします。



- リアパネルを慎重に**矢印方向**にクリップ留めします。

- ボルト **1** および **2** を取り付けます。

ー パッセンジャーパッケージOE 装備

- リヤシートを取り付ける(▶▶ 67)。
- リヤセクションカバーを取り付ける(▶▶ 67)。

ABS をレースサーキット走行時にオフにする

ABS 機能を OFF にする

前提条件

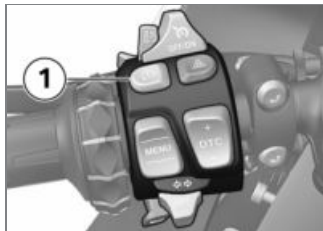
ライセンスプレートベースが取り外されている。

- イグニッションを ON にする(▶▶ 50)。




注意事項

ABS 機能は走行中も OFF にすることができます。◀



- ボタン **1** を少なくとも 3 秒間押しします。

 ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。

- » ABS 機能が OFF になります。
- » インテグラル機能はオフになっています。
- » Hill Start Control 機能は引き続き作動しています。
- ー 走行モードPro^{OE} 装備
- » Dynamic Brake Control 機能は、ABS 機能がオフになると、同様にオフになります。◀
- » ドライビングモード RACE PRO では、ABS 機能をイグニッションをオフにして


再度オンにした後でもオフのままです。

- BMW Motorrad Integral ABS 装備のブレーキシステムに関する詳細なインフォメーションは「技術情報」の章を参照してください：
 - » パーシャリーインテグラルブレーキ (▶▶▶ 146)
 - » 発進アシストの機能 (▶▶▶ 155)
- 走行モードPro^{OE} 装備
- » Dynamic Brake Control の機能 (▶▶▶ 153)◀

ABS 機能を ON にする



- ボタン**1** を少なくとも 3 秒間押します。
-  ABS インジケーター / 警告灯が消灯し、自己診断が終了していない場合は点滅し始めます。
- » ABS 機能が ON になります。
 - メニューSettings で選択オプションRacetrack が作動解除されると、ABS はイグニッションがオフにされ再度オンにされることで作動します。

 イグニッションを OFF / ON にして、さらに最低速度以上で走行した後にABS インジケーター / 警告灯が点灯する場合には、ABS が故障しています。

min 10 km/h

リバースシフトパターン (逆シフト)

サーキット走行用シフトパターン

シフトロッドを付け替えることにより、サーキット走行用にシフトパターンを逆にすることができます。逆シフトパターンでは、1 速用シフトペダルは上方向へ、他のすべてのギヤは下方向へ操作しなければなりません。これは公道での操作とは逆です。

逆シフトパターン

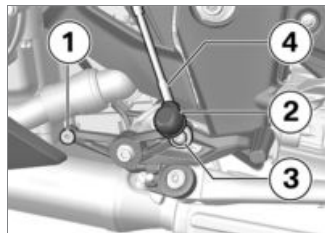


重要事項

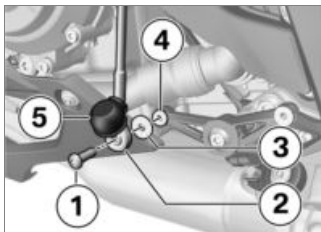
公道における逆シフトでの走行

公道用運転許可の失効

- 逆シフトは公道では使用しないでください。◀



- ネジ山 **1** を清掃します。
- 保護キャップ **2** を抜き取って、シフトロッド **4** に押し込みます。
- ボルト **3** とワッシャーを取り外します。
- シフトロッド **4** を逆シフト用のネジ山 **1** に移し替えます。



- ボルト **1** をボールジョイント **2** とワッシャー **3** に通します。
- ボルト **1** を逆シフト用のネジ山 **4** に取り付けます。



ギアシフトペダルのシフトロッド

ボルト固定剤: マイクロカプセル加工済

8 Nm

- 保護キャップ **5** を被せます。
- » サーキット走行用の逆シフトが整備されました。

技術情報

一般的な情報	146
アンチロックブレーキシステム (ABS)	146
ダイナミックダンピングコント ロール(DDC)	149
ダイナミックトラクションコント ロール(DTC)	150
走行モード	151
Dynamic Brake Control	153
シフトアシスト	154
ヒルスタートアシスト (Hill Start Control)	155

一般的な情報

技術に関するさらに詳しい情報については、以下を参照してください：

**bmw-motorrad.com/
technology**

アンチロックブレーキシステム (ABS)

パーシャリーインテグラルブレーキ

このモーターサイクルには、パーシャリーインテグラルブレーキが装備されています。このブレーキシステムでは、ブレーキレバーを操作するとフロント/リアホイールのブレーキが一緒に作動します。ブレーキペダルを操作した場合、リアブレーキのみの作動となります。

重要事項

インテグラル機能があるにもかかわらずバーンアウトを試みる

リアブレーキおよびクラッチの損傷

- Burn-out は、車両の停止状態では実行してはなりません。Burn-out は決められた車両利用から外れているため、故障メッセージが送られる場合があります。◀

ABS はどのように作動するのでしょうか？

路面に伝達される最大ブレーキフォースは、様々な要因の中でも、路面の摩擦係数に依存しています。砂利、凍結、雪、水に覆われた路面の摩擦係数は、乾いた、クリーンなアスファルトの路面に比べてはるかに低いものになります。路面の摩擦係数が低くなるほど、制動距離は長くなります。

ライダーがブレーキ圧を上げたときに、路面にかかる最大ブレーキフォースが限界を越えると、ホイールがロックし、方向安定性が失われます。そのため、転倒

するおそれがあります。このような状況になる前に、ABS が介入して、ブレーキ圧を伝達される最大ブレーキフォースに適応させます。それによりホイールが回転し続け、路面状態に関係なく走行安定性が維持されます。

凸凹のある路面で起こることは？

起伏や凸凹のある路面によって、タイヤと路面のコンタクトが一時的に失われ、その結果、伝達されるブレーキフォースがゼロに落ち込むということが起こります。このような状況でブレーキングが行われる場合、再び路面に接触する際の走行安定性を確保するために ABS はブレーキ圧を低減する必要があります。この時、想定できるいかなる状況においてもホイールが回転し、それにより走行安定性が確保されるよう、BMW Motorrad Integral ABS では摩擦係数を非常に低く見積もっています (砂利、凍結、

積雪の場合)。実際の状況が明らかになった後、システムはブレーキ圧を最適な値にセットしなおします。

BMW Motorrad Race ABS の作動は、ライダーにとってどのように感じられるのでしょうか？

前述の状況により、ABS が制動力を制限する必要がある場合、ブレーキレバーに振動が感じられます。

ブレーキレバーを操作すると、インテグラル機能によりリヤホイールでもブレーキ圧が生成されます。その後ブレーキペダルを操作すると、ブレーキペダルをブレーキレバーの前またはそれと同時に操作した場合よりも、すでに生成されているブレーキ圧が背圧として早めに感じられます。

リヤホイールの浮き上がり

タイヤと路面の間の路面保持性が高い場合、強いブレーキをかけると反応が非常に遅くなるか、フロントホイールのロックができなくなります。それに応じて、ABS 制御も大幅に遅れるか、または作動しません。この場合、リヤホイールが浮き上がることがあり、モーターサイクルの転倒につながるおそれがあります。



警告

急激なブレーキによるリヤホイールの浮き上がり

転倒の危険

- 急ブレーキの際には、ABS 制御は、必ずしも常にリヤホイールの浮き上がりを防ぐものではないことに注意してください。◀

ABS はどのように設計されているのでしょうか？

ABS は走行物理的な範囲内で、いかなる路面でも走行安全性を確保します。このシステムは、レーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。走行の仕方は、走行能力および路面状態に基づいて調整する必要があります。

特殊な状況

ホイールのロックを検知するために、特にフロントホイールとリヤホイールの回転数が比較されます。比較的長時間にわたり、正常でない値が検知されると、安全のためにABS が停止し、ABS の故障が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

BMW Motorrad Race ABS の問題の他にも、特殊な走行状態が

原因でエラーメッセージが表示される場合があります。

特殊な運転 / 走行状態：

- 補助スタンドを立てたまま、ニュートラル位置またはギヤを入れた状態でウォームアップ。
- エンジンブレーキによる長時間のリヤホイールのロック(急勾配での発進時など)。

特殊な走行状態によりエラーメッセージが表示された場合には、ABS 機能は、イグニッションをOFF / ON にすることにより再び作動させることができます。

定期的なメンテナンスの役割りとは？



警告

定期的にメンテナンスされていないブレーキシステム。

事故の危険

- BMW Motorrad Race ABS を確実に最適な整備状態にしておく

ために、規定の定期点検時期を必ず順守してください。◀

安全を確保するための予防措置

ABS により制動距離が短くなるからといって、軽率な運転は避けなければなりません。あくまでも緊急事態においてより高い安全性を確保するためのものなのです。



警告

コーナーにおけるブレーキング

ABS を装備していても事故の危険性あり

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポート機能を、リスクな走行により制限しないでください。◀

ABS Pro

ABS Pro は特にコーナリングでのブレーキ操作時に安全性を高めます。ABS Pro は、急なブレーキ操作時のホイールのロックを回避します。ABS Pro は、特に急ブレーキ時の操舵力の急激な変動を低減させ、望ましくない車両の立ち上がりを起こりにくくします。

ABS 制御

技術的には、ABS Pro はABS 制御をその都度ごとの走行条件に合わせ、モーターサイクルのバンク角に適合させています。モーターサイクルのバンク角を算出するため、ロールレート信号、ヨーレート信号、横方向加速度信号が使用されます。これはヨーレートセンサーを基にしており、すでにダイナミックトラクションコントロールDTC 用およびダイナミックダンピングコントロールDDC 用に採用されています。

バンク角が大きくなると共に、ブレーキ開始時のブレーキ圧の変化度の制限がますます厳しくなります。これにより、圧力上昇に時間がかかります。さらにABS制御において均等に圧力変換が行われます。

ライダーにとっての利点

ライダーにとってのABS Proの利点は、コーナーにおいてもベストな減速を可能にする高精度の応答性、制動安定性および走行安定性です。

注意事項

ABS Pro は、ドライビングモードRAIN、ROADおよびDYNAMICで作動します。これはドライビングモードRaceで作動解除されます。ドライビングモードRace Pro ではABS Pro が個別に調節できます。◀

ダイナミックダンピングコントロール(DDC)

– Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備

DDC

DDC は車高センサーを介してサスペンションの動きを検知し、それに反応してEDCバルブを調整します。これにより、サスペンションは路面状況に適合するように調整されます。

– 走行モードPro^{OE} 装備

フロントホイールとリアホイールのダンパー値は、メニューRACE PRO CONFIGURATIONから

14段階で調整できます(段階1:「最もソフト」調整; 段階14:「最もハード」調整。リヤホイールのリバウンドステージとプレッシャーステージの個別設定が可能です。

フロントホイールの衝撃吸収値をリバウンドステージとコンプレッションステージで個別に調

整するには、フロントフォークにスプリングトラベルセンサー(レンシュポルト(レーシングスポーツ) アクセサリー) を取り付ける必要があります。

追加のスプリングトラベルセンサーがフロントフォークに取り付けられた場合、既存のリヤスプリングストラットの車高レベルセンサーが交換された場合、またはサスペンションの高さが変更された場合には、必ずキャリブレーションを実行してください。校正は、メニューSettings、Vehicle settings、DDC calibrationでスタートできます。

ダイナミックトラクションコントロール (DTC)

ダイナミックトラクションコントロールはどのように作動するのでしょうか？

DTC はモーターサイクルのバンク角を考慮し、快適に制御し、サーキットでのラップタイムを向上させるのに適しています。ダイナミックトラクションコントロールはフロントホイールとリヤホイールのホイール周速を比較します。速度の差から、リヤホイールのスリップおよび安定性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジンマネジメントシステムがエンジントルクを調整します。

DTC は物理的限界の範囲内でのみ支援できます。物理的限界は走行路の路床状態、走行路の温度、タイヤ選択、タイヤ内部温度に大きく左右されます。レーシングコースで不適切なタイヤ

を使用すると過熱の危険があります。



警告

リスクな走行

DTC 搭載でも事故の危険性あり

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。◀

特殊な状況

車体の傾きが増すにつれ、物理的法則に従って、加速はますます強く制限されます。このため、非常にタイトなコーナーでは加速が低減される場合があります。

リヤホイールの回転(空転) やスリップを検知するため、DTC では特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較され、バンク角が考慮されます。

一定の時間以上、検出される値が正常でない場合には、傾斜角用に代替値が使用されるか、DTC がオフになります。この場合には、DTC の不具合が表示されず、エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

次のような、通常とは異なる走行状態においては、BMW Motorrad トラクションコントロールが自動的にオフになる場合があります。

特殊な運転 / 走行状態：

- 長時間の後輪走行(ウィーリー)。
- フロントブレーキをかけた際、その場で後輪が回転(空転)(バーンアウト)。
- 補助スタンドを立てたまま、ニュートラル位置またはギヤを入れた状態でウォームアップ。

滑りやすい路面で、クラッチを切らずに突然スロットルグリップを完全に戻すことは決してしないでください。エンジンプレーキトルクによりリヤホイールが滑り、不安定な運転 / 走行状態に陥る場合があります。このような状態では、BMW Motorrad DTC による補正を行うことはできません。

走行モード

選択

モーターサイクルを路面状態および希望するドライビング体験に合わせることができるよう、以下の走行モードから選択することができます：

- RAIN
- ROAD
- DYNAMIC
- RACE

- 走行モードPro^{OE} 装備
- RACE PRO 1
- RACE PRO 2
- RACE PRO 3

ドライビングモードRACE PROは、その作動後にドライビングモードRAIN、ROADおよびDYNAMICと切り替わります。

各ドライビングモードのために、システムEngine、Engine Brake、DTC、Wheelie (DTC)、ABSおよびDDCのための調整されたセッティングがあります。

- 走行モードPro^{OE} 装備
- ドライビングモードRACE PROではシステムEngine、Engine Brake、Traction (DTC)、Wheelie (DTC)、ABSおよびDDCのためのセッティングが個別に適合できます。

トルク、スロットルレスポンスおよびスロットルサウンド

- ドライビングモードRAINでは：弱いスロットルレスポンス、低ギアでの低減されたトルク、スロットルサウンドは非作動。
- ドライビングモードROADおよびDYNAMICでは：最適なスロットルレスポンス、低ギアでの低減されたトルク、スロットルサウンドは作動。
- ドライビングモードRACEでは：最適なスロットルレスポンス、最大スロットルレスポンス、最大トルク、スロットルサウンドは作動。
- 走行モードPro^{OE} 装備
- ドライビングモードRACE PROではさらに：弱いスロットルレスポンス、最大トルク、スロットルサウンドは作動。

エンジンプレーキ作用

- ドライビングモードRAIN およびROAD では：最大エンジンプレーキ作用。
- ドライビングモードDYNAMIC およびRACE では：中程度のエンジンプレーキ作用。
- 走行モードPro^{OE} 装備
ドライビングモードRACE PRO ではさらに：最小のエンジンプレーキ作用。

トラクションコントロール (DTC)

- ドライビングモードRAIN では：濡れた路面で最大の安定性。乾いた路面では加速が低減される可能性があります。
- ドライビングモードROAD では：乾いた路面で高い安定性。乾いた路面では加速が若干低減される可能性があります。
- ドライビングモードDYNAMIC では：乾いた路面

で高いパフォーマンス。悪路では最適な安定性が保証できない可能性があります。

- ドライビングモードRACE では：最大パフォーマンス。悪路またはツアータイヤのような不適切なタイヤが取り付けられていると、安定性が損なわれる場合があります。最適なパフォーマンスを得るために、トラクションコントロールは、ドライビングモードRACE PRO で、走行中に DTC モメンタリボタンを使って微調整が可能です。

Wheelie (DTC) - フロントホイールのウィーリー

- ドライビングモードRAIN では：最大安定性。Wheelie を抑制するよう試みられます。
- ドライビングモードROAD、DYNAMIC およびRACE では：平坦なWheelie が可能、最適な駆動力。

- 走行モードPro^{OE} 装備
- ドライビングモードRACE PRO でセッティング 1 の場合：高いWheelie が可能。ドライバーは自分でリアホイールにブレーキをかけてWheelie を防止する必要があります。システムは後になってからしか介入しません。
- ドライビングモードRACE PRO でセッティング 0 の場合：システムは非作動です。

ABS

- リアホイールウィーリーアシスタントは、ドライビングモードRAIN、ROAD およびDYNAMIC で作動します。
- 走行モードRAIN、ROAD およびDYNAMIC では、ABS はオンロード走行に調整されています。
- ドライビングモードRACE では、ABS がレーシングコースモードに合わせられます。

- 走行モードPro^{OE} 装備
- ドライビングモードRACE PROでは：ABSの使用が個別に調整されます。

- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備

DDC

- ドライビングモードRAIN およびROADでは：快適な走行のためのダンパー特性の調整。
- ドライビングモードDYNAMICでは：スポーティな走行のためのダンパー特性の調整。
- ドライビングモードRACEでは：レーシングコース走行のためのダンパー特性の調整。
- 走行モードPro^{OE} 装備
- ドライビングモードRACE PROでは：ダンパー特性は個別に調整可能です。

切替

走行モードは、イグニッションがONで車両が停止しているときに変更することができます。走行中の切替は、以下の条件が満たされていれば可能です：

- リアホイールにドライビングトルクがかかっていない
- ブレーキシステム内でブレーキ圧が生成されていない。

走行中に切り替えるには、以下のステップを踏む必要があります：

- スロットルグリップを回し戻す。
- ブレーキレバーを操作しない。
- クルーズコントロールを作動解除します。

ご希望の走行モードをまず事前を選択します。該当するシステムが必要とされる状態になって初めて、切替が行われます。

走行モードの切替が行われた後、ディスプレイの選択メニューが消えます。

Dynamic Brake Control

- 走行モードPro^{OE} 装備

Dynamic Brake Control の機能



注意事項

機能Dynamic Brake Control はすべてのドライビングモードで作動しています。これはドライビングモードRACE PROでのみ、ABSの個別設定で作動解除できます。◀

Dynamic Brake Control の機能はエマージェンシーブレーキング時にライダーをサポートします。

エマージェンシーブレーキングの検知

- フロントブレーキが素早く、強く操作された場合に、エマー

ジェンシーブレーキングが検知されます。

エマージェンシーブレーキングの動作

- 10 km/h 以上の速度でエマージェンシーブレーキングが行われると、ABS 機能のために追加でDynamic Brake Control が作動します。
- ブレーキ圧力勾配の高いパシャルブレーキングの場合、Dynamic Brake Control によりリアホイールのインテグラルブレーキ圧が上昇します。制動距離は短くなり、制御しながらブレーキ動作を行うことができます。

スロットルグリップの誤操作時の動作

- エマージェンシーブレーキング時にスロットルグリップが誤って操作された場合(グリップ位置 > 5%)、スロットルを閉じることにより、本来

誘引されていたブレーキ作用がDynamic Brake Control によって確保されます。エマージェンシーブレーキングの作用が確保されます。

- Dynamic Brake Control の介入中にスロットルが閉じられると(スロットルグリップ位置 < 5%)、ABS ブレーキシステムによって要求されたエンジントルクが再び確立されます。
- エマージェンシーブレーキングが終了してもスロットルグリップが未だに操作されている場合、Dynamic Brake Control により、エンジントルクを制御しながら調整し、ライダーの要求に戻します。



注意事項

ABS がオフの場合は、Dynamic Brake Control の機能も同時にオフになります。◀

シフトアシスト

ギヤシフトアシストPro

この車両には、元々レンシュポルト(レーシングスポーツ)において開発されたギヤシフトアシストが装備されています。この装備は公道走行に合うように適合理化されています。これにより、全負荷範囲および全回転域において、シフトアップ/シフトダウンをクラッチ操作およびスロットル操作なしで行うことができます。

利点

- 走行時における全シフト動作の70~80%をクラッチ操作なしで行うことができます。
- シフト待ち時間が短くなり、ライダーとパッセンジャー間の動きが少なくてすみます。
- 加速時にスロットルバタフライを閉じる必要がありません。
- 減速およびシフトダウン(スロットルバタフライは閉じた状態)の際には、ダブルクラッ

手により回転数の調整を行います。

- 切替時間はクラッチ操作に伴うシフト動作と比べて短くなります。

希望のシフトを認識させるには、ライダーは、シフトレバーを事前に操作しない状態からアクシムレーターのスプリングの抵抗を感じる「切替え位置」に向かって操作します。この操作は通常、素早く希望の方向に行い、シフト動作が終了するまで保持している必要があります。シフト動作中にシフト力をさらに高める必要はありません。ギヤシフトアシストProを使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除する必要があります。ギヤシフトアシスタント Pro を使用してのギヤシフトする場合、その都度、ギヤシフト前およびギヤシフト中の負荷状態(スロットルグリップ

位置)を一定に保つ必要があります。シフト動作中にスロットルグリップ位置が変わると、機能の中断および/またはミスシフトを招くおそれがあります。クラッチ操作を伴うギヤシフトでは、シフトアシストProによるサポートは行われません。


シフトダウン

- シフトダウンは、ターゲットギヤにおける最高回転数に達するまでサポートされます。これにより、過回転も避けられます。

	最高回転数
max 14600 min ⁻¹	

シフトアップ

- シフトアップ時にアイドルリング回転数が下がることにより、ギヤシフトアシストによるサポートは行われません。

	アイドルリング回転数
1270 min ⁻¹ (エンジン暖機状態)	

ヒルスタートアシスト (Hill Start Control)

発進アシストの機能

発進アシスタント Hill Start Control は、パーシャリーインテグラルABS ブレーキシステムに標的に介入することにより、ライダーがブレーキレバーを持続的に押さなくても、制御不能の状態に登り坂を後退することを阻止します。Hill Start Control の作動時、リアブレーキシステムに圧力をかけることで、斜面でもモーターサイクルは停止できます。ブレーキシステムのブレーキ圧は傾斜に応じて異なります。

ブレーキ圧のおよび発進動作への傾斜の影響

- 傾斜が小さい場所で停止する場合は、わずかなブレーキ圧のみかかります。発進時のブレーキ解除は素早く行われます。ソフトな発進ができます。これに加えてスロットルグリップを緩める必要はほとんどありません。
- 傾斜が大きい場所で停止する場合は、大きなブレーキ圧がかかります。発進時のブレーキ解除は少し長くかかります。発進にはより大きなトルクが必要なため、さらにスロットルグリップを緩める必要があります。

車両が転がるまたは滑る場合の挙動

- Hill Start Control がオンの時に車両が転がると、ブレーキ圧が高くなります。
- リアホイールがスリップする場合、約 1 m 後にブレーキが

再び解除されます。それにより、リアホイールがロックした状態でのすべり落ちなどが防止されます。

エンジン停止または時間超過時のブレーキの解除

イグニッションキルスイッチでエンジンを停止させた場合、サイドスタンドを立てた場合、または時間超過(10分)後はHill Start Control はオフになります。

ライダーは、以下の動作を通して、インジケーター / 警告灯に加えて、Hill Start Control の作動解除に注意を払う必要があります:

ブレーキ警告動作

- ブレーキが短時間解除され、すぐに再び作動します。
- その際、瞬間的な動きが感じられます。
- パーシャルリーインテグラルABS ブレーキシステムは速度約 1~2 km/h に制御します。

- ドライバーは車両を手動でブレーキする必要があります。
- 2分後またはブレーキ操作時、Hill Start Control が完全にオフになります。



注意事項

イグニッションオフ時には、ブレーキ警告で強く引かれることなく、即時に保持圧力は解放されます。◀

メンテナンス

一般的な情報	158	ヒューズ	185
ツールキット	158	診断コネクター	186
フロントホイールスタンド	159	チェーン	187
リヤホイールスタンド	160		
エンジンオイル	161		
ブレーキシステム	163		
クラッチ	166		
クーラント	168		
タイヤ	169		
リムとタイヤ	169		
ホイール	170		
バルブ	177		
フェアリング部	177		
始動補助	181		
バッテリー	182		

一般的な情報

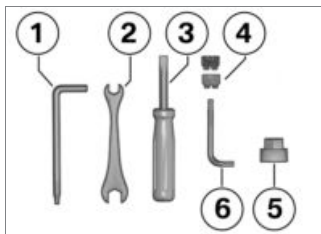
「メンテナンス」の章には、容易に実施できる消耗部品の点検および交換作業について説明されています。

取り付ける際に専用の締め付けトルクがある場合には、規定締め付けトルクも記載されています。必要なすべての締め付けトルクを記した一覧表が「テクニカルデータ」の章にあります。

さらに詳しいメンテナンスおよび修理作業に関する情報は、ご使用の車両に対応するDVD版リペアマニュアルをご覧ください。リペアマニュアルはBMW Motorrad ディーラーで入手できます。

記述されている作業の実施にあたっては、スペシャルツールと確かな専門知識が必要です。疑問に思われることが生じた場合には、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ツールキット



1 レバー

- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備
- スプリングプリロードを調整する(リヤホイール) (▶▶▶ 95)。
- Race パッケージ^{OE} 装備または
- M パッケージ^{OE} 装備
- 車高をプッシュストラットで調整する (▶▶▶ 101)。

2 オープンエンドレンチ 口径 10/13

- バッテリーを取り外す (▶▶▶ 185)。

- 2
 - フロントホイールのスプリングプリロードを調整する (▶▶▶ 94)。
 - Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備
 - スプリングプリロードを調整する(リヤホイール) (▶▶▶ 96)。
- 3
 - リバーシブルブレードドライバースト
フラットチップビットとトルクス T25
 - フェアリング部の脱着。
 - フロントシートを取り外す (▶▶▶ 68)。
 - Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備
 - フロントホイールのコンプレッションダンピングを調整する (▶▶▶ 98)。
 - Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備
 - フロントホイールのリバウンドダンピングを調整する (▶▶▶ 98)。

- 3 - Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備
 - リヤホイールのリバウンドダンピングを調整する (▶▶▶ 100)。
 - Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備
 - リヤホイールのコンプレッションダンピングを調整する (▶▶▶ 99)。
- 4 交換用ヒューズ
 - 7.5 A
 - 15 A
- 5 プラスチックアタッチメント
 - フロントホイールのスプリングプリロードを調整する (▶▶▶ 94)。
- 6 トルクスレンチ T30
 - フェアリング部の脱着。

フロントホイールスタンド 補助スタンドをフロントホイールに組み込む

重要事項

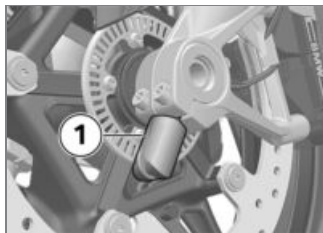
追加のメイン(センター) スタンドまたは補助スタンドなしでのBMW Motorrad フロントホイールスタンドの使用

転倒によるコンポーネントの損傷

- モーターサイクルは、BMW Motorrad フロントホイールスタンドでリフトアップする前に、メイン(センター)スタンドまたは補助スタンドで立ててください。◀
- モーターサイクルを補助スタンドで立てます。BMW Motorrad は、BMW Motorrad 補助スタンドの使用をお勧めします。
- リヤホイールスタンドを取り付ける(▶▶▶ 160)。

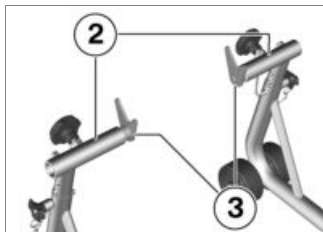


- ベーススタンド (83 30 0 402 241) をサポートピース (83 30 2 152 839) と共に使用します。



- 左右サービスアダプター (83 30 2 152 840) **1** をフロント

サスペンションに差し込みます。



- ホルダー **2**、長い側を内側に
向けて回します。
- サポートピース **3**は、フロン
トサスペンションに取り付けら
れているサービスアダプターの
幅に合わせて調整します。
- フロントホイールを床面から少
し持ち上げて、補助スタンドの
高さを調整します。



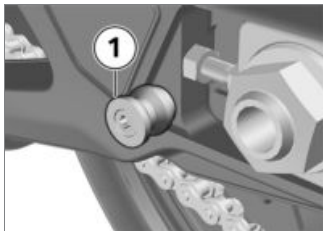
- 補助スタンドをフロントサスペ
ンションに組み込み、均等に床
面に押し付けます。

リヤホイールスタンド


リヤホイールスタンドを取り 付ける

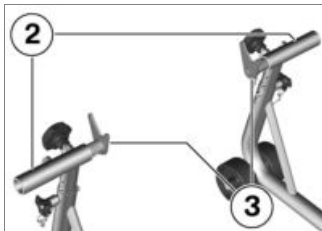


- ツール番号 (83 30 0 402
241) のベーススタンドと、
サポートピース (83 30 2 152
839) を使用します。

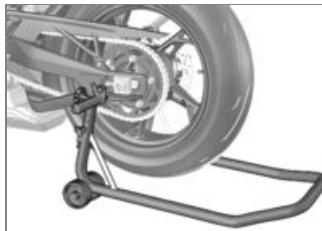


- 左右サービスアダプター (83 30 2 152 841) **1** を規定の締付けトルクでリヤスイングアームに取り付けます。

	<p>スイングアームアダプターとリヤスイングアーム</p>
<p>20 Nm</p>	



- ホルダー**2** は、長い側を外側に向けて回します。
- サポートピース **3** は、リアスイングアームに取り付けられているサービスアダプターの幅に合わせて調整します。
- リヤホイールを床面から少し持ち上げて、リヤホイールスタンドの高さを調整します。



- リヤホイールスタンドをリヤスイングアームに組み込み、均等に床面に押し付けます。

エンジンオイル

エンジンオイルレベルを点検する



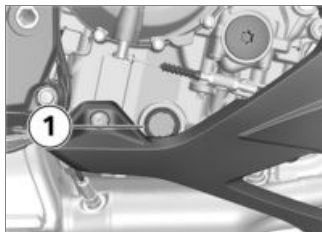
重要事項

オイル充填についての誤った解釈。オイルレベルは温度に対応して変化するため(温度が高くなるとオイルレベルも高くなる)エンジンの損傷

- オイルレベルの点検は、長距離走行後またはエンジン温間時のみ、行います。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、作動温度に達しているモーターサイクルをまっすぐに立てます。
- 1分間アイドルリングします。
- イグニッションをOFFにします。
- オイルがオイルパンに集まるまで、5分間待ちます。

注意事項

環境保護のためにBMW Motorradは50 km以上走行した場合には時折エンジンオイルを点検するように推奨しています。◀



- オイルレベルを表示1で読み取ります。



エンジンオイル規定レベル

MIN とMAX マークの間

エンジンオイル容量

SAE 5W-40、API SJ / JASO MA2、添加剤(例えばモリブデンベースのもの)は許可されていません。コーティングされているエンジン部品が損傷するためです、BMW Motorradでは、BMW Motorrad ADVANTEC Ultimate オイルを推奨しています

約 4.5 l (フィルター交換時)

オイルレベルが最低レベルマークを下回っている場合：

- エンジンオイルを補充する(➡ 163)。

オイルレベルが最高レベルマークを上回っている場合：

- BMW Motorrad ディーラーにオイルレベルの点検を依頼してください。

エンジンオイルを補充する

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- オイル注入口周辺を清掃します。



- オイルフィルター開口部のキャップ **1** を取り外します。

重要事項

エンジンオイルの使用量が少なすぎる、または多すぎる。

エンジンの損傷

- エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。◀

- エンジンオイルを規定レベルまで補充します。
- エンジンオイルレベルを点検する(▶▶▶ 161)。
- オイルフィルター開口部のキャップ **1** を取り付けます。

ブレーキシステム

ブレーキの作動を点検する

- ハンドブレーキレバーを操作します。
 - » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- ブレーキペダルを操作します。
 - » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

はっきりした抵抗が感じられない場合：

重要事項

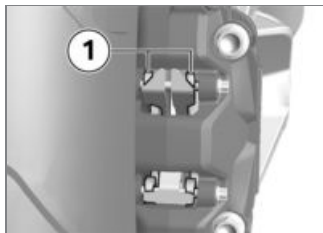
ブレーキシステムにおける不適切な作業

ブレーキシステムの動作信頼性が危険にさらされる

- ブレーキシステムに関するすべての作業は、専門スタッフに実行を依頼してください。◀
- BMW Motorrad ディーラーにブレーキシステムの点検を依頼してください。

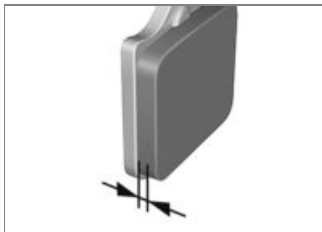
フロントブレーキパッド厚を点検します


- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- ハンドルを回します。



- 左右ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：後

方からブレーキパッド **1** の内側。



 フロントブレーキパッドの摩耗限度

min 1 mm (ライニングのみ
(キャリアプレートなし))

ブレーキパッドが摩耗している場合：



警告

パッドの使用限度厚を下回る

制動作用の低下、ブレーキの損傷

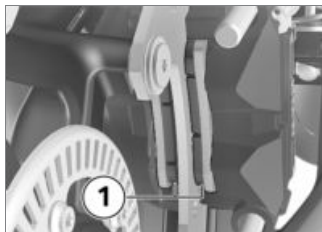
- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使

用限度厚を下回らないようにしてください。◀

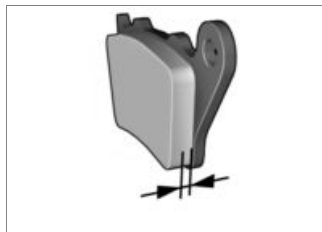
- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。


リヤブレーキパッド厚を点検します

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。



- ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：後方からブレーキパッド **1** の内側。



 リヤブレーキパッドの摩耗限度

min 0.9 mm (ライニングのみ
(キャリアプレートなし。))

ブレーキパッドが摩耗している場合：



警告

パッドの使用限度厚を下回る

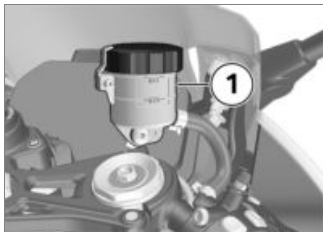
制動作用の低下、ブレーキの損傷

- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。◀

- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

フロントブレーキフルードレベルを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。
- ハンドルを直進位置にします。




- ブレーキフルードタンク **1** でブレーキフルードレベルを読み取ります。

注意事項

ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀



 フロントブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルが**MIN** マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードタンクが水平)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

警告

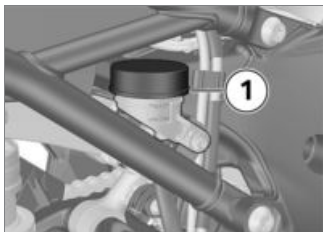
ブレーキフルードタンク内のブレーキフルードが少なすぎる

ブレーキシステム内のエアによるブレーキパワーの著しい低下

- 走行をすぐに停止し、まず故障を解決します。
- ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀
- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

リヤブレーキフルードレベルを点検する

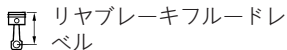
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。



- リアブレーキフルードタンク 1 のブレーキフルードレベルを読み取ります。

注意事項

ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀



ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルが**MIN** マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードタンクが水平)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：



警告

ブレーキフルードタンク内のブレーキフルードが少なすぎる

- ブレーキシステム内のエアによるブレーキパワーの著しい低下
- 走行をすぐに停止し、まず故障を解決します。
 - ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀
 - BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

クラッチ

クラッチの機能を点検する

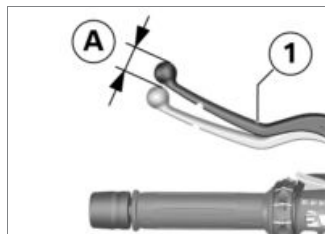
- クラッチレバーを操作します。
- » 操作するにつれて、力の上昇が感じられるはずです。
- 操作するにつれて、力の上昇が感じられない場合：
- BMW Motorrad ディーラーにクラッチシステムの点検を依頼してください。

クラッチレバーの遊びを点検する

前提条件


エンジンが冷たい状態。

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- ハンドルを直進位置にします。



- クラッチレバー **1** をグリップに密着するまで何回か操作します。
- 抵抗が感じられるまでクラッチレバー **1** を軽く操作し、その

間にクラッチの遊び **A** を観察します。

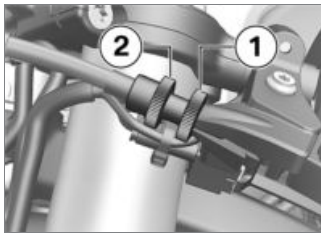
 クラッチレバーの遊び

3...5 mm (ハンドフィッティング、ハンドルバーは直進位置、エンジン冷間時)

クラッチの遊びが許容範囲を越えている場合：

- クラッチの遊びを調整する(▶▶▶ 167)。

クラッチの遊びを調整する



- ロックナット **1** を外します。

- クラッチの遊びを大きくするには：調整ボルト **2** をハンドフィッティングにねじ込みます。
- クラッチの遊びを小さくするには：調整ボルト **2** をハンドフィッティングから緩めます。



注意事項

ロックナットとナットの間隔(内側を測定)が、14 mm を上回ってはなりません。

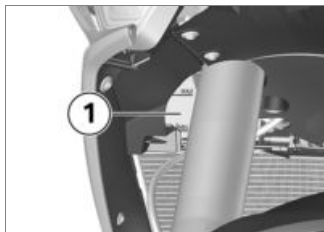
さらに回して緩めなければ、クラッチの遊びを正しく調整できない場合は、専門の整備工場または可能な限りBMW Motorradディーラーに問い合わせてください。◀

- クラッチレバーの遊びを点検する(▶▶▶ 167)。
- ロックナット **1** を締め付けます。その際調整ボルト **2** を固定します。

クーラント

クーラントレベルを点検する

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- ハンドルを左に回します。



- リザーバー **1** のクーラントレベルを読み取ります。目視点検の方向：前方から右側サイドフェアリングの内側。



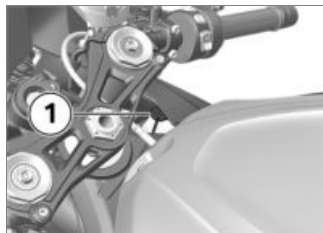
クーラント規定レベル

リザーバーの**MIN**と**MAX**マークの間(冷間エンジン)

クーラントレベルが規定値を下回った場合：

- クーラントを補充します。

クーラントを補充します



- リザーバーのキャップ **1** を開きます。
- 適切なファネルを使用してクーラントを規定レベルまで補給します。
- クーラントレベルを点検する(168)。
- リザーバータンクのキャップ **1** を閉じます。

タイヤ

タイヤ充填圧を点検する



警告

タイヤ充填圧が不適切

モーターサイクルの走行特性が悪化、タイヤ耐用年数の減少

- タイヤ充填圧が正しいか確認してください。◀



警告

高速時においてバルブコアが勝手に開く

突然のタイヤ充填圧の損失

- ラバーシール付きバルブキャップを使用し、しっかりと締め付けます。◀
- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- タイヤ充填圧を、以下のデータを使用して点検します。



タイヤ充填圧 (フロント)

2.5 bar (1 名乗車時、タイヤ冷間時)

2.5 bar (タンデム走行、積載あり、タイヤ冷間時)



タイヤ充填圧 (リヤ)

2.9 bar (1 名乗車時、タイヤ冷間時)

2.9 bar (タンデム走行、積載あり、タイヤ冷間時)

タイヤ充填圧が不十分な場合：
• タイヤ充填圧を調整します。

リムとタイヤ

ホイールリムを点検する

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- ホイールリムに不良部分がないか目視点検します。

- ホイールリムが損傷した場合は、BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼し、必要に応じて交換してください。

タイヤのトレッド溝の深さを点検する



警告

著しく摩耗したタイヤでの走行
走行特性の悪化により、事故に至る危険

- 必要に応じて、法的に規定されているトレッドの最小残溝量に達する前にタイヤを交換してください。◀
- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して測定します。

**注意事項**

摩耗インジケーターはタイヤごとにメインのトレッド溝に設けられています。タイヤのトレッド溝がインジケーターレベルにまで達している場合は、タイヤが完全に摩耗しています。インジケーターの位置は、タイヤの縁に TI、TWI などのアルファベットや矢印で示されています。◀

トレッドが最小残溝量に達している場合：

- 当該タイヤを交換します。

ホイール**ホイールサイズがフレーム制御システムに与える影響**

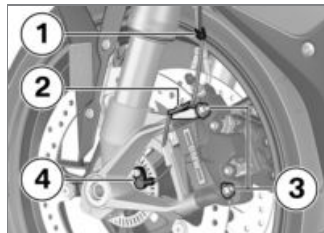
DTC ではホイールサイズが重要な役割を果たします。特にホイールの直径および幅は、必要となるすべての計算のベースとしてコントロールユニットにメモリーされています。標準装備ホイール以外のホイールへの変更

よりこのサイズが変わると、これらのシステムの制御性に重大な影響が及ぶおそれがあります。ホイール回転数検知に必要なセンサーリングも、取り付けられている制御システムに適合させる必要があります。交換はできません。ご使用のモーターサイクルに他のホイールを装着なさりたい場合には、事前に BMW Motorrad ディーラーにご相談ください。この場合、コントロールユニットにメモリーされているデータを、新しいホイールサイズに適合させる必要があります。

フロントホイールを取り外す

- モーターサイクルを補助スタンドで立てます。BMW Motorrad は、BMW Motorrad リヤホイールスタンドの使用をお勧めします。
- リヤホイールスタンドを取り付ける(▶▶ 160)。
- リム周辺をマスキングテープなどで保護し、ブレーキキャリ

パーを取り外す際に、傷が付かないようにします。

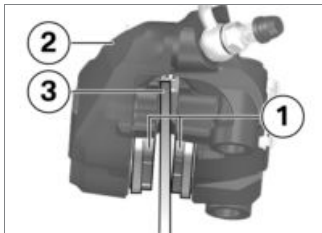


- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ **1** および **2** から外します。
- ボルト **4** を取り外し、ホイール回転数センサーをボアから取り外します。

**重要事項****ブレーキパッドが意図せず押し付け合わされる**

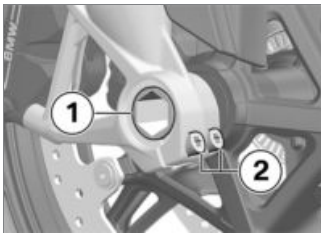
ブレーキキャリパーの装着時またはブレーキパッドの押し付け合わせ時のコンポーネントの損傷

- ブレーキキャリパーが外れている(緩んでいる)状態で、ブレーキを操作しないでください。◀
- 左右ブレーキキャリパーの固定ボルト **3** を取り外します。



- ブレーキキャリパー **2** を回転させて、ブレーキパッド **1** をブレーキディスク **3** から少し離れるように押します。
- ブレーキキャリパーを後方外側へ慎重に引いて、ブレーキディスクから取り外します。

- モーターサイクルを持ち上げ、フロントホイールが妨げなく回転できるようにします。それには、BMW Motorrad フロントホイールスタンドを使用するのが最も良い方法です。
- 補助スタンドをフロントホイールに組み込む(▶▶ 159)。



重要事項

フロントサスペンション内のねじ付きブッシュの調整不良により、センサーリングとホイール回転数センサー間の間隔が適切でない

ホイール回転数センサーの損傷。ABS の機能不良

- 左クランプがねじ付きブッシュを固定しており、これを緩めたり、取り外したりしてはなりません。◀
- 固定ボルト **2** を外します。
- ホイールを支持しながら、アクスルシャフト **1** を取り外します。
- フロントホイールを前へ転がして取り外します。

フロントホイールを取り付ける



警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用

ABS およびDTC による制御介入時の機能障害

- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびDTC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀

重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける

ボルト締め付け部の損傷または緩み

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀

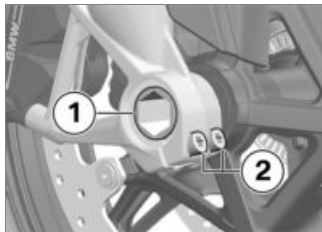


重要事項

フロントホイールの取り付けが回転方向と逆

事故の危険

- タイヤまたはリム上にある回転方向を示す矢印を確認し、遵守してください。◀
- フロントホイールをフロントホイールロケーションへ転がし入れます。



- フロントホイールを持ち上げ、アクスルシャフト**1**を締め付けトルクで取り付けます。



ねじ山付ブッシュのアクスルシャフト

50 Nm

- 固定ボルト **2** を締め付けトルクで締め付けます。

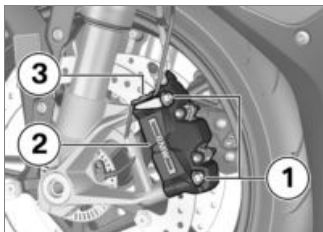


アクスルサポートの固定ボルト

締め付け順序: ボルトを 6 回、交互に締め付ける

19 Nm

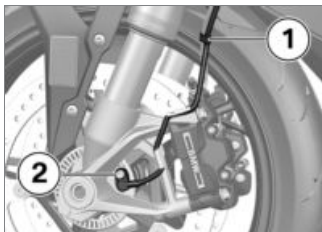
- ブレーキキャリパーをブレーキディスクの上にのせます。



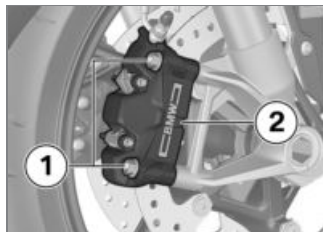
- 左ブレーキキャリパー **2** を取り付け、ケーブルガイド **3** を位置決めします。
- ボルト **1** 規定の締め付けトルクで取り付けます。

ラジアルブレーキキャリパーをアクスルサポート
へ

38 Nm



- ホイール回転数センサー用ケーブルをホルダー **1** に固定します。
- ホイール回転数センサーをボアに差し込み、ボルト **2** で固定します。



- 右ブレーキキャリパー **2** を取り付け、ボルト **1** を規定の締め付けトルクで取り付けます。

ラジアルブレーキキャリパーをアクスルサポート
へ

38 Nm

- ホイールリムに貼られているマスキングテープなどをはがします。
- 抵抗が感じられるようになるまで、ブレーキレバーを繰り返し力強く操作します。
- フロントホイールスタンドと補助スタンドを取り除きます。

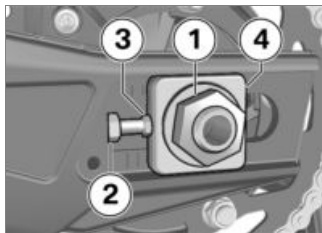
リヤホイールを取り外す

- モーターサイクルを持ち上げます。BMW Motorrad リヤホイールスタンドを使用するのが最も良い方法です。
- リヤホイールスタンドを取り付ける(▶▶ 160)。
- アクスルシャフトを取り外した後に転がり落ちないように、リヤホイールの下に木片などを挟んで支えます。

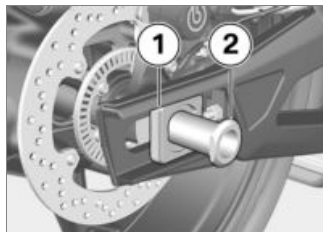


- ブレーキキャリパー **1** をブレーキディスク **2** に押しつけます。

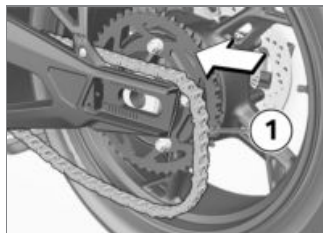
▶ ブレーキピストンが押し戻されます。



- アクスルナット **1** をワッシャーと共に取り外します。
- 左右ロックナット **2** を外します。
- 左右調整ボルト **3** を外します。
- 調整プレート **4** を外し、シャフトをできるだけぎり内側へずらします。



- アクスルシャフト **2** を取り外し、調整プレート **1** を取り外します。



- リアホイールをできるだけ前方向へ転がし、チェーン **1** をスプロケットから外します。

リヤホイールを取り付ける

重要事項

タイヤサイズの変更

制御システムに影響します

- リヤタイヤサイズを 190 / 55 ZR 17 から 200 / 55 ZR 17 に変更、またはその逆に変更する場合、制御システムのパラメーターを専門の整備工場、またはBMW Motorrad ディーラーでコーディングする必要があります。◀

重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける

ボルト締め付け部の損傷または緩み

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀



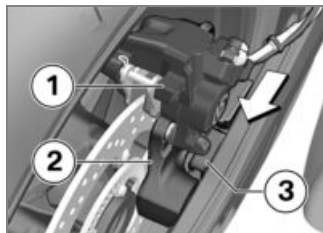
- ブレーキサドルホルダー **1** を前方へ引き出し、脇へ置きます。
- リヤホイールをスイングアームの後方へ転がします。

注意事項

スプロケットと左右のスペーサーブッシュは、ホイールに緩めに組み込まれています。取り外しの際に、部品を損傷したり紛失したりしないよう注意してください。◀



- リアホイールをマットなどの上でスイングアームに転がし入れます。

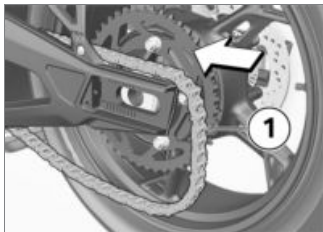


- ブレーキキャリパー **1** をブレーキサドルホルダー **2** と共

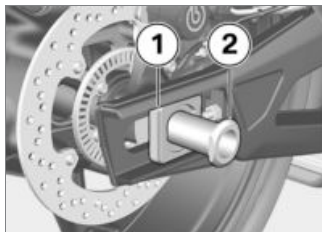
にスイングアームのガイド**3**に取り付けます。

注意事項

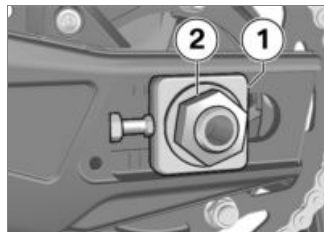
ブレーキラインとABS センサーケーブルの位置が正しいことを確認します。リアホイールまたはリアマフラーと接触しないよう、ブレーキラインとABS センサーケーブルはガイド内になければなりません。◀



- リアホイールをできるかぎり前方向へ転がし、チェーン**1**をスプロケットに取り付けます。



- 右調整プレート **1** スイングアームに取り付けます。
- リアホイールを持ち上げ、アクスルシャフト **2** をブレーキキャリアサポート内の調整プレートに通して、リアホイールを取り付けます。
- アクスルシャフトがレンチ面の切込み部に合うように注意してください。



- 左調整プレート**1**を取り付けます。
- アクスルナット**2**をワッシャーと共に取り付けます。ただし、まだ締め付けないでください。
- チェーンのたるみを調整する(▶▶ 188)。

バルブ

LED 照明手段を交換する



警告

車両バルブ機能停止による道路 交通での車両の見過ごし

安全に関わる危険

- 故障したライトバルブはできるかぎり早く交換してください。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

車両のすべての照明手段はLED 照明手段です。LED 照明手段の耐用年数は取り付けられている車両の耐用年数よりも長くなっています。LED 照明手段が故障した場合は、専門の整備工場に、できればBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

フェアリング部

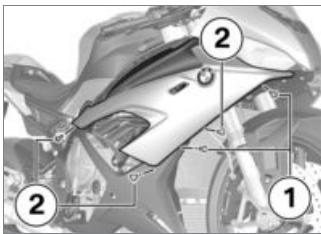
サイドフェアリングの取外し



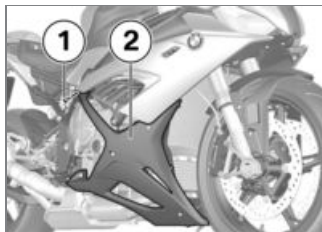
注意事項

ここに記述されている右サイドフェアリングについての作業手順は、左側でも同様に適用されます。◀

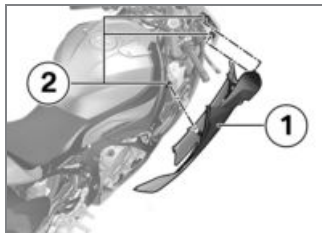
- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。



- ボルト **1** を取り外す。
- ボルト **2** を取り外します。

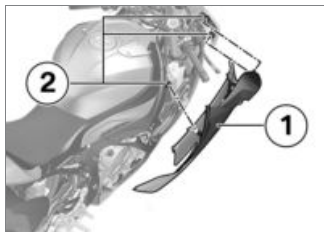


- エンジンスポイラー **2** を少し下の方に曲げ、ボルト **1** を取り外します。



- サイドフェアリング **1** をスリーブ **2** から外し、取り外します。

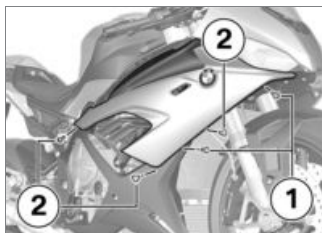
サイドフェアリングの取付け



- サイドフェアリング**1**をスリーブ**2**内に差し込みます。



- エンジンスポイラー**2**を少し下の方に曲げ、ボルト**1**を取り付けます。

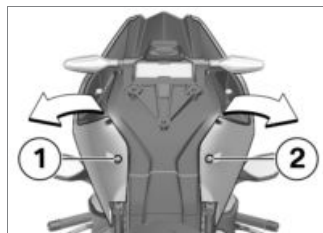


- ボルト**1**を取り付けます。
- ボルト**2**を取り付けます。

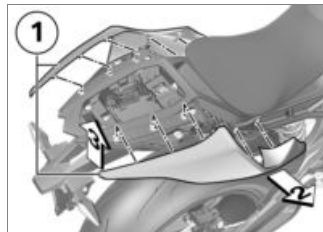
リアセクションカバーを取り外す

ーパッセンジャーパッケージOE
装備

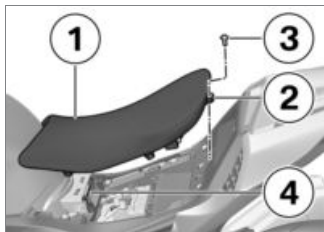
- リヤシートを取り外す(▶▶ 67)。
- リアセクションカバーの取外し(▶▶ 66)。



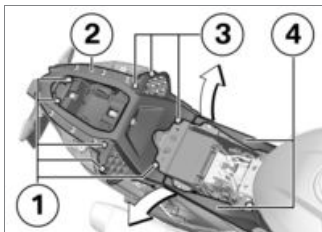
- ボルト**1**および**2**を取り外す。
- 左右リアパネルを慎重に**矢印方向**にクリップから外します。



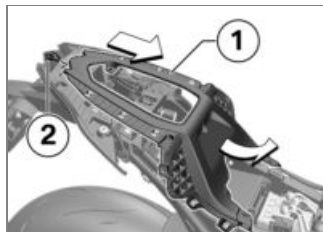
- 左右テールパネル**1**を注意深くまず水平に**2**、さらに垂直に**3**クリップから外します。



- ライダーシート **1** のカバーを座面で少し前方へ押し、シャックル **2** を露出させます。
- ボルト **3** を取り外す。
- ライダーシート **1** のリア側を持ち上げ、固定部 **4** を外します。
- フロントシートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

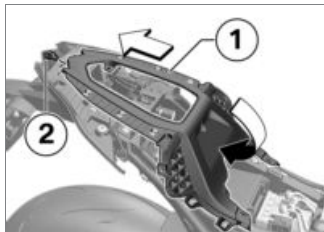


- ボルト **1** および **3** リアセクションカバー **2** から取り外します。
- カバーパネル **4** を慎重に矢印方向にクリップから外します。

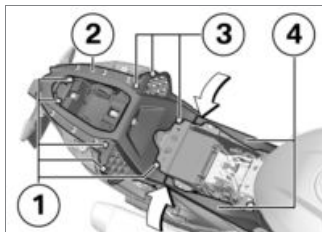


- リアセクションカバー **1** を矢印方向に持ち上げ、固定バー **2** から取り外します。

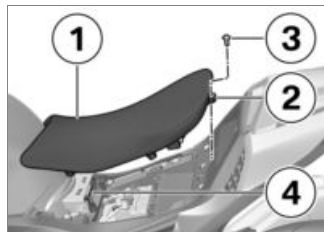
リアセクションカバーを取り付ける



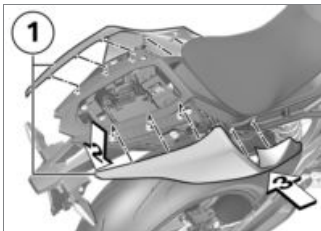
- リアセクションカバー **1** を固定バー **2** に載せます。



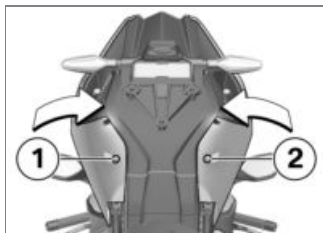
- カバーパネル**4** を慎重に**矢印**方向に、リアセクションカバー **2** にクリップ留めします。
- ボルト **1** および **3** を取り付けます。



- ライダーシート **1** フロント側を固定部 **4** に差し込み、位置決めします。
- ライダーシート **1** のカバーを座面で少し前方へ押し、シャックル **2** を露出させます。
- ボルト **3** を当てて取り付けます。



- 左右テールパネル **1** を注意深くまず垂直に**2**、さらに水平に**3**クリップ留めします。



- リアパネルを慎重に矢印方向にクリップ留めします。

- ボルト **1** および **2** を取り付けます。

ーパッセンジャーパッケージOE
装備

- リヤシートを取り付ける(▶▶ 67)。◀
- リヤセクションカバーを取り付ける(▶▶ 67)。

始動補助

⚠ 注意

エンジン作動時に、イグニッションシステムの電圧を伝導する部品に接触
感電

- エンジン作動時は、イグニッションシステムの部品に決して触れないでください。◀

⚠ 重要事項

モーターサイクルでジャンプスタートを行う際の強すぎる電流

車両電装系の損傷やケーブルの
燃焼

- モーターサイクルのジャンプスタートは電源ソケットからではなく、必ずバッテリーターミナルから行ってください。◀

⚠ 重要事項

ジャンパーコードのターミナル
クランプと車両間の接触

ショートのおそれ

- ジャンパーコードは完全に絶縁されているターミナルクランプとともに使用してください。◀

⚠ 重要事項

ジャンプスタートを 12 V より高い電圧で行う

車両電装系の損傷

- 供給側車両のバッテリー電圧が、12 V を上回ってはなりません。◀

- ジャンプスタートでは、バッテリーを車両電装システムから外しません。
- フロントシートを取り外す(▶▶ 68)。
- ジャンプスタートを行っている間、供給側バッテリー車両のエンジンを作動させておきます。
- ジャンパーコード(赤)の一方の先端を、まず放電したバッテリーのプラスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を供給側バッテリーのプラスターミナルに接続します。
- ジャンパーコード(黒)の一方の先端を供給側バッテリーのマイナスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を放電したバッテリーのマイナスターミナルに接続します。
- 放電したバッテリー側の車両のエンジンを、通常の方法で始動させます。正常に始動しなかった場合は、スターターと供給側バッテリーの保護のため、

数分経ってから再始動させてください。

- 接続を外す前に、両車両のエンジンをそのまま数分間作動させておいてください。
- ジャンパーコードは、まずマイナスターミナルから外し、その後プラスターミナルから外します。
- フロントシートを取り付ける(▶▶ 68)。

バッテリー

メンテナンスに関する注意

正しいメンテナンス、充電、保管は、バッテリーの寿命を延ばし、また、保証のための前提条件となります。

バッテリーの寿命を延ばすために、以下のことに注意してください：

- バッテリーの表面を、清潔で乾いた状態に保つ。
- バッテリーを開けない。

- バッテリーに水を補充しない。
- バッテリーの充電を行う場合は、必ず、次ページ以降の注意事項に従う。
- バッテリーを逆さまにしない。



重要事項

車両エレクトロニクス(時計など)により、接続されているバッテリーが放電する

過放電、それによる保証要件からの除外

- 4週間以上、走行しない場合：トリクルチャージャーをバッテリーに接続してください。◀



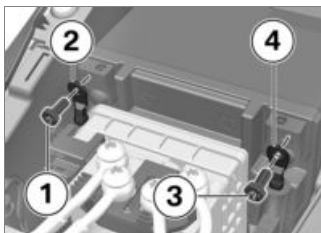
注意事項

BMW Motorrad では、ご使用のモーターサイクルの電子機器専用トリクルチャージャーを開発しました。このチャージャーを使用すれば、車両を長期間使用し

ない場合でも、バッテリーを接続した状態で充電しておくことができます。詳しい情報につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問合せください。◀

バッテリーを車両から外す

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
 - フロントシートを取り外す(▶▶ 68)。
- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備
- 必要に応じてDWA をオフにします。◀



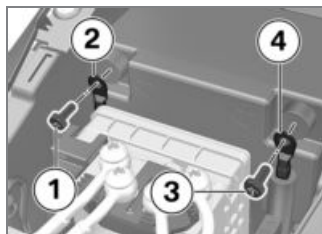
重要事項

バッテリーの接続を不適切な方法で切る

ショートのおそれ

- 接続を切る手順を遵守してください。◀
- ボルト**1**を取り外し、ワイアハーネスマイナス極**2**を外し、前方へ押します。
- ボルト**3**を取り外し、ワイアハーネスプラス極**4**を外します。

– M バッテリー^{OE} 装備



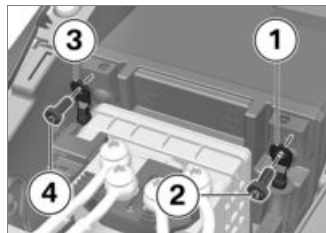
重要事項

バッテリーの接続を不適切な方法で切る

ショートのおそれ

- 接続を切る手順を遵守してください。◀
- ボルト**1**を取り外し、ワイアハーネスマイナス極**2**を外し、前方へ押します。
- ボルト**3**を取り外し、ワイアハーネスプラス極**4**を外します。◀

バッテリーを車両に接続する



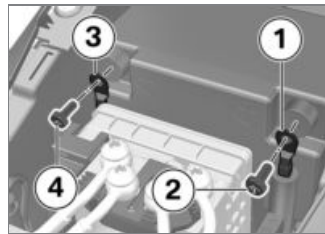
重要事項

バッテリーの不適切な接続

ショートのおそれ

- 取付け順序を守る。◀
- ワイヤハーネスプラス極 **1** を位置決めし、ボルト **2** を取り付けます。
- ワイヤハーネスマイナス極 **3** を位置決めし、ボルト **4** を取り付けます。

－ M バッテリー^{OE} 装備



重要事項

バッテリーの不適切な接続

ショートのおそれ

- 取付け順序を守る。◀
- ワイヤハーネスプラス極 **1** を位置決めし、ボルト **2** を取り付けます。
- ワイヤハーネスマイナス極 **3** を位置決めし、ボルト **4** を取り付けます。◀
- フロントシートを取り付ける(▶ 68)。

－ 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

- 必要ならばDWA をオンにします。◀

バッテリーを充電する

- バッテリーを車両から外す(▶ 183)。
- 適切なチャージャーを使用して、バッテリーを充電します。
- チャージャーの取扱説明書に従ってください。
- 充電が終了したら、チャージャーのターミナルクランプをバッテリーターミナルから外します。

注意事項

長期間車両を使用しない場合は、バッテリーを定期的に充電する必要があります。その場合には、そのバッテリーの取扱い規定に従ってください。また、再使用する前に必ずバッテリーをフル充電してください。◀

- バッテリーを車両に接続する(▶▶▶ 184)。

バッテリーを取り外す

- フロントシートを取り外す(▶▶▶ 68)。
- バッテリーを車両から外す(▶▶▶ 183)。
- バッテリーを持ち上げて取り外します。スムーズに外せない場合は、前後に動かすと外しやすくなります。

バッテリーを取り付ける

注意事項

車両にバッテリーが入っていない期間が長かった場合は、サービスインジケータの適切な機能が保証されるように、現在の日付をメーターパネルに登録する必要があります。◀

- バッテリーをバッテリートレイに入れ、プラス極を進行方向左側にします。

- バッテリーを車両に接続する(▶▶▶ 184)。

- フロントシートを取り付ける(▶▶▶ 68)。
- 時計を調整する(▶▶▶ 79)。

ヒューズ

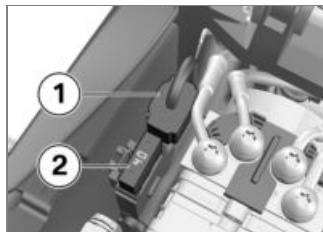
ヒューズを交換する

- イグニッションを OFF にします。
- フロントシートを取り外す(▶▶▶ 68)。

重要事項

故障しているヒューズのバイパスショートや火災の危険

- 故障しているヒューズは交換してください。
- 故障ヒューズは新品のヒューズと交換してください。◀
- 故障しているヒューズをフューズ一覧に従って交換します。



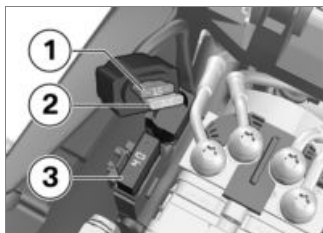
- 故障したヒューズ**2** スロットから上方へ引き出します。
- ヒューズブロック**1** で2つのヒューズを交換するため、ヒューズホルダーをそのホルダーから上方に引き上げます。そのために、左右のヒューズホルダーのラッチを内側に押し込みます。

注意事項

ヒューズが頻繁に故障する場合には、電装システムの点検を専門の整備工場またはBMW Motorradディーラーに依頼してください。◀

- ヒューズホルダー **1** をホルダーに取り付けます。
- フロントシートを取り付ける(▶▶ 68)。

ヒューズ割当て



- 1** 15 A
メーターパネル
盗難警報装置 (DWA)
イグニッションロック
診断ソケット
- 2** 7.5 A
左コンビネーションスイッチ
タイヤ空気圧コントロール (RDC)

- 3** 40 A
オルタネーターレギュレーター

診断コネクター

診断コネクターを外す



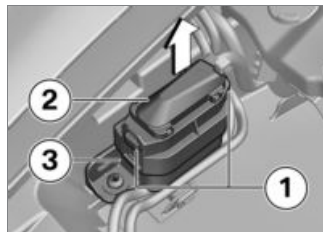
注意

オンボード診断用の診断コネクターを外す方法に誤り

車両の機能障害

- 診断コネクターを外す場合は、必ずBMW Service の間に依頼するか、専門の整備工場またはその他の認定を受けた人物に依頼してください。
 - 適切な教育を受けた人物に作業を依頼してください。
 - 車両メーカーの規定を守ってください。◀
- パッセンジャーパッケージOE 装備
- リヤシートを取り外す(▶▶ 67)。

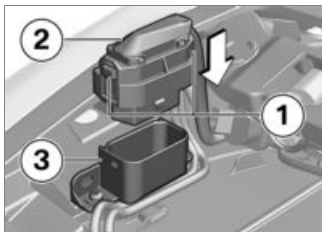
- リアセクションカバーの取外し(▶▶ 66)。



- ロック **1** を押します。
 - 診断コネクター **2** を止め具 **3** から外します。
- » 診断インフォメーションシステム用インターフェースは診断コネクター **2** で接続することができます。

診断コネクターを固定する

- 診断インフォメーションシステム用インターフェースを取り外します。



チェーン

チェーンにグリースを塗布する

重要事項

ドライブチェーンの不適切な清掃と潤滑

より激しい摩耗

- ドライブチェーンは定期的に清掃し、潤滑してください。◀
- ドライブチェーンには、少なくとも 800 km ごとにグリースを塗布します。ぬかるみや、塵埃の中や、汚れた場所を走行した後は、適宜、早めに行ってください。
- イグニッションを OFF にし、ニュートラルに設定します。
- ドライブチェーンを適切なクリーニング剤で清掃し、乾かして、チェーン潤滑剤を塗布します。
- チェーン性能を高く維持するため、BMW Motorrad は、

BMW Motorrad チェーン潤滑剤の使用を推奨します。または：



潤滑剤

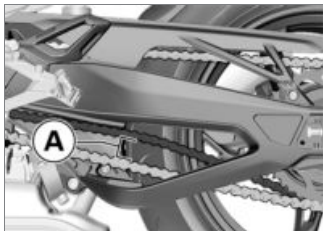
チェーンスプレー

- 潤滑剤が多すぎた場合は洗い流します。

チェーンのたるみ量を点検する

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- リヤホイールを回転させて、チェーンのたるみが一番小さくなる位置まで回します。

- 診断コネクター **2** を止め具 **3** に差し込みます。
- » ロック **1** がかみ合います。
- パッセンジャーパッケージOE 装備
- リヤシートを取り付ける(▶▶ 67)。
- リヤセクションカバーを取り付ける(▶▶ 67)。



- ドライブsprocketとsprocket間の真ん中あたりで、ドライバーを使用してチェーンを上方に押し、差 **A** を測定します。



チェーンのたるみ量

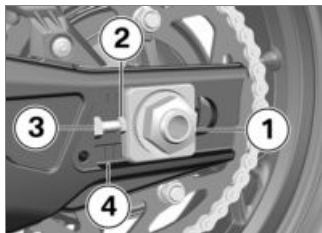
45...50 mm (モーターサイクルをサイドスタンドで立てる(無負荷状態))

測定値が許容範囲を超えている場合:

- チェーンのたるみを調整する(▶▶ 188)。

チェーンのたるみを調整する

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。



- アクスルシャフトナット **1** を緩めます。
- 左右ロックナット **3** を外します。
- 左右の調整ボルト **2** でチェーンのたるみを調整します。
- チェーンのたるみ量を点検する(▶▶ 187)。
- 目盛値 **4** が左右で同じになるように注意してください。
- 左右のロックナット **3** を締め付けトルクで締め付けます。



ドライブチェーンテンションボルトのロックナット

19 Nm

- アクスルシャフトナット **1** をトルクで締め付けます。



スイングアーム内リヤホイールアクスルシャフト

ボルト固定剤: メカニズム部分

100 Nm

- チェーンのたるみ量を点検する(▶▶ 187)。

チェーンの摩耗状態を点検する

前提条件

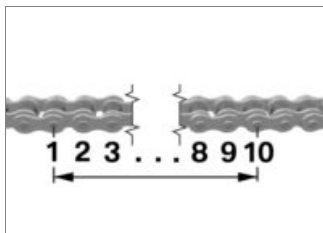
チェーンのたるみは正しく調整されています。


- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- 1 速に入れます。

- リヤホイールを進行方向に回し、チェーンがピンと張った状態になるようにします。
- リヤスイングアームの下側、10個のリベットの中央の上側のチェーンの長さを、3つの異なる箇所測定します。

チェーンが許容長に達している場合：

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。



 許容チェーン長

max 144 mm (10 リベットの中央で測定、チェーンは引張った状態)

アクセサリ

一般的な情報	192
アクセサリ用コネクター	192
M Cover Kit	194

一般的な情報



注意

他社製品の使用

安全に関わる危険

- BMW Motorrad では、すべての他社製品について、BMW 車両において安全性の問題なく使用できるかどうか判定することはできません。国別仕様により公的な許可が与えられている場合にも、これは認められていません。それらのようなテスト / 点検では、常にBMW 車両におけるすべての使用条件を考慮に入れるということはできず、そのため部分的に十分でないところがあります。
- 必ず、BMW が BMW 車両用に承認している部品およびアクセサリ製品のみご利用ください。◀

部品およびアクセサリ製品はBMW によって安全性、機能、適正が検査されています。その

ためBMW は製品に対する責任を負います。認められていないあらゆる部品やアクセサリ製品においては、BMW は責任を負いません。

変更を加える場合にはすべて、必ず法規制に従ってください。各国の道路交通法を遵守してください。

BMW Motorrad ディーラーは、BMW 純正部品、アクセサリ、その他製品をお選びの際に、適切なアドバイスをいたします。アクセサリに関する詳しい情報については、以下を参照してください：

bmw-motorrad.com/equipment

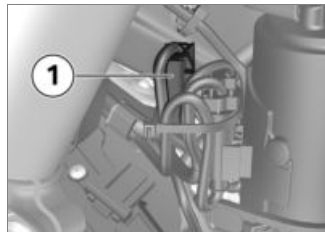
アクセサリ用コネクター 装備

車両には以下のオプションアクセサリおよびレンシュポルト（レーシングスポーツ）アクセサリ

リ用コネクターが装備されています：

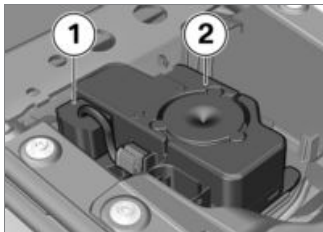
- スプリングトラベルセンサー
- M データロガー
- アクセサリ

左サイドフェアリング下



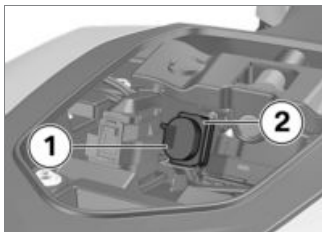
- 1 オプションアクセサリおよびレンシュポルト（レーシングスポーツ）アクセサリ用コネクター：
電源供給および LIN
フロントフォーク用スプリングトラベルセンサー（レンシュポルト（レーシングスポーツ）アクセサリ）

リアセクションカバーの下 - 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備



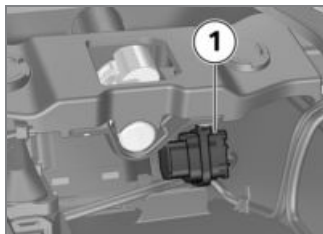
- 1 DWA およびM データロ
ガー用コネクター
- 2 DWA

リアセクションカバーの下 - 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 非装備



- 1 終端抵抗
- 2 DWA およびM データロ
ガー用コネクター

リアセクションカバーの下



- 1 リア特別付属品用コネク
ター

オプションアクセサリおよ びレンシュポルト(レーシ ングスポーツ) アクセサリを 取り付ける

前提条件

コネクターに手が届くように、
サイドフェアリング、リヤシー
トまたはリヤセクションカバー
を取り外します。

- サイドフェアリングをエンジンスポイラーと共に取り外す(▶▶▶ 177)。
- パッセンジャーパッケージ^{OE} 装備
- リヤシートを取り外す(▶▶▶ 67)。
- リアセクションカバーの取外し(▶▶▶ 66)。
- リアセクションカバーを取り外す(▶▶▶ 178)。
- 保護キャップまたは終端抵抗をロック解除し、コネクタから取り外します。
- オプションアクセサリまたはレンシュポルト(レーシングスポーツ) アクセサリを差し込みます。

注意事項

オプションアクセサリまたはレンシュポルト(レーシングスポーツ) アクセサリの取付説明書を確認し、順守してください。◀

注意事項

それによってワイヤハーネスを正しく位置決めすることができません。ワイヤハーネスがコネクタと共に引っ張られないようにし、タイラップは最後に締め付ける。◀

重要事項

空いているコネクタに汚れや水分が入り込む機能障害

- コネクタを外した後、保護キャップまたは終端抵抗を再び取り付けます。◀
- アクセサリを外した後：保護キャップまたは終端抵抗を再び取り付けます。
- サイドフェアリングの取付け(▶▶▶ 178)。

– パッセンジャーパッケージ^{OE} 装備

- リヤシートを取り付ける(▶▶▶ 67)。
- リヤセクションカバーを取り付ける(▶▶▶ 67)。
- リアセクションカバーの取り付け(▶▶▶ 180)。

M Cover Kit

ボディ開口部をカバーする 前提条件

M Cover Kit は、ミラーおよびライセンスプレートベースを取り外した際、フロントトリムパネルをプロフェッショナルに固定するために、またボディ開口部をカバーするために使用します。

- ミラーを取り外す(▶▶▶ 133)。
- ライセンスプレートベースの取外し(▶▶▶ 136)。
- M Cover Kit einbauen.

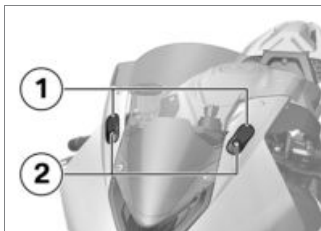


注意事項

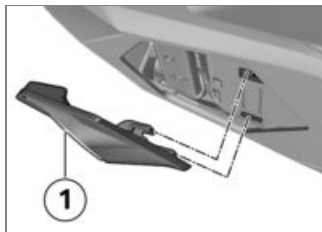
オプションアクセサリまたはレンシュポルト (レーシングスポーツ) アクセサリの取付説明書を確認し、順守してください。◀

- M Cover Kit を取り外した後で、ミラーおよびライセンスプレートベースを再び取り付けます。
- ライセンスプレートベースの取付け(▶▶▶ 139)。
- ミラーを取り付ける(▶▶▶ 135)。

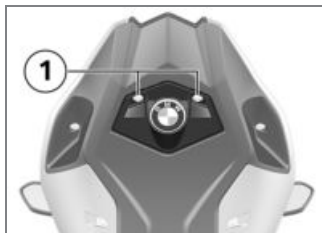
M Cover Kit を取り付ける



- ミラーホルダーのカバー**1**を取り付けます。
- ボルト **2** を取り付けます。

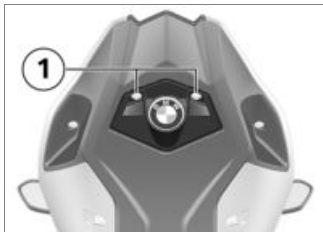


- ライセンスプレートベースのカバー **1**を差し込み、取り付けます。

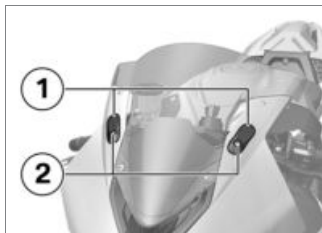


- ボルト **1** を取り付けます。

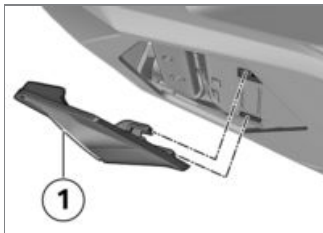
M Cover Kit を取り外す



- ボルト**1**を取り外す。



- ボルト**2**を取り外します。
- ミラーホルダーカバー**1**を取り外します。



- ライセンスプレートベースカバー**1**を外し、下方へ取り出します。

お手入れ

ケア用品.....	198
洗車	198
損傷しやすい車両部品のお手入れ.....	199
塗装のお手入れ.....	200
保護コーティング	200
長期保管.....	200
再使用	201

ケア用品

BMW Motorrad は、ご使用になる洗剤やケア用品をBMW Motorrad ディーラーでお求めになることをお勧めします。BMW Care Products (BMW ケア製品) は、原料の点検確認および研究機関における製品のテストや試用点検が行われており、あなたの車両に使用されているマテリアルのお手入れと保護を最適に行います。

重要事項

不適切な洗剤およびケア用品の使用

車両部品の損傷

- ニトロ希釈液、コールドクリーナー、ガソリン、アルコールを含んだクリーナーなどを使用しないでください。◀

洗車

BMW Motorrad は、ペイントに付着している昆虫や硬化した汚れなどを、洗車の前に BMW 専用クリーナーで柔らかくして洗い流しておくことをお勧めします。しみができるのを避けるため、強い直射日光にさらされた直後や日向での洗車は行わないでください。

特に冬季の間は、洗車をより頻繁に行ってください。

路面に散布された塩を除去するため、走行後は、直ちにモーターサイクルを冷水で洗車します。

警告

車両を水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行した後の、水分の付着したブレーキディスクおよびブレーキパッド
ブレーキの効きの低下、事故を起こす危険

- ブレーキディスクおよびブレーキパッドが乾いた状態でブレー

キがかけられるようになるまでは、早めにブレーキングしてください。◀

重要事項

温水による塩の作用の増大

腐食

- 散布された塩を除去するには、必ず冷水を使用してください。◀

重要事項

高圧クリーナーやスチームジェット機器の高い水圧による損傷

ラベル、シーリング、油圧式ブレーキシステム、電装系およびシートの腐食、ショートまたは損傷

- 高圧ジェットやスチームクリーナーは慎重に使用してください。◀

損傷しやすい車両部品のお手入れ

プラスチック

重要事項

不適切な洗剤の使用

プラスチック表面の損傷

- アルコールや溶剤、研磨剤を含んだクリーナーは使用しないでください。
- 虫取りスポンジや表面の硬いスポンジは使用しないでください。◀

フェアリング部

カバー部分の水とBMW Motorrad クリーナーで清掃します。

プラスチック製ウインドシールドおよびカバーレンズ

汚れや昆虫を、柔らかいスポンジと水を大量に使用して除去してください。

注意事項

硬化した汚れや昆虫などの付着は、湿らせた布などをかぶせて柔らかくしてください。◀



水とスポンジのみを使用した洗浄。



化学洗剤は使用しないでください。

クローム

クローム部品を十分な水とケアシリーズBMW Motorrad Care Products のモーターサイクルクリーナーで清掃します。これは散布用塩の影響が特に見られる場合。

さらに処置を施す場合には、BMW Motorrad メタルポリッシュを使用してください。

ラジエター

ラジエターは、定期的に清掃してください。冷却が不十分なために起こるエンジンのオーバーヒートを避けるためです。園芸用ホースなどを使い、低い水圧で清掃してください。

重要事項

ラジエタープレートを折り曲げるラジエタープレートの損傷

- 清掃の際に、ラジエタープレートを折り曲げないように注意してください。◀

ラバー

ラバー部品の清掃には、水またはBMW ラバークリーナーを使用してください。

重要事項

ラバーシールのお手入れにシリコンスプレーを使用
ラバーシールの損傷

- シリコンスプレーやシリコンを含んだケア製品を使用しないでください。◀

塗装のお手入れ

定期的に洗車を行うことにより、塗装部分に長期間にわたって影響を与え、ペイントを損傷する原因となる物質を除去することができます。特に、大気汚染が激しい地域や、樹脂や花粉などが付着するような地域を走行した場合などに効果的です。

特に侵食性の高い物質は、直ちに除去してください。ペイントの損傷や変色を引き起こすおそれがあります。侵食性の高い物質には、こぼれたフェーエルやオイル、グリース、ブレーキ液、鳥のふんなどがあります。これには、BMW Motorrad クリーナーと、続けて防錆処理のためにBMW Motorrad 光沢ポリッシュの使用をお勧めします。ペイントの表面仕上げに付着している汚れは、洗車後に特に見え

やすくなります。このような汚れは、クリーニング用ベンジンまたはアルコールを清潔な布や綿球などに含ませて、直ちに除去してください。BMW Motorrad は、タールのシミをBMW タールクリーナーで取り除くことをお勧めします。その後、その箇所のペイントを保護コーティングなどで保護します。

保護コーティング

ペイントから水が垂れなくなったら、防錆処理する必要があります。

BMW Motorrad は、ペイント保護コーティングのため、BMW Motorrad 光沢ポリッシュおよびカルナバワックス、合成ワックスを含むコーティング剤を使用することをお勧めします。

長期保管

- 洗車を行います。
- モーターサイクルを満タンにします。
- バッテリーを取り外す(▶▶ 185)。
- ブレーキレバー、クラッチレバー、メイン(センター)スタンド、サイドスタンドのピボット部に、適切な潤滑剤を塗布します。
- むき出しの部品とクロームメッキ部品に非酸性のグリース(ワセリン)で防錆処理を施します。
- モーターサイクルを、両ホイールに負荷がかからない状態にして、乾燥した場所に保管します(できればBMW Motorrad が提供しているフロントホイールスタンドおよびリヤホイールスタンドを使用)。

再使用

- 表面に塗布されている保護用コーティングを取り除きません。
- 洗車を行います。
- バッテリーを取り付ける(▶▶▶ 185)。
- チェックリストを確認し、遵守する(▶▶▶ 109)。

テクニカルデータ

トラブルシューティング	204
ネジ止め部	208
燃料	211
エンジンオイル	212
エンジン	212
クラッチ	213
ギヤボックス	213
リヤホイールドライブ	214
フレーム	214
シャシー	215
ブレーキ	216
ホイールとタイヤ	217
電装システム	219
寸法	221
重量	221

性能	222
----------	-----

トラブルシューティング

エンジンが始動しない / 始動しにくい。

原因	修理
サイドスタンドが出ていて、ギヤが入っている	サイドスタンドをたたみます。
ギヤが入っていて、クラッチを切っていない	ギヤをニュートラルに入れるか、クラッチを切ります。
燃料が入っていない	給油 (▶▶▶ 118)。
バッテリーが空になっている	バッテリーを充電する (▶▶▶ 184)。
スターターに対する過熱保護が作動した。スターターを稼働させる時間は制限されています。	スターターが使用できるようになるまで約 1 分間冷却します。

Bluetooth 接続が確立されません。

原因

ペアリングに必要なステップが踏まれませんでした。

Connectivity 機能は、レーシングコース機能が作動しているため非作動です。

ペアリングを行ってもコミュニケーションシステムが自動的に接続されません。

ヘルメットに保存されている Bluetooth 機器の数が多すぎます。

Bluetooth 対応機器を装備した他の車両が付近にあります。

修理

コミュニケーションシステムの Operating instructions で、ペアリングに必要なステップに関する情報を入手してください。

メニューSettings を呼び出し、Racetrack を作動解除します。

ヘルメットのコミュニケーションシステムを OFF にして、1～2 分後に再度接続してください。

ヘルメットのすべてのペアリング登録を削除してください(コミュニケーションシステムの Operating instructions を参照)。

複数の車両との同時ペアリングは避けてください。

Bluetooth 接続が阻害されています。

原因

携帯端末機器との Bluetooth 接続が遮断されま
す。

ヘルメットとの Bluetooth 接続が遮断されま
す。

ヘルメットの音量を調整することができません。

修理

省電力モードを OFF にしてください。

ヘルメットのコミュニケーションシステムを
OFF にして、1～2 分後に再度接続してくださ
い。

ヘルメットのコミュニケーションシステムを
OFF にして、1～2 分後に再度接続してくださ
い。

電話帳が TFT ディスプレイに表示されません。

原因

電話帳が車両にまだ転送されていません。

修理

携帯端末機器でのペアリングの際に、電話デー
タの転送 (▶▶ 89) を確定します。

アクティブ目的地ガイドが TFT ディスプレイに表示されません。

原因

修理

BMW Motorrad Connected App のナビゲーションが転送されませんでした。

接続されている携帯端末機器で、走行開始前にBMW Motorrad Connected App を呼び出してください。

目的地ガイドをスタートさせることができません。

携帯端末機器のデータ接続を確認して、携帯端末機器のマップデータを点検してください。

ネジ止め部

フロントホイール	数値	有効
ねじ山付ブッシュのアクスルシャフト		
M24 x 1.5	50 Nm	
アクスルサポートの固定ボルト		
M8 x 35	締付け順序: ボルトを 6 回、交互に締め付ける	
	19 Nm	
ラジアルブレーキキャリパーをアクスルサポートへ		
M10 x 65	38 Nm	
リヤホイール	数値	有効
ドライブチェーンテンションボルトのロックナット		
M8	19 Nm	
ブッシュ SDP 用ナットとフレーム		
M36 x 0.75、ナットを交換する Loctite 270、高粘度	50 Nm	

リヤホイール	数値	有効
ナットをスイングアームアクスルへ		
M18 x 1.5、ナットを交換する メカニズム部分	100 Nm	
スイングアーム内リヤホイールアク スルシャフト		
M24 x 1.5 メカニズム部分	100 Nm	
スイングアームアダプターとリヤス イングアーム		
M8 x 30	20 Nm	
調整リングのボルト		
M5 x 16	6 Nm	- Dynamic Damping Control (DDC) ^{OE} 非 装備
ステアリングリンケージとスプリン グストラット		
M12 x 75 -10.9 マイクロカプセル加工済	100 Nm	

ミラー	数値	有効
フロントキャリアのミラー		
M6、ナットを交換する メカニズム部分	8 Nm	
リヤフレームのライセンスプレートベース	数値	有効
ライセンスプレートベースとリヤフレーム		
M5 x 20、カラー 9 mm	2 Nm	
ギアシフトペダルのシフトロッド	数値	有効
ギアシフトペダルのシフトロッド		
M6 x 20、ボルトを交換する マイクロカプセル加工済	8 Nm	

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン(ハイオク) (最大 5%エタノール、E5) 98 ROZ/RON 93 AKI
燃料品質の選択肢	無鉛スーパー、(出力および燃費の制約。)(エタノール 10 %以下、E10) 95 ROZ/RON 90 AKI
フューエル容量	約 16.5 l
フューエルリザーブ容量	約 4 l
燃費	6.4 l/100 km、WMTC による

エンジンオイル

エンジンオイル容量	約 4.5 l、フィルター交換時
規格	SAE 5W-40、API SJ / JASO MA2、添加剤 (例えばモリブデンベースのもの) は許可されていません。コーティングされているエンジン部品が損傷するためです、BMW Motorrad では、BMW Motorrad ADVANTEC Ultimate オイルを推奨しています
エンジンオイル補充量	max 1.3 l、 MIN と MAX 間の差

BMW recommends **ADVANTEC**
ORIGINAL BMW ENGINE OIL

エンジン

エンジン番号位置	右クランクハウジング下部
エンジン型式	A10A10A
エンジン型式	4 気筒エンジン、4 ストローク、直列
排気量	999 cm ³
シリンダーボア	80 mm
ピストンストローク	49.7 mm
圧縮比	13.3:1

最高出力	152 kW、 エンジン回転数: 13500 min ⁻¹
最大トルク	113 Nm、 エンジン回転数: 11000 min ⁻¹
最高回転数	max 14600 min ⁻¹
アイドル回転数	1270 min ⁻¹ 、 エンジン暖機状態
排ガス基準	EU 4
CO2 排出	149 g/km、 WMTC による

クラッチ

クラッチの仕様	湿式多板クラッチ(アンチホッピング)、自己強化式
---------	--------------------------

ギヤボックス

ギヤボックスの仕様	常時噛み合い式 6 速トランスミッションをエンジンブロックに内蔵
ギヤ比	1.652 (76: 46 丁)、一次減速比 2.647 (45: 17 丁)、1 速 2.091 (46: 22 丁)、2 速 1.727 (38: 22 丁)、3 速 1.500 (33:22 丁)、4 速 1.360 (34: 25 丁)、5 速 1.261 (29: 23 丁)、6 速

リヤホイールドライブ

リヤホイールドライブタイプ	チェーンドライブ
リヤホイールドライブ歯数 (ドライブスプロケット / ドリブンスプロケット)	17:45
ファイナルドライブ	2.647

フレーム

フレーム型式	アルミニウムラミネートブリッジフレーム、エンジン一体
型式プレートの位置	ステアリングヘッドの右フロントフレーム
車両識別番号の位置	ステアリングヘッドの右フロントフレーム

シャシー

フロントホイール

フロントサスペンション型式	倒立テレスコピックフォーク
スプリングトラベル(フロント)	120 mm、フロントホイールに
- Dynamic Damping Control (DDC) ^{OE} 装備	120 mm、フロントホイールに

リアホイール

リアサスペンション型式	アルミニウムロワースイングアーム
リアホイールドライブタイプ	チェーンドライブ
スプリングトラベル(リア)	117 mm、リアホイールに
- Dynamic Damping Control (DDC) ^{OE} 装備	117 mm、リアホイールに

ブレーキ

フロントホイール

フロントブレーキ型式	ダブルディスクブレーキ、直径 320 mm、4 ピストンブレーキキャリパー
- M カーボンホイール ^{OE} 装備	ダブルディスクブレーキ、直径 320 mm、4 ピストンブレーキキャリパー
- M 鍛造ホイール ^{OE} 装備	ダブルディスクブレーキ、直径 320 mm、4 ピストンブレーキキャリパー
フロントブレーキパッドの材質	焼結合金
フロントブレーキディスク厚	4.5 mm、新品状態 min 4.0 mm、摩耗限度
- M カーボンホイール ^{OE} 装備	min 5.0 mm、新品状態 min 4.5 mm、摩耗限度
- M 鍛造ホイール ^{OE} 装備	min 5 mm、新品状態 min 4.5 mm、摩耗限度
ブレーキ操作の遊び (フロントブレーキ)	0.6...1.4 mm、ピストン

リヤホイール	
リヤブレーキ型式	1ピストンフローティングキャリパーを装備した油圧式ディスクブレーキ。ブレーキディスクはリジッドマウント
リヤブレーキパッドの材質	有機素材
リヤブレーキディスク厚	5.0 mm、新品状態 min 4.5 mm、摩耗限度
ブレーキペダルのブローバイククリアランス	2...3 mm、ブレーキペダルとフットレストプレートの間

ホイールとタイヤ

承認タイヤ	最新の認可タイヤの概要については、BMW Motorrad ディーラーまたはインターネット bmw-motorrad.com で見るすることができます。
タイヤ速度カテゴリー(フロント / リヤ)	W、少なくとも下記の値以上が必要: 270 km/h

フロントホイール

フロントホイールの仕様	アルミニウムキャストホイール
- M カーボンホイール ^{OE} 装備	カーボンホイール
- M 鍛造ホイール ^{OE} 装備	アルミニウム鍛造ホイール
フロントホイールリムサイズ	3.50" x 17"

タイヤサイズ(フロント)	120/70 ZR 17
タイヤ荷重指数(フロント)	min 58 g/cm ³
フロントホイールのアンバランスの許容値	max 5 g
フロントホイール用バランスウェイト(ウェイトはそれぞれ半分ずつホイールリムの左右に取り付けること)	max 80 g
リヤホイール	
リヤホイールの仕様	アルミニウムキャストホイール
- M カーボンホイール ^{OE} 装備	カーボンホイール
- M 鍛造ホイール ^{OE} 装備	アルミニウム鍛造ホイール
リヤホイールリムサイズ	6.0" x 17"
タイヤサイズ(リヤ)	190/55 ZR 17
- M カーボンホイール ^{OE} 装備	200/55 ZR 17
- M 鍛造ホイール ^{OE} 装備	200/55 ZR 17
タイヤ荷重指数(リヤ)	min 75 g/cm ³
リヤホイールのアンバランスの許容値	max 45 g
リアホイール用バランスウェイト(ウェイトはそれぞれ半分ずつホイールリムの左右に取り付けること)	max 80 g

タイヤ充填圧

タイヤ充填圧(フロント)	2.5 bar、1名乗車時、タイヤ冷間時 2.5 bar、タンデム走行、積載あり、タイヤ冷間時
タイヤ充填圧(リヤ)	2.9 bar、1名乗車時、タイヤ冷間時 2.9 bar、タンデム走行、積載あり、タイヤ冷間時

電装システム**ヒューズ**

メインフューズ	40 A
クランプ 1	15 A、DWA/OBD/イグニッションスイッチ /メーターパネル
クランプ 2	7.5 A、左コンビネーションスイッチ、RDC コントロールユニット、センサーボックス

バッテリー

バッテリー型式	AGM バッテリー (Absorbent Glass Mat)
- M バッテリー ^{OE} 装備	リチウムイオンバッテリー
バッテリー電圧	12 V
- M バッテリー ^{OE} 装備	12 V
バッテリー容量	8 Ah
- M バッテリー ^{OE} 装備	5 Ah

スパークプラグ

スパークプラグのメーカーおよび名称	NGK LMAR9FI-10G
-------------------	-----------------

バルブ

ハイビーム用バルブ	LED
ロービームのバルブ	LED
ポジションライト / パーキングライトバルブ	LED
テールライト / ブレーキライトバルブ	LED
フロントウインカー用バルブ	LED
リヤウインカー用バルブ	LED
ライセンスプレートライト用バルブ	LED

寸法

全長	2073 mm、リアホイールを含む
全高	1151 mm、空車時、ミラーを含む 1155 mm、ミラーなしの DIN 空車重量
全幅	848 mm、ミラー含む 740 mm、組付け部品なし
フロントシート高さ	824 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
ライダーステップアーチレングス	1827 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時

重量

空車重量	197 kg、DIN 空車時、走行可能状態、燃料満載時の 90 %、オプション非装備
- M パッケージ ^{OE} 装備	193.7 kg
- Race パッケージ ^{OE} 装備	195.3 kg
- パッセンジャーパッケージ ^{OE} 装備	197.8 kg
- M カーボンホイール ^{OE} 装備	195.3 kg
- M バッテリー ^{OE} 装備	195.1 kg
- M 鍛造ホイール ^{OE} 装備	197 kg
- Dynamic Damping Control (DDC) ^{OE} 装備	198.2 kg
許容総重量	407 kg

最大積載荷重	210 kg
- M パッケージ ^{OE} 装備	213.3 kg
- Race パッケージ ^{OE} 装備	211.7 kg
- パッセンジャーパッケージ ^{OE} 装備	209.2 kg
- M バッテリー ^{OE} 装備	211.9 kg
- M 鍛造ホイール ^{OE} 装備	210 kg
- Dynamic Damping Control (DDC) ^{OE} 装備	208.8 kg

性能

最高速度	>200 km/h
------	-----------

サービス

リサイクリング	224
BMW Motorrad サービス	225
BMW Motorrad サービス履歴	226
BMW Motorrad モバイルサービス ス.....	226
メンテナンス作業	226
BMW サービス	226
メンテナンススケジュール.....	229
メンテナンスの確認	230
サービスの確認.....	244

リサイクリング

二輪車を廃棄する場合は？

最寄りの「廃棄二輪車取扱店」の BMW Motorrad ディーラーにご相談ください。

「破棄二輪車取扱店」とは、(社)全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、二輪車リサイクルに関する特殊業務を行う広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭で「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

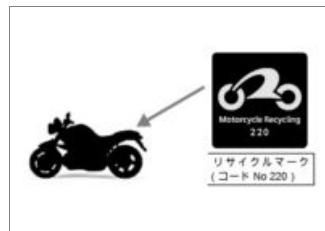
リサイクル料金と二輪車リサイクルマーク

リサイクル料金は廃棄二輪車を適正な処理を行い、再資源化する費用です。

リサイクルマーク(3 cm × 3 cm)が車体(シートの下)に貼付されている BMW Motorrad は、リサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれておりますので、再資源化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、運搬および収集費用は含まれておりませんので、お客様から廃棄二輪車取扱店、および

指定引取所迄の運搬および収集費用はお客様負担となります。尚、運搬および収集費用は、依頼する廃棄二輪車取扱店にお問い合わせください。また、お客様の都合で二輪車リサイクルシステムを活用されない場合に於いても、リサイクル料金は返還いたしません。



シート下のフレーム等に貼付しています

二輪車リサイクルマークの取扱い

二輪車を廃棄する際は、二輪車リサイクルマークが必要となります。

リサイクルマークは車体から剥がさないでください。尚、紛失、破損による再発行、部品販売の取扱いはございません。

リサイクルマークの剥がれ等により、リサイクルマーク付車両か否か不明の場合は、(財)自動車リサイクル促進センターのホームページおよび二輪車リサイクルコールセンターでご確認ください。

廃棄二輪車に関するお問合せについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorradディーラーまたは下記の二輪車コールセンターまでお問合せください。

(財)自動車リサイクル促進センター内

- 二輪車リサイクルコールセンター
- 電話番号 03-3598-8075
- 受付時間 9時30分～17時00分(土日祝日、年末年始等を除く)
- インターネット: www.jarc.or.jp

BMW Motorrad サービス

BMW Motorrad は広範囲にわたるディーラーネットワークにより、世界100カ国以上で、お客様およびご使用のモーターサイクルのためのサービスを提供しています。BMW Motorrad ディーラーは、ご使用のBMW モーターサイクルにおいて、あらゆるメンテナンスおよび修理作業を確実にを行うための技術情報および技術的ノウハウを備えています。最寄りのBMW Motorrad ディーラーは下記のインターネットサイトでご確認いただけます:

bmw-motorrad.com



警告

不適切に行われたメンテナンスや修理作業

損傷による事故の危険

- BMW Motorrad では、モーターサイクルに関する作業はBMW Motorrad ディーラーに依頼することをお勧めします。◀

ご使用のBMW モーターサイクルが常に最適な状態に保たれているようにするため、BMW Motorrad は、規定のメンテナンスインターバルを順守することをお勧めします。

実施すべきメンテナンスおよび修理作業については、本書の「サービス」の章でご確認ください。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが絶対的な必要条件になります。

BMW サービスの内容につきましては、BMW Motorrad ディーラーにおたずねください。

BMW Motorrad サービス履歴

記入項目

実施したメンテナンス作業が整備手帳に記入されます。整備手帳の記入項目は、定期メンテナンスの証明になります。

車両のサービス履歴が更新されると、サービスに関するデータがミュンヘンにある BMW AG 本部 IT システムに保存されます。サービス履歴に記入されたデータは、車両所有者変更後、新しい所有者も見ることができます。BMW Motorrad ディーラーや専門の整備工場もサービス履歴に記載されているデータを見ることができます。

異議申し立て

車両所有者は、車両を所有する間BMW Motorrad ディーラーまたは専門の整備工場に対して、サービス履歴への記入およびそれに関わる車両データの保存および自動車メーカーへのデータ転送に関して異議を申し立てることができます。この場合、車両のサービス履歴の記入が行われなくなります。

BMW Motorrad モバイルサービス

BMW Motorrad の新車は、万が一のトラブル発生時にはBMW Motorrad エマージェンシーサービスによる各種のサービスを受けることができます(モバイルサービス、現場で対応可能な範囲での応急処置、車両の回送など)。

モビリティサービスの詳細につきましては、BMW Motorrad

ディーラーにお問い合わせください。

メンテナンス作業

BMW 納車前点検

BMW 納車前点検は、車両をお客様にお渡しする前に、BMW Motorrad ディーラーによって実施されます。

BMW 初回点検

BMW 初回点検は 500 km～1200 km の間に行います。

BMW サービス

BMW サービスは 1 年に 1 度実施されます。サービス項目は車両使用年数および走行距離数に応じて異なります。BMW Motorrad ディーラーがお客様にサービスの実施を確認し、次回のサービス時期を登録します。

1 年間にかかりの距離を走行する車両に関しては、場合によっては登録されている時期以前に

サービスを実施する必要があります。この場合、該当する最長走行距離が一般整備記録に追記されます。次回のサービス時期の前にこの走行距離に達した場合は、予定を早めてサービスを実施する必要があります。

TFT ディスプレイのサービスインジケーターにより、登録日の約 1 カ月前または登録距離の 1000 km 前に、次のサービスの時期が近づいていることが示されます。

サービスに関する詳しい情報については、以下を参照してください：

bmw-motorrad.com/service

車両に必要なサービス範囲は、下記のメンテナンススケジュールで確認できます：

メンテナンススケジュール

- 1 BMW 慣らし運転(オイル交換を含む)
- 2 BMW 標準サービス範囲
- 3 エンジンオイルを交換する(フィルター交換時)
- 4 バルブクリアランスを点検する
- 5 バルブタイミングを点検する
- 6 すべてのスパークプラグを交換する
- 7 エアフィルターエレメントを交換する
- 8 テレスコピックフォークのオイル交換
- 9 システム全体のブレーキフルードを交換する
 - a 毎年または 10000 km ごと(先に該当した方)
 - b 初回は 1 年後、その後は 2 年ごと

メンテナンスの確認

BMW Service 標準範囲

以下は、BMW Service 標準範囲の活動が記載されています。車両に該当するサービス範囲は、実際には異なる場合があります。

- BMW Motorrad 診断システムで車両テストを実行する
- ブレーキライン、ブレーキホースおよび接続の目視点検
- ブレーキパッドとフロントブレーキディスクの摩耗点検
- フロントブレーキフルードレベルの点検
- ブレーキパッドとリアブレーキディスクの摩耗点検
- リヤブレーキフルードレベルの点検
- ステアリングヘッドベアリングの点検
- クーラントレベルを点検します
- クラッチレバーフィッティングの固定を点検する
- クラッチケーブルとクラッチレバーの遊びを点検する
- クラッチ操作に潤滑する
- チェーンドライブを点検し、潤滑する
- タイヤ空気圧およびトレッドの溝の深さの点検
- サイドスタンドがスムーズに動くか点検する
- 照明および信号装置の点検
- エンジン始動抑止機能の機能点検
- 最終点検および交通安全性の点検
- BMW Motorrad 診断システムを用いて、サービスの日付および残り距離を登録する
- バッテリーのチャージ状態の点検
- 車両取扱説明書のBMW サービスを確定する

BMW 納車前点検

実施済み

日付_____

押印、署名

BMW 初回点検

実施済み

日付_____

距離 km_____

次回サービス

最長期限

日付_____

または最短

距離 km_____

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する (シリンダーヘッドカバーを取り外した状態)

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

はい なし

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する (シリンダーヘッドカバーを取り外した状態)

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフ

ルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する (シリンダーヘッドカバーを取り外した状態)

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

はい なし

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する（シリンダーヘッドカバーを取り外した状態）

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する (シリンダーヘッドカバーを取り外した状態)

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

はい なし

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する（シリンダーヘッドカバーを取り外した状態）

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する (シリンダーヘッドカバーを取り外した状態)

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

はい なし

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する（シリンダーヘッドカバーを取り外した状態）

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する (シリンダーヘッドカバーを取り外した状態)

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

はい なし

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する（シリンダーヘッドカバーを取り外した状態）

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する (シリンダーヘッドカバーを取り外した状態)

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

はい なし

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する（シリンダーヘッドカバーを取り外した状態）

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意

押印、署名

サービスの確認

この表は、メンテナンス作業、修理作業、取り付けられた特別付属品、および実施された特別活動の確認のために利用できます。

実施済みの作業	距離 km	日付

付録

電子式エンジン始動ロックシステム用認証.....	248
TFT メーターパネル用認証	250

FCC Approval

Ring aerial in the ignition switch



To verify the authorization of the ignition key, the electronic immobilizer exchanges information with the ignition key via the ring aerial.

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. ◀

Approbation de la FCC

Antenne annulaire présente dans le commutateur d'allumage



Pour vérifier l'autorisation de la clé de contact, le système d'immobilisation électronique échange des

informations avec la clé de contact via l'antenne annulaire.

Le présent dispositif est conforme à la partie 15 des règles de la FCC. Son utilisation est soumise aux deux conditions suivantes :

- (1) Le dispositif ne doit pas produire d'interférences nuisibles, et
- (2) le dispositif doit pouvoir accepter toutes les interférences extérieures, y compris celles qui pourraient provoquer une activation inopportune.



Toute modification qui n'aurait pas été approuvée expressément par l'organisme responsable de l'homologation peut annuler l'autorisation accordée à l'utilisateur pour utiliser le dispositif. ◀

Declaration of Conformity

Radio equipment TFT instrument cluster

For all Countries without EU

Technical information

BT operating frq. Range: 2402 – 2480 MHz

BT version: 4.2 (no BTLE)

BT output power: < 4 dBm

WLAN operating frq. Range: 2412 – 2462 MHz

WLAN standards: IEEE 802.11 b/g/n

WLAN output power: < 20 dBm

Manufacturer and Address

Manufacturer:

Robert Bosch Car Multimedia GmbH

Adress: Robert Bosch Str. 200,

31139 Hildesheim, GERMANY

Turkey

Robert Bosch Car Multimedia GmbH, ICC6.5in tipi telsiz sisteminin 2014/53/EU nolu yönetmeliğe uygun olduğunu beyan eder. AB Uygunluk Beyanı'nın tam metni, aşağıdaki internet adresinden görülebilir: <http://cert.bosch-carmultimedia.net>

Brazil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

Canada

This device complies with Industry Canada's licence-exempt RSSs and part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) this device may not cause interference, and
(2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Mexico

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

(1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
(2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Taiwan, Republic of

根據 NCC 低功率電波輻射性電機管理辦法 規定：
第十二條

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，

指依電信法規定作業之無線電通信。

低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

Thailand

เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้

มีความสอดคล้องตามข้อกำหนดของ กทช.

(This telecommunication equipments is in compliance with NTC requirements)

United States (USA)

This device complies with Industry Canada's licence-exempt RSSs and part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) this device may not cause interference, and
(2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Korea

적합성평가에 관한 고시

R-CMM-RBR-ICC651N

상호 : Robert Bosch Car Multimedia

GmbH 모델명 : ICC6.5in

기자재명칭 : 특정소출력 무선기기

(무선데이터통신시스템용 무선기기)

제조사 및 제조국가 : Robert Bosch Car Multimedia GmbH / 포르투갈

제조년월 : 제조년월로 표기

이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전파간섭의 우려가 있습니다.

A

- ABS
 - 技術情報, 146
 - 自己診断, 111
 - 表示, 42

B

- Bluetooth, 80
 - ペアリング, 80

D

- DDC
 - 技術情報, 149
 - 校正する, 104
- DTC, 19
 - OFF にする, 55
 - ON にする, 55
 - インジケーター / 警告灯, 43
 - 技術情報, 150
 - 自己診断, 112
 - 制御を調整する, 131
 - 操作する, 55
- Dynamic Brake Control, 153
 - 技術情報, 153

H

- Hill Start Control, 60, 155
 - オン / オフ, 61
 - 技術情報, 155
 - 作動不可, 46
 - 操作する, 60
 - 表示灯および警告灯, 45, 46
- Hill Start Control Pro
 - 技術情報, 155
 - 操作する, 61
 - 調整する, 62

L

- Laptimer
 - 時間計算を開始する, 125
 - 時間計算を終了する, 125
 - 操作する, 125
 - 調整する, 125

P

- Pairing, 80
- Pre-Ride-Check, 111

R

- RACE PRO, 127
 - 初期設定に戻す, 128
 - 設定する, 127
- Rider's Manual
 - 車両における位置, 18

あ

- アクセサリ—
 - M Cover Kit, 194
 - アクセサリ—用コネクター, 192
 - 一般的な情報, 192

値

- 表示, 28
- 安全に関する注意事項
 - ブレーキ, 115
 - ライディングにあたって, 108

い

- イグニッション
 - OFF にする, 51
 - ON にする, 50
- イグニッションキルスイッチ, 20
 - 操作する, 51

インジケーター / 警告灯, 21
全体図, 24

う

ウインカー
操作する, 54
操作部, 19
操作部(右側), 20
ウインドシールド
調整エレメント, 17

え

エアクリーナー
車両内の位置, 17
エマージェンシーコール
作動解除する, 126
エンジン
エンジンエレクトロニクス警告
表示, 40
エンジンコントロール用警告表
示, 41
始動, 110
駐車, 51
テクニカルデータ, 212
排気ガス警告灯, 40

エンジンオイル
充填レベルを点検する, 161
注入口, 17
テクニカルデータ, 212
フルードレベル表示, 17
補充する, 163
エンジン回転数表示, 21
エンジン回転数表示, 77
エンジン始動ロック
スペアキー, 51

お

お手入れ
クローム, 199
塗装 / シーリング, 200
オンボードコンピューター, 66

か

型式プレート
車両における位置, 17

き

キー, 50
記号と意味, 6

ギヤチェンジ
シフトアップ推奨, 78
シフトポイント用フラッ
シュ, 114
ギヤボックス
テクニカルデータ, 213
給油, 118
燃料品質, 117

く

クーラント
オーバーヒート用警告表示, 39
充填レベルを点検する, 168
補充する, 168
クラッチ
遊びを調整する, 167
遊びを点検する, 167
機能を点検する, 166
クラッチレバーを調整する, 93
テクニカルデータ, 213
グリップヒーター
操作する, 65
操作部, 20
クルーズコントロール, 19
操作する, 57

- け
警告灯, 21
全体図, 24
警告表示
ABS, 42
DTC, 43
Hill Start Control, 45, 46
エンジンコントロール, 41
エンジン電装, 40
ギア未学習, 46
クーラント温度, 39
車両電装システム電圧, 37
転倒検知センサー, 41
盗難警報装置, 39
排気ガス警告灯, 40
表示, 28
フューエルリザーブ容量, 45
ライトバルブの故障, 38
私の車両, 83
警告表示一覧, 31
- こ
コンビネーションスイッチ
左側面, 19
右側面, 20
- さ
サービス, 225
サービス履歴, 226
サービス表示, 47
サスペンション
テクニカルデータ, 215
- し
シート
脱着する, 66
ロッキングハンドル, 15
始動, 110
操作部, 20
始動補助, 181
シフトアシスト, 113, 154
ギア未学習, 46
技術情報, 154
走行, 113
シフト表示
ON にする / OFF にする, 63
調整する, 63
シフトレバー
逆シフト, 142
車高
調整する, 101

- 車両
再使用する, 201
車両識別番号
車両における位置, 17
車両電装システム電圧
警告表示, 37
重量
積載荷重一覧, 15
テクニカルデータ, 221
仕様(諸元)
一般的な情報, 7
エンジン, 212
エンジンオイル, 212
規格, 7
ギヤボックス, 213
クラッチ, 213
サスペンション, 215
重量, 221
スパークプラグ, 220
寸法, 221
電装システム, 219
燃料, 211
バッテリー, 219
ヒューズ, 219
ブレーキ, 216

フレーム, 214
ホイールとタイヤ, 217
ライトバルブ, 220
リヤホイールドライブ, 214
照明警告
 作動解除する, 126
ショックアブソーバー
 調整エレメント(フロント), 15
 調整エレメント(リヤ), 15
 調整する, 98
 調整する(DDC 非装備), 98
診断コネクタ
 固定する, 186
 車両における位置, 18
 外す, 186
す
スイングアーム
 スイングアームピボットポイントの調整, 102
ステアリングダンパー
 ステアリングダンパー, 15
 調整する, 93

ステアリングロック
 ロックする, 50
スパークプラグ, 220
スピードメーター, 21
スプリングプリロード
 調整エレメント(フロント), 15
 調整エレメント(リヤ), 15, 17
 調整する, 94
寸法
 テクニカルデータ, 221

せ
制限速度情報
 オンまたはオフにする, 77
全体図
 TFT ディスプレイ, 25, 27
 シート下, 18
 左コンビネーションスイッチ, 19
 左側面図, 15
 表示灯および警告灯, 24
 右コンビネーションスイッチ, 20
 右側面図, 17
 メーターパネル, 21
 私の車両, 83

そ
走行モード
 技術情報, 151
 操作部, 20
 調整する, 56
装備, 7
それまでで最高のラップ, 126

た
タイヤ
 充填圧, 219
 充填圧表, 15
 タイヤ空気圧を点検する, 169
 テクニカルデータ, 217
 トレッドの溝の深さを点検する, 169
 慣らし走行, 113

ち
チェーン
 グリースを塗布する, 187
 たるみを調整する, 188
 たわみ量を点検する, 187
 摩耗状態を点検する, 188

チェックコントロール
ダイアログ画面, 28
表示, 28
チェックリスト, 109
駐車, 117

つ
ツールキット
車両における位置, 18
内容, 158

て
TFT ディスプレイ, 21
全体図, 25, 27
操作する, 74, 75
操作部, 19
表示を選択する, 71

電源ソケット
車両における位置, 17

電装システム
テクニカルデータ, 219

転倒検知センサー
表示灯, 41

電話
操作する, 88

と
盗難警報装置
警告表示, 39
操作する, 63
表示灯, 21
時計
調整する, 79
トラクションコントロール, 150
DTC, 150
トラブルシューティング, 204
トルク, 208

な
ナビゲーション
操作する, 86
慣らし走行, 112

に
荷物
積載に関する注意, 108

ね
燃料
給油する, 118
テクニカルデータ, 211
燃料品質, 117

は
パーキングライト, 53
排気ガス警告灯, 40
ハザードランプ
操作する, 53
操作部, 19, 20
バッテリー
車両から外す, 183
車両における位置, 18
車両に接続する, 184
充電, 184
仕様(諸元), 219
取り付ける, 185
取り外す, 185
ボードエレクトリック電源電圧
に関する警告表示, 37
メンテナンスに関する注
意, 182
バルブ
LED 照明手段を交換する, 177
テクニカルデータ, 220
バルブの不具合に関する警告表
示, 38

ひ

ピットレーンリミッター, 130
最高回転数を設定する, 130
操作する, 130
調整する, 130

Pure Ride
全体図, 25

ヒューズ
交換する, 185
車両における位置, 18
テクニカルデータ, 219

ふ

フェアリング
サイドフェアリングの取り付け, 178
サイドフェアリングの取り外し, 177
リアセクションカバーを取り付ける, 180
リアセクションカバーを取り外す, 178

フォロワーホームライト, 53

フューエルリザーブ容量
警告表示, 45
走行可能距離, 78

ブレーキ

ABS Pro, 148
ABS Pro は走行モードに対応, 116
安全に関する注意事項, 115
機能を点検する, 163
テクニカルデータ, 216
ハンドルレバーを調整する, 92

ブレーキパッド
慣らし走行, 113
フロントを点検する, 163
リヤを点検する, 164

ブレーキフルード
フロント充填レベルを点検する, 165
フロントリザーバータンク, 17
リヤ充填レベルを点検する, 165
リヤリザーバータンク, 17

フレイム
テクニカルデータ, 214

フロントホイールスタンド
取り付ける, 159

へ

ヘッドライト
光軸, 92
右側 / 左側走行の設定, 92

ほ

ホイール
サイズ変更, 170
テクニカルデータ, 217
フロントホイールを取り付ける, 172
フロントホイールを取り外す, 170
ホイールリムを点検する, 169
リヤホイールを取り付ける, 175
リヤホイールを取り外す, 174

ホーン, 19
本書の記述について, 7

ま

マルチコントロール, 19
マルチファンクションディスプレイ
サーキット走行用表示, 122

み

- ミラー
- 脱着する, 133
- 調整する, 92

め

- メンテナンス
- メンテナンススケジュール, 229
- メンテナンススケジュール, 226
- メーターパネル
- 周囲輝度センサー, 21
- 全体図, 21
- メディア
- 操作する, 88
- メニュー
- 呼出し, 74
- メンテナンスの確認, 230

も

- モーターサイクル
- お手入れ, 197
- 固定する, 119
- 清掃する, 197
- 駐車, 117

- 長期保管, 200
- モバイルサービス, 226

ら

- ライセンスプレートベース
- 脱着する, 136
- ライダー情報ステータス欄
- 調整する, 75, 76
- ライト
- 操作部, 19
- パーキングライト, 52
- ハイビームヘッドライトを操作する, 53
- パッシングライトを操作する, 53
- フォロミーホームライト, 53
- ロービーム, 52

り

- リアセクションカバー
- 取り付ける, 180
- 取り外す, 178
- リサイクリング, 224
- リヤホイールスタンド
- 取り付ける, 160

- リヤホイールドライブ
- テクニカルデータ, 214

れ

- レースサーキット, 126
- サーキット走行用表示, 121
- サスペンション調整, 132
- ピットレーンリミッター, 130
- レーススタートと Launch Control, 129

ろ

- ローンチコントロール, 127, 128
- レーススタート, 129

ご購入いただきました車両の装備、アクセサリ、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。

本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。

デザイン、装備、アクセサリなどは、製品を改良するために予告なく変更することがあります。印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

オリジナル Rider's Manual、
Printed in Germany

© 2018 Bayerische Motoren
Werke Aktiengesellschaft

80788 München, Germany

本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、転載や複製することは禁じられています。

燃料補給用データ：

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン (ハイオク) (最大 5%エタノール、E5) 98 ROZ/RON 93 AKI
燃料品質の選択肢	無鉛スーパー、(出力および燃費の制約。)(エタノール 10%以下、E10) 95 ROZ/RON 90 AKI
フューエル容量	約 16.5 l
フューエルリザーブ容量	約 4 l
タイヤ充填圧	
タイヤ充填圧 (フロント)	2.5 bar、1 名乗車時、タイヤ冷間時 2.5 bar、タンデム走行、積載あり、タイヤ冷間時
タイヤ充填圧 (リア)	2.9 bar、1 名乗車時、タイヤ冷間時 2.9 bar、タンデム走行、積載あり、タイヤ冷間時

ご使用の車両に関するさらに詳しい情報については、次のウェブサイト
を参照してください：bmw-motorrad.com

BMW recommends **ADVANTEC**
ORIGINAL BMW ENGINE OIL

P/No.: 01 40 9 899 568
09.2018、1st edition、08

